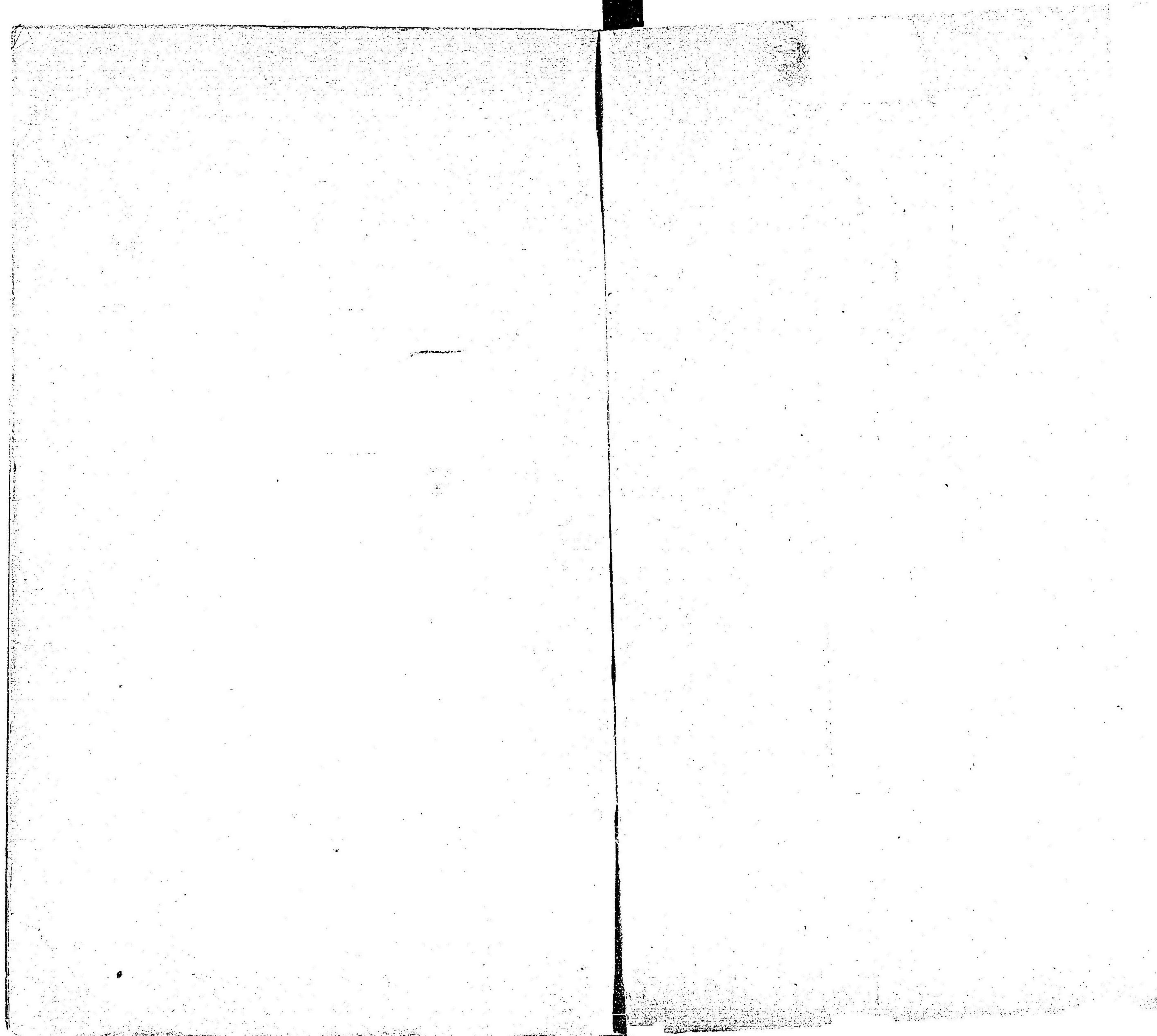


FFFD-99

CZ
1462
17-01

現
行
度
量
衡
法
規

220
361



特17
981

CZ
1462
17-01

現行
度量衡法
規

例言

本書は度量衡ニ關スル諸法規ヲ網羅シ且ツ新舊器檢印鑑別方檢定用具保管方諸願屆様式度量衡器使用注意要項及度量衡器ノ圖解等ヲ附録トナシ度量衡檢定官吏警察官吏郡市町村長及營業者使用者ノ便益ニ資センカ爲編纂シタルモノトス

一 本書ハ現行諸法令ニ全文ヲ掲載スト雖編纂ノ手續ヲ了シタル後一部ノ改正若クハ條章字句ノ修正ニ止マルモノハ直ニ原文ヲ訂正シ上欄ニ改正ノ要項ヲ記シ別ニ其全文ヲ掲載セス

明治三十七年二月

編者

明治
37 3 2
内交

現行度量衡法規

目次

○度量衡法	明治三十六年六月十五日 法律第四號	一	丁
○度量衡ニ關スル刑法		一	丁
○度量衡法施行令	明治三十六年九月十九日 勅令第四百四十四號	一	丁
○度量衡法施行細則	明治三十六年十二月四日 農商務省令第十號	三	丁
○度量衡器檢定心得	明治三十七年一月二十二日 農商務省訓令第二號	六	丁
○農商務省官制中改正	明治三十六年十二月二十三日 勅令第二百八十八號	一	丁
○度量衡法施行細則中改正	明治三十六年十二月二十五日 農商務省令第十四號	一	丁
○中央度量衡器檢定所ノ位置	明治三十六年十二月二十六日 農商務省告示第二百五十八號	一	丁
○度量衡器製作修葺原器拂下	明治三十六年十二月二十六日 農商務省告示第二百五十九號	一	丁

- 度量衡器製作修履販賣者ノ身元保證書ヲ金庫ニ供託シタル後
之レカ拂戻ヲ請求スル場合ノ通牒 明治三十六年十二月二十五日 一〇四丁
商發第三百六號
- 度量衡製作修履販賣者ノ身元保證金ニ使用シ得
ヘキ有價證券ノ價格ニ付通牒 明治三十七年一月七日 一〇五丁
商發第三百一號
- 量器ノ錘鐵廢止ノ通牒 明治三十六年十二月二十六日 一〇七丁
商發第六百二十號
- 度量衡檢定用具保管注意 一〇七丁
- 度量衡器檢印說明 一〇九丁
- 度量衡臨檢及取締規則 一一五丁
- 度量衡臨檢及取締規則施行手續 一三六丁
- 度量衡器使用注意要項 一四四丁
- 附錄第一號 量器ノ寸法表 一四九丁
- 附錄第二號 度量衡器圖表 一四九丁
- 度量衡ニ關スル請願屆様式 一四九丁

○法律第四號

○度量衡法

明治三十六年六月十五日

- 第一條 度量ハ尺、衡ハ貫ヲ以テ基本トス
- 第二條 度量衡ノ原器ハ白金「イリヂウム」合金製ノ棒及分銅トス其ノ棒ノ面ニ記シタル標線間ノ攝氏〇、五度ニ於ケル長サ三十三分ノ十ヲ尺トシ分銅ノ質量四分ノ十五ヲ貫トス
- 第三條 度量衡ノ名稱名位ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 毛 尺ノ萬分ノ一
- 厘 尺ノ千分ノ一
- 分 尺ノ百分ノ一
- 寸 尺ノ十分ノ一

町	段	畝	步	合	勻	里	町	間	丈	尺
三千步	三百步	三十步	或六坪六尺平方	步ノ十分ノ一	步ノ百分ノ一	地積	三百六十尺(六十間)	六尺	十尺	
							一萬二千九百六十尺(三十六町)			

貫	分	厘	毛	衡	石	斗	升	合	勻	量
貫ノ千分ノ一	貫ノ萬分ノ一	貫ノ十萬分ノ一	貫ノ百萬分ノ一		百升	十升	六萬四千八百二十七立方分	升ノ十分ノ一	升ノ百分ノ一	

斤 百六十匁

第四條 從來慣用ノ鯨尺ハ布帛ヲ度ルトキニ限り之ヲ用キルコトヲ得

鯨尺一尺ハ一尺二寸五分トシ其ノ十倍ヲ鯨尺一丈、十分ノ一ヲ鯨尺一寸、百分ノ一ヲ鯨尺一分トス

第五條 「メートル」法度量衡ハ左ニ掲クル比較ニ依リ之ヲ適法ノモノトシ本條以下ノ規定ヲ適用ス

度	〔メートル〕	〇、〇〇三三〇
毛	〔センチメートル〕	〇、〇〇三三〇〇
厘	〔ミリメートル〕	〇、〇〇三三〇〇〇
分	〔デシメートル〕	〇、三三〇〇〇
寸	〔メートル〕	三、三〇〇〇〇
尺	〔デカメートル〕	三三、〇〇〇〇〇

丈	〔メートル〕	三三、〇〇〇〇〇
間	〔キロメートル〕	三三〇、〇〇〇〇〇
町	〔センチメートル〕	〇、三三〇二五〇
里	〔メートル〕	三三〇、二五〇〇〇
地積	〔ヘクタール〕	三三〇二五、〇〇〇〇〇
合	〔センチメートル〕	〇、三三〇二五〇
歩	〔メートル〕	三三〇、二五〇〇〇
畝	〔ヘクタール〕	三三〇二五、〇〇〇〇〇
段	〔メートル〕	三三〇、二五〇〇〇
町	〔デカメートル〕	三三、〇二五〇〇

勺	〔一八〇四〕 〔十三萬三千一百分ノ二千四百〇一〕	〔センチリ〕 〔〇〇〇五五四〕 〔二四萬〇一百分ノ一千三百三十一〕
合	〔一八〇三九〕 〔十三萬三千一百分ノ二萬四千〇十〕	〔デシリツ〕 〔〇〇五五四〕 〔二四萬〇一百分ノ一萬三千三百十〕
升	〔一八〇三九一〕 〔十三萬三千一百分ノ二十四萬〇一〕	〔リツリル〕 〔〇五五四三〕 〔二四萬〇一百分ノ十三萬三千一百〕
斗	〔一八〇三五〇七〕 〔十三萬三千一百分ノ二百四十萬一千〕	〔デカリツ〕 〔五五四三三〕 〔二四萬〇一百分ノ一萬三千三百三十一〕
石	〔一八〇三九〇六八〕 〔十三萬三千一百分ノ二千四百〇一萬〕	〔ヘクトリ〕 〔五五四三五二四〕 〔二四萬〇一百分ノ一千三百三十一萬〕
衡		
毛	〔グラム〕 〇〇〇三七五	〔ミリグラム〕 〔〇〇〇二七〕 〔二萬五千分ノ四〕
厘	〇〇三七五〇	〔センチグラム〕 〔〇〇二六七〕 〔一萬五千分ノ四十〕
分	〇三七五〇〇	〔デシグラム〕 〔〇二六七〕 〔一萬五千分ノ四百〕
匁	三七五〇〇	〔グラム〕 〔二六七〕 〔二萬五千分ノ四千〕
貫	三七五〇〇〇〇〇	〔デカグラム〕 〔二六六七〕 〔二萬五千分ノ四萬〕
		〔ヘクトグラム〕 〔二六六七〕 〔一萬五千分ノ四十萬〕

斤 六〇〇、〇〇〇〇〇 〔キログラム〕 〔二六六、六六六六七〕
〔一萬五千分ノ四百萬〕

第六條 度量衡ノ原器ハ農商務大臣之ヲ保管ス
農商務大臣ハ度量衡ノ原器ニ依リ副原器ニ組ヲ製作セシメ原器ノ代用ニ供ス
副原器ノ一組ハ農商務大臣之ヲ保管シ他ノ一組ハ文部大臣之ヲ保管ス

第七條 農商務大臣ハ副原器ニ依リ檢定原器ヲ製作セシメ度量衡器檢定ノ標準ニ供ス

第八條 度量衡器ヲ製作シ修覆シ若ハ販賣セント欲スルモノハ地方長官ヲ經由シ農商務大臣ニ願出免許ヲ受クヘシ
製作ノ免許ヲ得タルモノハ修覆及販賣ヲナスコトヲ得
販賣ノ免許ヲ得タルモノハ桿秤ノ取緒及錘絲ニシテ命屬ニアラサルモノニ限り修覆ヲナスコトヲ得
免許ニ關スル年限身元保證金其他必要ナル制限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九條 度量衡器ヲ製作シ修復シ若ハ輸入シテ販賣シ又ハ營業ノ目的ニ使用スルモノハ豫メ其檢定ヲ受クヘシ
營業ノ目的ニ使用スル度量衡器ハ前項檢定ノ外之ヲ修復シタルトキ檢定ヲ受クヘシ

製作者修復者及販賣者桿秤ノ取締及錘絲ニシテ金屬ニアラサルモノノ修復ヲナシタルトキハ其檢定ヲ受クルコトヲ要セス
官廳、公署、官立、公立ノ諸建設場又ハ貧院、病院其他之ニ類スル建設場ニ於テ賣

買授受及證明ノ爲ニ使用スル度量衡器ハ營業ノ目的ニ使用スルモノニ準ス

第十條 度量衡器ノ種類、形狀、物質、公差及使用ノ制限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條 度量衡器ノ檢定取締及臨檢ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 度量衡器ノ製作者修復者販賣者及使用者ハ當該官吏ノ臨檢ヲ拒ムコトヲ得ス但シ官吏ハ主任タルノ證票ヲ携帯シテ之ヲ示スヘシ

當該官吏臨檢ノ際度量衡ニ關スル犯罪アリト認ムルトキハ其事實ヲ證明スヘキ物件ノ差押ヲ爲スコトヲ得

第十三條 度量衡器ノ製作修復及販賣ノ免許ヲ受クル者ハ免許料ヲ檢定ヲ受クル者ハ檢定料ヲ納ムヘシ

免許料及檢定料ノ金額ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 度量衡器ノ製作者修復者若ハ販賣者ニシテ度量衡ニ關スル法律命令ニ違背シタルトキハ農商務大臣ハ其營業免許ヲ取消スコトヲ得

第十五條 免許ヲ受ケスシテ度量衡器ノ製作又ハ修復ノ業ヲ營ミタル者ハ貳拾圓以上參百圓以下ノ罰金ニ處ス

左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ拾圓以上貳百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 免許ヲ受ケスシテ度量衡器ヲ販賣シタル者

二 檢定ヲ受ケス若ハ檢定ノ効力ヲ失ヒタル度量衡器ヲ販賣シ又ハ之ヲ營業ノ目

的ニ使用シタル者

三 差狂アル度量衡器ナルコトヲ知リテ之ヲ販賣シ又ハ營業ノ目的ニ使用シタル者

四 官吏ノ臨檢又ハ差押ヲ拒ミタル者

第十六條 本法施行ノ細則ハ農商務大臣之ヲ定ム

附 則

本法ハ明治三十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

○刑法

○度量衡ヲ偽造スル罪

第二百二十七條 度量衡ヲ偽造シ又ハ變造シテ販賣シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ拾圓以上五拾圓以下ノ罰金ヲ附加ス但官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ盜用シタル者ハ偽造官印ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第二百二十八條 偽造變造ノ情ヲ知テ其度量衡ヲ販賣シタル者ハ前條ノ刑ニ一等ヲ減ス

第二百二十九條 商賈農工定規ヲ増減シタル度量衡ヲ所有シタル者ハ一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處ス貳圓以上貳拾圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ其度量衡ヲ使用シテ利ヲ得タル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

第二百三十條 人ノ囑託ヲ受ケテ度量衡ヲ偽造シ又ハ變造シタル者ハ其囑託シタル犯人ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

○勅令第四百十四號

明治三十六年九月十九日

○度量衡法施行令

第一條 度量衡器ノ種類形狀及物質ヲ定ムルコト左ノ如シ

度 器

量器	鍔狀	細帶狀	連接直形	直角形	直形	形狀
	金屬	金屬、革、麻	骨、竹、木	金屬、象牙	骨、竹、木	金屬、象牙、骨、竹、木
	鍔	卷	疊	曲	直	種類
	六十尺以下	三百六十尺以下	十五尺以下	長枝三尺以下	十二尺以下	
		鯨尺六尺以下	鯨尺三尺以下		鯨尺三尺以下	
		百メートル以下	五メートル以下	二メートル以下	四メートル以下	
	尺	尺	尺	尺	尺	類
	二十メートル以下					

圓錐及圓筒形	樽						圓	形狀	物質	種類
	玻	姬小松	銀杏	樽	屬	金				
一合	二斗	二升	二合	五升	五斗	一合	一斗	一合	一斗	一合
二合	三斗	三升	三合	六升	六斗	二合	二斗	二合	二斗	二合
三合	四斗	四升	四合	九升	九斗	三合	三斗	三合	三斗	三合
四合	五斗	五升	四合	一石	一石	四合	四斗	四合	四斗	四合
五合	六斗	六升	五合	一石二升	一石二斗	五合	五斗	五合	五斗	五合
一「センチリットル」	十「リットル」	一「リットル」	一「センチリットル」	十「リットル」	十「リットル」	一「センチリットル」	一「リットル」	一「センチリットル」	一「リットル」	一「センチリットル」
二「センチリットル」	二十「リットル」	二「リットル」	二「センチリットル」	二十「リットル」	二十「リットル」	二「センチリットル」	二「リットル」	二「センチリットル」	二「リットル」	二「センチリットル」
三「センチリットル」	三十「リットル」	三「リットル」	三「センチリットル」	三十「リットル」	三十「リットル」	三「センチリットル」	三「リットル」	三「センチリットル」	三「リットル」	三「センチリットル」
四「センチリットル」	四十「リットル」	四「リットル」	四「センチリットル」	四十「リットル」	四十「リットル」	四「センチリットル」	四「リットル」	四「センチリットル」	四「リットル」	四「センチリットル」
五「センチリットル」	五十「リットル」	五「リットル」	五「センチリットル」	五十「リットル」	五十「リットル」	五「センチリットル」	五「リットル」	五「センチリットル」	五「リットル」	五「センチリットル」

金 屬	物 質	秤 器	圓形 及板狀 木材 小(二合五勺以下又ハ五) 中(二升以下又ハ五) 大(一斗以下又ハ廿)	形 狀	物 質	種	類	形	方	形	
								楡、榧	五勺	一合	二合
								銀杏 勺	二合五 五合	一合	二合
斗 瓶	形	方	形	楸、榧	五勺	一合	二合	二合	二合	二合	
斗	形	方	形	銀杏	二合五 五合	一合	二合	二合	二合	二合	
斗	形	方	形	姫小松	二升五 五升	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	

金 屬	物 質	秤 器	圓形 及板狀 木材 小(二合五勺以下又ハ五) 中(二升以下又ハ五) 大(一斗以下又ハ廿)	形 狀	物 質	種	類	形	方	形	
								楸、榧	五勺	一合	二合
								銀杏	二合五 五合	一合	二合
斗 瓶	形	方	形	楸、榧	五勺	一合	二合	二合	二合		
斗	形	方	形	銀杏	二合五 五合	一合	二合	二合	二合		
斗	形	方	形	姫小松	二升五 五升	一斗	一斗	一斗	一斗		

金 屬	物 質	秤 器	圓形 及板狀 木材 小(二合五勺以下又ハ五) 中(二升以下又ハ五) 大(一斗以下又ハ廿)	形 狀	物 質	種	類	形	方	形	
								楸、榧	五勺	一合	二合
								銀杏	二合五 五合	一合	二合
斗 瓶	形	方	形	楸、榧	五勺	一合	二合	二合	二合		
斗	形	方	形	銀杏	二合五 五合	一合	二合	二合	二合		
斗	形	方	形	姫小松	二升五 五升	一斗	一斗	一斗	一斗		

鐘	板	形	臺	及	形	塙	圓	形	物	分	錮	秤	秤	秤
銅、真鍮、銅、青	白金、金、銀、アルミニウム、ニッケル、白銅、青	白金、金、銀、アルミニウム、ニッケル、白銅、青	十匁未滿又ハ五(十グラム未滿ハ除外)	銅、真鍮、銅、鍍	銅、真鍮、銅、鍍	銅、真鍮、銅、鍍	白金、金、銀、アルミニウム、ニッケル、白銅、青	白金、金、銀、アルミニウム、ニッケル、白銅、青	白金、金、銀、アルミニウム、ニッケル、白銅、青	五	五	五	五	五
一分	一厘	一毛	五貫	五匁	五十匁	五十匁	五匁	五匁	五匁	五	五	五	五	五
二分	二厘	二毛	一貫	一貫	二百匁	二百匁	二十匁	二十匁	二十匁	二	二	二	二	二
五分	五厘	五毛	一貫	一貫	二百匁	二百匁	十	十	十	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

物 質 種 類

真鍮、銅、鐵、白銅、青銅、「アルミニウム」「ニッケル」

(重量五十匁未満又ハ二百「グラム」未満)

増 錘

第二條 度量衡器ノ公差ヲ定ムルコト左ノ如シ

度 器

金屬製度器		全長ノ公差		目盛ノ公差		全長ノ公差		目盛ノ公差	
全長ノ公差	目盛ノ公差	全長ノ公差	目盛ノ公差	全長ノ公差	目盛ノ公差	全長ノ公差	目盛ノ公差	全長ノ公差	目盛ノ公差
一尺未満	五分	五分	五分	一「ミリメートル」未満	五分	一「ミリメートル」未満	五分	一「ミリメートル」未満	五分
一尺未滿	五分	五分	五分	一「ミリメートル」未滿	五分	一「ミリメートル」未滿	五分	一「ミリメートル」未滿	五分
二尺未滿	五分	五分	五分	一「センチメートル」以下	五分	一「センチメートル」以下	五分	一「センチメートル」以下	五分
五尺未滿	五分	五分	五分	一「センチメートル」以上	五分	一「センチメートル」以上	五分	一「センチメートル」以上	五分
三尺以下	五分	五分	五分	一「センチメートル」以下	五分	一「センチメートル」以下	五分	一「センチメートル」以下	五分

竹、木、骨、象牙製度器

全長ノ公差		目盛ノ公差		全長ノ公差		目盛ノ公差	
全長ノ公差	目盛ノ公差	全長ノ公差	目盛ノ公差	全長ノ公差	目盛ノ公差	全長ノ公差	目盛ノ公差
六尺以下	五分	五分	五分	一「センチメートル」未滿	五分	一「センチメートル」未滿	五分
三尺未滿	五分	五分	五分	一「センチメートル」以上	五分	一「センチメートル」以上	五分
三尺以上	五分	五分	五分	一「センチメートル」以上	五分	一「センチメートル」以上	五分
一尺未滿	五分	五分	五分	一「センチメートル」未滿	五分	一「センチメートル」未滿	五分
二尺未滿	五分	五分	五分	一「センチメートル」以上	五分	一「センチメートル」以上	五分
五尺未滿	五分	五分	五分	一「センチメートル」以上	五分	一「センチメートル」以上	五分
三尺以下	五分	五分	五分	一「センチメートル」以下	五分	一「センチメートル」以下	五分

革、麻製度量器		全長ノ公差	目盛ノ公差	全長ノ公差	目盛ノ公差
全長ノ公差	目盛ノ公差	全長ノ公差	目盛ノ公差	全長ノ公差	目盛ノ公差
三尺以下	五厘未満	二〇	三	二	目盛ノ十分ノ一
六尺以下	五厘	一五	二	二	「ミリメートル」以上
十尺以下	一分以上	一〇	二	二	「ミリメートル」以上
十二尺以下	一分以上	一〇	二	二	「センチメートル」以上
十八尺以下	五分以上	六	二	二	「センチメートル」以上
三十尺以下	一寸以上	四	二	二	「センチメートル」以上
六十尺以下	一寸以上	二	二	二	「センチメートル」以上
九十尺以下	一寸以上	二	二	二	「センチメートル」以上
百尺以下	一寸以上	二	二	二	「センチメートル」以上

銅製度量器		全長ノ公差	目盛ノ公差	全長ノ公差	目盛ノ公差
全長ノ公差	目盛ノ公差	全長ノ公差	目盛ノ公差	全長ノ公差	目盛ノ公差
一合以下又ハ二「デシリットル」以下	全量ノ百分ノ一	一〇	五「デシメートル」以上	一〇	目盛ノ十分ノ一
二升以下又ハ五「リットル」以下	全量ノ百分ノ一	一〇	五「デシメートル」以上	一〇	目盛ノ十分ノ一
三斗以下又ハ二十「リットル」以下	全量ノ百分ノ一	一〇	五「デシメートル」以上	一〇	目盛ノ十分ノ一

重量	公差	重量	公差
一厘以下	0.1	「センチグラム」以下	0.1
二厘	0.2	「センチグラム」	0.2
五厘	0.3	「センチグラム」	0.3
一分	0.5	「デシグラム」	0.5
二分	1.0	「デシグラム」	1.0
五分	1.0	「デシグラム」	1.0
一匁	2.0	「グラム」	2.0
二匁	3.0	「グラム」	3.0
五匁	5.0	「グラム」	5.0

秤ノ目盛ノ公差	一度目ノ表ハス重量ノ二分ノ一	第三條、度量衡器ノ物質又ハ構造ニ因ル必要ナル使用ノ制限ハ農商務大臣ノ定ムル
十匁	10.0	五十「グラム」
二十匁	15.0	百「グラム」
五十匁	25.0	二百「グラム」
百匁	50.0	五百「グラム」
二百匁	65.0	「キログラム」
五百匁	120.0	「キログラム」
一貫	250.0	「キログラム」
二貫	400.0	十「キログラム」
五貫	1000.0	二十「キログラム」

所ニ依ル

第四條 度量衡器ノ檢定ハ甲乙ノ二種トス

甲種檢定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル度量衡器ニ付農商務大臣之ヲ行フ

一五厘未滿又ハ一「ミリメートル」未滿ノ目盛アル度量器

一一勺ノ五分ノ一以下又ハ一「センチリットル」ノ五分ノ一以下ノ目盛アル量器

一感量一毛未滿又ハ五ミリグラム未滿ノ天秤

一一厘未滿又ハ一「センチグラム」未滿ノ分銅及之ヲ合メル組分銅

乙種檢定ハ前項ニ該當セサル度量衡器ニ付地方長官之ヲ行フ

第五條 度量衡器ノ取締及臨檢ハ地方長官之ヲ行フ地方長官ハ市長、町村長及之ニ

準スヘキ者ヲシテ度量衡器ノ取締ヲ行ハシムルコトヲ得

第六條 營業ノ目的ニ使用スル度量衡器ノ臨檢ハ毎年一回以上之ヲ行フ

第七條 度量衡器ニシテ第一條及第二條ノ規定ニ適合シ農商務大臣ノ定ムル構造ヲ

具備スルモノハ合格トス

第八條 檢定ニ於テ合格シタル度量衡器ニハ檢定證印ヲ附スヘシ

檢定證印アル度量衡器ニシテ檢定又ハ臨檢ニ於テ合格セサルモノアルトキハ之ニ

檢定消印ヲ附シ又ハ檢定證印ヲ抹消スヘシ

第九條 地方長官必要ト認ムルトキハ營業ノ目的ニ使用スル甲種檢定ヲ受ケタル度

量衡器ノ所有者又ハ管理者ニ對シ檢定ノ爲行政廳ニ其ノ度量衡器ノ提出ヲ命スル

コトヲ得

第十條 檢定ヲ受ケタル度量衡器ニシテ檢定消印ヲ附セラレタル者檢定證印ヲ抹消

セラレ若ハ其ノ識別シ難キニ至リタル者又ハ修覆若ハ加工シタルモノハ檢定ノ効

力ヲ失フ但シ度量衡法第九條第三項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 度量衡器ノ檢定ヲ請求スルモノハ左ノ檢定料ヲ納ムヘシ

二段以上目盛シタルモノニ付テハ一段毎ニ檢定料ヲ納ムヘシ

器		度		種	類	檢定料
卷尺	疊尺	曲リ尺	直尺			
			一尺以下又ハ鯨尺一尺以下			一、〇
			二尺以下又ハ鯨尺二尺以下又ハ五「センチメートル」以下			二、〇
			三尺以下又ハ鯨尺三尺以下又ハ一「メートル」以下			四、〇
			十尺以下又ハ鯨尺六尺以下又ハ三「メートル」以下			八、〇
			二十尺以下又ハ六「メートル」以下			一二、〇
			三十三尺以下又ハ十「メートル」以下			二〇、〇
			六十六尺以下又ハ二十「メートル」以下			四〇、〇
			百尺以下又ハ三十「メートル」以下			五〇、〇
			百八十尺以下又ハ五十「メートル」以下			八〇、〇
			三百六十尺以下又ハ百「メートル」以下			一五〇、〇
						七五、〇

二十四

器		量		種	類	檢定料
斗概	櫛	種	類			
		二合五勺以下又ハ五「センチリットル」以下				二、〇
		二升以下又ハ五「リットル」以下				四、〇
		一斗以下又ハ二十「リットル」以下				一〇、〇
		三斗以下				二〇、〇
		一勺ノ五分ノ一以下又ハ一「センチリットル」ノ五分ノ一以下				一、〇
		以上檢定料ノ外其ノ部ニ付「勺又ハ一「センチリットル」迄毎ニ金貳錢ヲ加フ				〇、五

五厘未滿又ハ一「ミリメートル」未滿ノ目盛アルモノハ以上檢定料ノ外其ノ部ニ付五寸又ハ二「デシメートル」迄毎ニ金五錢ヲ加フ

鍵尺 各種

革麻製ノモノニ同シ

金屬（鐵葉ヲ除ク）及
玻璃製ノモノ
檜、椴、銀杏
姫小松及鐵
葉製ノモノ

二十五

器		衡	
分銅	秤量一貫以下又ハ二「キログラム」以下	秤量ノ一萬分ノ一以下ノ量ヲ感スルモノ	一〇〇、〇
		秤量ノ五千分ノ一以下ノ量ヲ感スルモノ	五〇、〇
桿秤	秤量十貫以下又ハ三十五「キログラム」以下	其ノ他ノモノ	二〇、〇
		秤量五十貫以下又ハ二百「キログラム」以下	五〇、〇
		秤量百五十貫以下又ハ五百「キログラム」以下	一〇〇、〇
		以上百貫又ハ三百「キログラム」迄ヲ増ス毎ニ金五拾錢ヲ加フ	
		秤量二貫以下又ハ七「キログラム」以下	増錘ヲ有スルモノ
臺秤	秤量三十貫以下又ハ百「キログラム」以下	秤量一貫以上又ハ二「キログラム」以上一個	五、〇
		秤量十貫以下又ハ三十五「キログラム」以下	二〇、〇
		秤量三十貫以下又ハ百「キログラム」以下	四〇、〇
		以上十貫又ハ三十「キログラム」迄ヲ増ス毎ニ金五錢ヲ加フ	二〇、〇
五百匁以下又ハ二「キログラム」以下一個			二、〇

臺秤及桿秤ノ錘又ハ増錘ノミニノ檢定ヲ受クル場合ニハ其檢定料ハ一個ニ付金五錢トス	五、〇
第十二條 度量衡器ヲ製作シ修覆シ又ハ販賣セントスル者ハ度器、量器又ハ衡器ニ付各別ニ營業所一箇所毎ニ免許ヲ受クヘシ	
第十三條 度量衡器ノ製作修覆又ハ販賣ノ免許年限ハ十五箇年トス	
第十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ度量衡器ノ製作者修覆者又ハ販賣者タルコトヲ得ス	
一 剝奪公權者	
一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレ赦免又ハ滿期後三箇年ヲ經サル者	
一 度量衡法第十四條ノ處分ヲ受ケ爾後三箇年ヲ經サル者	
一 家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定ニ至ル迄ノ者	

第十五條 度量衡器ノ製作修覆又ハ販賣ノ免許ヲ受クル者ハ左ノ免許料ヲ納ムヘシ

度量衡器又ハ衡器ノ製作 金拾五圓

度量衡器又ハ衡器ノ修覆 金拾貳圓

度量衡器又ハ衡器ノ販賣 金五圓

第十六條 檢定料及免許料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ

第十七條 度量衡器ノ製作修覆又ハ販賣ノ免許ヲ受クル者ハ左ノ身元保證金ヲ納ムヘシ

度量衡器製作 金參百圓

量器製作 金參百圓

衡器製作 金五百圓(桿秤ノミノ製作ハ金參百圓)

度量衡器修覆 金貳百圓

度量衡器販賣 金百圓

附則

前項ノ身元保證金ハ農商務大臣ノ指定スル有價證券ヲ以テ之ヲ納ムルコトヲ得

第十八條 本令ハ明治三十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十年勅令第百十六號ハ之ヲ廢止ス

第十九條 明治三十年勅令第百十六號ニ依ル度量衡器ノ檢定及製作修覆又ハ販賣ノ免許ハ本令施行後仍其ノ効力ヲ有ス

第二十條 本令施行前檢定ヲ受ケタル度量衡器ノ形狀物質檢定スヘキ最小定限及公差ニ付テハ明治四十一年十二月三十一日迄明治三十年勅令第百十六號ノ規定ヲ適用ス但シ左ノ度量衡器ハ更ニ本令ニ依リ檢定ヲ受タルニ非ラサレハ此ノ期限ヲ過

タルノ後之ヲ販賣シ又ハ營業ノ目的ニ使用スルコトヲ得

五厘未満又ハ一「ミリメートル」未満ノ目盛アル度量器
全量ノ十分ノ一未満ノ目盛アル度量器

五毛以下又ハ五「ミツクラム」以下ノ分銅

第二十一條 本令施行前證書ヲ附シタル度量衡器ノ檢定ノ證明ニ付テハ農商務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第二十二條 本令施行前檢定ヲ受ケタル度量衡器ニ付シタル證書ニ關シテハ本令中證書ニ關スル規定ヲ準用シ其ノ證書ヲ紛失シタルモノハ檢定ノ効力ヲ失フ

○農商務省令第十號
度量衡法施行細則左ノ通り相定ム

明治三十六年十二月四日

農商務大臣男爵 清 浦 奎 吾

○度量衡法施行細則

第一章 構造及使用ノ制限

第一條 度器ノ全長ト稱スルハ其ノ目盛ノ各段ニ付度リ得ヘキ最大長柄ノ全量ト稱

スルハ其ノ量リ得ヘキ最大容量、秤ノ秤量ト稱スルハ天秤、臺秤及桿秤ノ秤リ得ヘキ最大重量、桿秤ノ掛量ト稱スルハ秤量ヲ秤ルニ用キサル支點ニ於テ秤リ得ヘキ最大重量、增錘ノ掛量ト稱スルハ各增錘ヲ以テ秤リ得ヘキ重量ヲ云フ

第二條 度器及柄ノ目盛ハ度及量ノ各稱ノ一倍、二倍、五倍又ハ其ノ倍數ノ十分ノ一、若ハ百分ノ一トナスヘシ

秤ノ目盛ハ衡ノ名稱ノ一倍、二倍、五倍又ハ其倍數ノ十分ノ一、十倍若ハ百倍トナスヘシ但シ斤ノ名稱ニ依ルモノハ其ノ四分ノ一又ハ八分ノ一トナスコトヲ得

第三條 度量衡器ニハ前條ノ規定ニ依ラサル目盛又ハ之ニ類似スル標識ヲ附スルコトヲ得ス但シ曲リ尺ノ裏目及天秤ノ度表ハコノ限ニ在ラス

第四條 度量衡器ニ表記スヘキ度量衡ノ名稱ハ其ノ種類ニ從ヒ左ノ略字ヲ用キルコトヲ得

名	稱	略	字
---	---	---	---

		量			度							
	グラム	グラム	ミリグラム	リットル	デシリットル	センチリットル	キロメートル	メートル	デシメートル	センチメートル	ミリメートル	
	瓦又ハ G	担又ハ DG	匁又ハ CG	匁又ハ MG	立又ハ L	升又ハ DL	厘又ハ CL	杆又ハ KM	米又ハ M	粉又ハ DM	糎又ハ CM	糎又ハ MM

三十二

第五條 第三十五條ニ依リ附印スヘキ度量衡器ノ局部革、麻、鑄鐵又ハ鋼鐵ナルトキ

ハ眞鍮片ヲ其局部ニ緊著シ附印ノ便ニ供スヘシ

第六條 度器ハ伸縮シ難キ原料及構造ニ依ルヘシ

第七條 度器ノ目盛ハ左ノ定限ヲ超ユルコトヲ得ス

金屬製度器

六尺以下又ハ二「メートル」以下 全長ノ百分ノ一

六尺又ハ二「メートル」ヲ超エタルモノ 全長ノ十分ノ一

竹、木、骨、象牙製度器

六尺以下又ハ二「メートル」以下 全長ノ五十分ノ一

六尺又ハ二「メートル」ヲ超エタルモノ 全長ノ十分ノ一

革、麻製度器

三十三

三百六十尺以下又ハ百「メートル」以下 全長ノ二十分ノ一
 第八條 鏈尺及線狀卷尺ハ特ニ金屬片又ハ強靱ナル革片ヲ以テ其ノ目盛トナスヘシ
 第九條 度器ニハ目盛ノ各般ノ一端ニ其ノ全長ヲ表記スヘシ
 第十條 金屬製又ハ木製ノ圓壩形柵ノ徑及深ハ之ヲ同一ニナスヘシ但シ一升以下又
 ハ二「リットル」以下ノ金屬製柵ノ徑ハ深ノ二分ノ一、二合五勺以下又ハ五「デシ
 リットル」以下ノ金屬製柵ノ徑ハ深ノ二倍トナスコトヲ得
 玻璃製柵ノ徑ハ全量ヲ表示スル目盛ノ位置ニ於テ其ノ深ヨリ大ニスルコトヲ得ス
 方形柵ノ方ハ左ノ寸法ニ依ルヘシ

種類	方寸	寸法
五勺		一六、〇
一合		二一、〇
二合		二八、七

二合五勺 三〇、五
 五合 三九、五
 一升 四九、〇
 二升 六一、七
 五升 八三、四
 一斗 一〇五、〇

第十一條 前條ニ定ムル徑及方ノ寸法ハ五厘以下又ハ一「ミリメートル」以下ノ増減
 アルヲ妨ケス

第十二條 斗概ハ左ノ寸法ニ依ルヘシ

種類	圓形		板		巾	厚狀
	長	徑	長	巾		
大	一尺二寸乃至一尺四寸	二寸九分乃至二寸一分	一尺二寸乃至一尺四寸	二寸九分乃至三寸一分	五分乃至六分	
中	六寸乃至八寸	一寸乃至一寸一分	六寸乃至八寸	一寸九分乃至二寸一分	四分乃至五分	

小	三寸乃至五寸	七分乃至八分	三寸乃至五寸	九分乃至一寸	二分乃至三分
				一分	

第十三條 二升以上又ハ五「リットル」以上ノ金屬製枴ハ厚三厘以上ノ金屬板ヲ以テ之ヲ製作スヘシ

厚二厘以下ノ金屬板ヲ以テ製作スル枴ハ其口縁ヲ折曲ケ之ヲ外側ニ附著セシムヘシ

厚二厘以下ノ金屬板ヲ以テ製作スル五合一升一「リットル」又ハ二「リットル」ノ枴ハ其金屬板ヲ二重ニスヘシ

第十四條 銅製又ハ銅ノ合金製ノ枴及鐵製枴ハ其ノ内面ニ錫又ハ「ニッケル」ヲ鍍著スヘシ

第十五條 穀類用ノ木製枴ハ鐵板ヲ以テ口縁ヲ被ヒ尙一升以上又ハ二「リットル」以上ノ圓壙形ノモノニアリテハ側及底ノ外面ニ一個又ハ交叉シタル二個ノ鐵帶ヲ一升以上ノ方形ノモノニアリテハ側及底ノ外面ノ四隅ニ鐵帶ヲ附著スヘシ

鐵板又ハ鐵帶ヲ附著セシムルタメ螺旋釘ヲ用キルトキハ其ノ釘頭ヲ削去スヘシ

第十六條 枴ニハ注口把手及趾ヲ附スルコトヲ得注口ハ枴ノ口縁ト其高ヲ同一ニナスヘシ但シ全量口縁ニ達セサル枴ノ注口ニアリテハ此限ニ在ラズ

第十七條 斗概ハ鐵葉ヲ以テ其ノ側面ヲ包ムヘシ但シ檜櫻ノ如キ堅牢ナル木材ヲ以テ製作スルモノニアリテハ此ノ限ニ在ラス

第十八條 枴ニハ外側ニ其ノ全量ヲ表記スヘシ
木製枴ニシテ穀類用ノモノニアリテハ穀用液類用ノモノニアリテハ液用ノ文字ヲ附記スヘシ

斗概ニハ切口ニ其ノ種類ヲ表記スヘシ

第十九條 秤ノ感量ハ左ノ定限ニ依ルヘシ

- 一天秤 秤量ノ二千分ノ一以下 (上皿天秤ハ秤量ノ千分ノ一以下)
- 一臺秤 秤量ノ二千分ノ一以下 (秤量五十貫以下又ハ百五十「キログラム」以下)

下ノモノハ秤量ノ千五百分ノ一以下)

一 桿秤 秤量ノ二百分ノ一以下掛量ノ二百分ノ一以下 (秤量二貫以下又ハ五

「キログラム」以下ニシテ金屬製ニアラサルモノニアリテハ秤量ノ百分ノ

一以下掛量ノ百分ノ一以下)

第二十條 秤ノ乃至受ハ堅硬ナル鋼鐵又ハ石ヲ用キ其ノ緒紐ハ金屬、革又ハ強韌ナル絹絲、麻絲若ハ綿絲ヲ用ユヘシ

第二十一條 臺秤及桿秤ノ目盛ハ左ノ定限ニ依ルベシ但シ其感量ヨリ小ニスルコトヲ得ス

一 臺秤 秤量ノ二千分ノ一以下 (秤量五十貫以下又ハ百五十「キログラム」以下ノモノハ秤量ノ千五百分ノ一以下)

一 桿秤 秤量ノ二百分ノ一以下掛量ノ二百分ノ一以下 (秤量二貫以下又ハ五「キログラム」以下ニシテ金屬製ニアラサルモノニアリテハ秤量ノ百分ノ

一以下掛量ノ百分ノ一以下)

第二十二條 臺秤ノ秤量ハ十貫以上又ハ三十「キログラム」以上トナスヘシ

第二十三條 臺秤及桿秤ノ直點ハ少クトモ一個ヲ其桿上ニ表示スヘシ

調子玉アル桿秤ニアリテハ支點毎ニ其ノ直點ヲ表示スヘシ

前二項ノ規定ハ秤量二百貫以上又ハ五百「キログラム」以上ノモノニ之ヲ適用セス

第二十四條 桿秤ノ取緒ハ二箇以下トシ其ノ二箇ノモノニアリテハ桿ノ表裏ニ之ヲ附スヘシ

第二十五條 分銅錘及増錘ハ其重量ヲ齊整スルタメ離脱セサル方法ニ依リ其ノ重量ノ二十分ノ一ヲ超エサル金屬ヲ之ニ填充スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ其穿口ヲ緊塞スヘシ

第二十六條 天秤ニハ其秤量及感量ヲ臺ノ上面若ハ側面又ハ支柱ニ表記スヘシ
臺秤ニハ其秤量ヲ臺ノ上面ノ縁ニ表記スヘシ

桿秤ニハ盛出量及盛止量ヲ其量ヲ表示スル目盛ニ附記スヘシ但シ盛止量ハ盛出量ト併記スルコトヲ得

第二十七條 分銅ニハ其ノ重量増錘ニハ其掛量ヲ其上面又ハ側面ニ表記スヘシ但シ

五「ミリグラム」以下ノ分銅ニシテ左ノ形狀ニ依ルモノハコノ限ニ在ラス

一 五「ミリグラム」 六角形

一 二「ミリグラム」 三角形

一 一「ミリグラム」 四角形

重量ノ表記ハ五毛以下ノモノニアリテハ一、二、五、五「ミリグラム」以下ノモノニアリテハ1、2、5トナスコトヲ得

第二十八條 分離シ得ヘキ錘、増錘、増錘臺及其附屬スル桿ニハ同一ノ製作年號及番號ヲ表記スヘシ但シ左ノ臺秤及桿秤ニアリテハコノ限ニアラス

臺秤

秤	量	増錘ノ重量ト掛量トノ比			
三十六貫以上	増錘ノ重量其掛量ノ百分ノ一				
三十六貫未満	増錘ノ重量其掛量ノ五十分ノ一				
木製桿秤					
秤	量	掛	量	錘	重
三十二貫又ハ二百斤	十二貫又ハ七十五斤	一貫五百匁			
廿六貫又ハ百六十斤	十貫又ハ六十斤	一貫三百匁			
廿四貫又ハ百五十斤	十貫又ハ六十斤	一貫三百匁			
廿貫又ハ百二十五斤	八貫又ハ五十斤	一貫			
十六貫又ハ百斤	六貫又ハ三十五斤	八百匁			
十二貫又ハ七十五斤	五貫又ハ三十斤	六百匁			
八貫又ハ五十斤	四貫又ハ二十五斤	四百匁			

六貫又ハ三十五斤	三貫又ハ十八斤	三百五十匁
四貫又ハ二十五斤	二貫又ハ十二斤	二百匁
二貫又ハ十二斤	一貫	百匁
一貫六百匁又ハ十斤	四百匁	八十匁
一貫二百匁	二百五十匁	六十匁
六百匁	二百匁	五十匁
四百匁	百匁	二十五匁

前項但書ノ場合ニ於テハ臺秤ノ増錘ニハ其重量桿秤ノ錘ニハ其重量及秤量ヲ上面又ハ側面ニ表記スヘシ

第二十九條 木製秤ニシテ第十五條第一項及第十八條第二項ノ規定ニ依ラサルモノハ營業上數類用ニ第十八條第二項ノ規定ニ依ラサルモノハ營業上液類用ニ之ヲ使用スルコトヲ得ス

二斗以上ノ秤ハ滿ヲ計量スル場合ノ外之ヲ營業ノ目的ニ使用スルコトヲ得ス

第三十條 圓錐形斗概ハ營業上食鹽其ノ他粉狀物ヲ計量スル爲メコレヲ使用スルコトヲ得ス

板狀斗概ハ營業上食鹽其ノ他粉狀物以外ノモノヲ計量スルタメコレヲ使用スルコトヲ得ス

第二章 檢定及臨檢

第三十一條 度量衡器ノ甲種檢定ハ中央度量衡器檢定所ニ於テ之ヲ行ヒ乙種檢定ハ地方長官ノ定ムル檢定所ニ於テ之ヲ行フ

地方長官ニ以上ノ檢定所ヲ設置セントスルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第三十二條 度量衡器ノ檢定ヲ受ケントスルモノハ本則ニ定ムル書式ニヨリ檢定請求書ヲ作り之ニ檢定料相當ノ收入印紙ヲ貼付シ度量衡器ヲ添ヒ檢定所ニ差出スヘシ

第三十三條 乙種檢定ヲ受クヘキ度量衡器ニシテ檢定所ニ差出シ難キ事由アリト認ムルモノニアリテハ地方長官ハ請求ニ依リ器物所在地ニ於テ檢定ヲ行フコトヲ得
 コノ場合ニ於テハ當該官吏ノ旅費其ノ他檢定ニ要スル費用ハ請求者ノ負擔トス
 器物所在地ニ於テ檢定ヲ受ケントスルモノハ其事由ヲ詳記シタル書面ニ第三十二條ノ請求書ヲ添付シ器物所在地ヲ管轄スル地方長官ニ差出スヘシ其許可ヲ受ケタルトキハ請求者ハ前項ノ費用ヲ前納シ諸般ノ準備ヲナスヘシ

第三十四條 錘及增錘ハ第二十八條第一項但書ニ依ルモノヲ除クノ外桿ト分離シテ檢定ヲ受クルコトヲ得ス

第三十五條 檢定證印ハ左ノ局部ニ之ヲ附ス

- 一 一度器 各全長表記ノ傍
- 一 樹 各全量表記ノ傍
- 一 斗概 種類表記ノ傍

- 一 天秤 桿ノ中央部又ハ其ノ附近
- 一 臺秤 桿ノ未端及臺上ニ於テ秤量表記ノ傍
- 一 桿秤 金屬製ノモノニアリテハ直點ノ傍又ハ桿ノ未端
 象牙、骨、黑檀、紫檀製ノモノニアリテハ頭金具
 檀製ノモノニアリテハ桿ノ兩端ニ鐵金具ヲ附シタルモノニアリテハ其傍
- 一 分銅 重量表記ノ傍
- 一 錘 側面
- 一 增錘 掛量表記ノ傍

第三十六條 檢定證印及檢定消印ノ種類雛形ヲ改ムルコト左ノ如シ

- 打込印 大 二分平方 大 四分平方
- 烙印及摺附印

檢定證印面 中 一分二厘平方 小 二分平方

小 六厘平方

打込印

大 長徑二分

短徑一分三厘

小 長徑六厘

短徑四厘

檢定消印

第三十七條 大中小ノ檢定證印ハ之ヲ附スヘキ局部ノ廣狹ニ應シ左ノ區別ニ依リ之ヲ用ユヘシ

一 金屬製度量衡器(天秤ヲ除ク)革製又ハ麻製ノ度量器、斗概及木製秤 打込印

一 木製秤 烙印

一 玻璃製秤 摺附印

一 天秤 打込印又ハ摺附印

一 前各號以外ノ度量衡器 打込印烙印又ハ摺附印

檢定消印ハ檢定證印ノ大中小ニ應シテ之ヲ用ユヘシ

第三十八條 當該官吏檢定及臨檢ノ際必要アリト認ムルトキハ度量衡器ヲ分解スルコトヲ得

第三十九條 當該官吏必要アリト認ムルトキハ臨檢ニ於テ合格シタル度量衡器ニ臨檢濟ノ印ヲ附スルコトヲ得

第四十條 當該官吏犯罪事實ヲ證明スヘキ物件ノ差押ヲナシタルトキハ之ヲ封印シ差押目錄ヲ調製スヘシ

前項ノ物件ハ其保管證書ヲ徴シ所持者又ハ市長町村長若ハ之ニ準スル者ヲシテ之ヲ保管セシムルコトヲ得

第四十一條 差押目錄ニハ物件ノ品目、數量差押ノ事由、差押ノ場所、並日時、物

件所持者ノ住所又ハ居所及其氏名ヲ記載スヘシ

第四十二條 所持者ヲシテ差押物件ヲ保管セシメサル場合ニ於テ差押目録ノ謄本ヲ所持者ニ交附スヘシ

第三章 免許

第四十三條 度量衡器ノ製作又ハ修覆ノ免許ヲ受ケントスルモノハ左ノ事項ヲ記載シタル免許願書ヲ作り度量衡法施行令第十四條第一號、第二號及第四號ニ關スル證明書及技術監督者ノ履歷書ヲ添付シ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

- 一 營業所及工場ノ位置
- 一 製作、修覆又ハ販賣セントスル度量衡器ノ種類、形狀及物質
- 一 技術監督者ノ氏名

輸入販賣ヲナサントスルモノニアリテハ免許願書ニ其旨ヲ附記スヘシ

第四十四條 度量衡器ノ販賣ノ免許ヲ受ケントスルモノハ左ノ事項ヲ記載シタル免

許願書ヲ作り度量衡法施行令第十四條第一號、第二號及第四號ニ關スル證明書ヲ添付シ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

- 一 營業所ノ位置
- 一 販賣セントスル度量衡器ノ種類、形狀及物質

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
第四十五條 度量衡器ノ製作者、修覆者又ハ販賣者ニシテ第四十三條第一項第一號乃至第三號及第四十四條第一項第一號及第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第四十六條 度量衡器製作者又ハ販賣者ニシテ度量衡器ノ輸入販賣ヲナサントスルトキハ農商務大臣ニ届出ヘシ

度量衡器ノ輸入販賣ヲ廢止シタルトキ亦前項ニ同シ

第四十七條 農商務大臣度量衡器ノ製作、修覆又ハ販賣ノ免許ヲ與ヘントスルトキ

ハ免許料及身元保證金納入通告書ヲ出願人ニ送附スヘシ
 出願人前項ノ送附ヲ受ケタルトキハ納入通告書ノ日附ヨリ三十日以内ニ免許料及身元保證金ヲ納付スヘシ
 出願人免許料及身元保證金ヲ前項ノ期間内ニ納付セサルトキハ其出願ヲ無効トス
 第四十八條 出願人身元保證金ヲ納付セントスルトキハ之ヲ金庫ニ供託シ其受領證ヲ所轄地方長官ニ差出スヘシ
 地方長官前項ノ受領證ヲ受取リタルトキハ受領證ヲ出願人ニ交附シ遲滞ナク之ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ
 出願人免許料ヲ納付セントスルトキハ其ノ金額ニ相當スル收入印紙ヲ納付書ニ貼付シ農商務大臣ニ差出スヘシ
 第四十九條 免許料及身元保證金ノ納付アリタルトキハ農商務大臣ハ免許狀ヲ出願人ニ下附スヘシ

免許狀ヲ汚損、亡失又ハ氏名ノ變更アリタルトキハ遲滞ナク其ノ再下付又ハ書換ヲ農商務大臣ニ出願スヘシ
 第五十條 左ノ有價證券ハ身元保證金トシテ之ヲ納付スルコトヲ得

- 一 國債證券及地方債證券
 - 一 政府ノ監視ヲ受クル株式會社ノ株券又ハ債券
- 前項有價證券ノ代用價格ハ農商務大臣之ヲ定ム

第五十一條 身元保證金ニ缺損ヲ生シタルトキハ地方長官之ヲ納付者ニ通知スヘシ
 納附者前項ノ通知ヲ受ケタルハ通知書ノ日附ヨリ二十日以内ニ身元保證金ヲ填補スヘシ

前項ノ期間内ニ身元保證金ヲ填補セサルハ地方長官ハ之ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ
 第五十二條 度量衡器ノ製作者、修覆者及輸入販賣者ハ其製作、修覆又ハ輸入シタルモノナルコトヲ表示スヘキ地方名ヲ附記シタル記號ヲ度量衡器ニ表記スヘシ但シ

板狀分銅ニアリテハコノ限ニアラス

前項ニ依リ記號ヲ表記スル場合ニ於テ其ノ製作シタルモノニハセ修復シタルモノニハシ輸入シタルモノニハヨノ文字ヲ記號ニ附記スヘシ

第五十三條 前條ノ記號ハ豫メ之ヲ農商大臣ニ届出ツヘシ之ヲ變更シタルキ亦同シ農商務大臣ハ同一若ハ類似ノ記號ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第五十四條 度量衡器ノ製作者、修復者又ハ販賣者其營業ヲ廢止シタルキハ遲滯ナク之ヲ農商務大臣ニ届出テ免許狀ヲ返納スヘシ營業免許ノ消滅シタルキ亦同シ

第五十五條 度量衡器ノ製作者、修復者又ハ販賣者ノ相續人ハ度量衡法施行令第十四條ノ規定ニ抵觸セサル場合ニ限り被相續人ノ營業ヲ繼續スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ三十日以内ニ免許狀ノ書換ヲ農商務大臣ニ出願スヘシ

前項ノ願書ニハ相續人タルコトヲ證明スヘキ戸籍謄本及度量衡法施行令第十四條第一號第二號及第四號ニ關スル證明書ヲ添付スヘシ

第五十六條 度量衡器ノ製作者又ハ修復者ハ其ノ工場以外ニ於テ製作又ハ修復ヲナスコトヲ得ス但シ運搬シ難キ度量衡器ノ修復ニアリテハ此ノ限ニアラス

度量衡器ノ製作者又ハ販賣者ハ其營業所以外ニ於テ販賣ヲナスコトヲ得ス

第一項但書ノ場合ニ於テハ豫メ度量衡器所在地ヲ管轄スル地方長官ノ許可ヲ受クヘシ

第五十七條 衡器販賣者度量衡法第八條第三項ニヨリ修復ヲナスントスルキハ秤架並五貫乃至一厘及五百「グラム」乃至一「センチグラム」ノ各種ノ分銅ヲ備ヘ所轄地方長官ニ届出ヘシ

地方長官ハ隨時前項ノ分銅ヲ検査スヘシ

第五十八條 衡器販賣者度量衡法第八條第三項ニヨリ修復ヲナス場合ニ於テ其桿秤ニ差狂アリト認めタルキハ其旨ヲ所轄地方長官ニ届出ヘシ

第五十九條 度量衡器ノ製作者修復者又ハ販賣者免許狀ノ書換ヲ農商務大臣ニ出願

スル場合ニ於テハ其免許狀ヲ願書ニ添付スヘシ

第六十條 本則ニヨリ農商務大臣ニ出願又ハ届出ヲナス場合ニ於テハ所轄地方長官ヲ經由スヘシ

罰 則

第六十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ貳拾圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第二十九條ニ違背シタルモノ

一 第四十五條ノ認可ヲ受ケスシテ第四十三條第一項第一號乃至第三號又ハ第四十四條第一項第一號若ハ第二號ノ事項ヲ變更シタルモノ

一 第五十八條ノ届出ヲ怠リタル者

第六十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ拾圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第三十條又ハ第五十六條ニ違背シタルモノ

一 第四十三條第二項第四十四條第二項又ハ第四十六條第一項ノ手續ヲナサス

シテ度量衡器ノ輸入販賣ヲナシタル者

一 第五十三條第一項ノ届出ヲ怠リタル者

第六十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第四十六條第二項第四十九條第二項及第五十四條ニ違背シタル者

一 第五十五條第一項ノ出願ヲ怠リタル者

一 第五十七條第一項ノ届出ヲナサスシテ桿秤ノ取緒及錘糸ニシテ金屬ニアラサルモノ、修覆ヲナシタル者

附 則

第六十四條 本則ハ明治三十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十年七月農商務省令第十一號度量衡法施行規則ハ之ヲ廢止ス

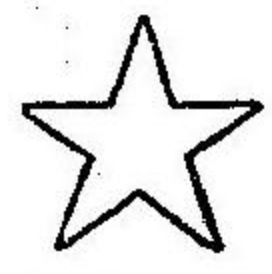
本則施行前檢定ヲ受ケタル度量衡器ノ構造ニ付テハ明治四十一年十二月三十一日迄明治三十年七月農商務省令第十一號ノ規定ヲ適用ス

本則施行前檢定ヲ受ケタル木製枰ニ關シテハ明治四十一年十二月三十一日迄第二十九條第一項ノ規定ヲ適用セス

第六十五條 本則施行前檢定ヲ受ケタル度量衡器ニシテ檢定ニ合格シタルモハ檢定證印ヲ附シ尙證書アルモノニアリテハ其證書ヲ棄却スヘシ

全量ノ十分ノ一未滿ノ目盛アル枰及線狀分銅ニシテ明治三十年勅令第十六號及明治三十年七月農商務省令第十一號ニ依ル檢定ニ合格シタルモノニ付テハ前項ノ規定ヲ適用セス

第六十六條 本則施行前檢定ヲ受ケタル五厘未滿又ハ一「ミリメートル」未滿ノ目盛アル度量器ニシテ度量衡法施行令及本則ニヨリ檢定ニ合格シタルモハ左ノ印ヲ附スヘシ



徑一分

第六十七條 本則施行前免許ヲ受ケタル度量衡器製作者及修覆者ハ技術監督者ヲ定メ其履歷書ヲ添ヘ明治三十七年三月三十一日迄ニ之ヲ農商務大臣ニ届出ヘシ前項ノ場合ニ於テ農商務大臣必要アリト認ムルモハ技術監督者ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第六十八條 本則施行前免許ヲ受ケタル度量衡器ノ製作者修覆者及販賣者ハ其納入シタル身元保證金ニ付明治三十七年二月二十八日迄ニ第四十八條第一項ノ手續ヲナスヘシ

第一號書式(用紙美濃紙)

甲種檢定請求書

度量器

物質	種類	數	檢定料
種	筒 段 製作 修復 輸入	計	

第二號書式(用紙美濃紙)
農商務大臣宛
甲種檢定請求書
量器

年 月 日
住 氏 所
名 印

形狀 種 類	計		竹	
	何箇	何段	何箇	何段
全量ノ種類	何箇	何段	何箇	何段
	〃	〃	〃	〃
	〃	〃	〃	〃
	〃	〃	〃	〃
製作	何箇	何段	何箇	何段
修復	何箇	何段	何箇	何段
輸入	何箇	何段	何箇	何段
計數	何箇	何段	何箇	何段
檢定料	何 錢		何 錢	

五十八

第三號書式(用紙美濃紙)
農商務大臣宛
甲種檢定請求書
衡器

年 月 日
住 氏 所
名 印

秤 量 感 量	計		圓 錐 形	
	何箇	何種	何箇	何種
筒	何箇	何種	何箇	何種
	〃	〃	〃	〃
	〃	〃	〃	〃
	〃	〃	〃	〃
製作	何箇	何種	何箇	何種
修復	何箇	何種	何箇	何種
輸入	何箇	何種	何箇	何種
計數	何箇	何種	何箇	何種
檢定料	何 錢		何 錢	

五十九

第四號書式(用紙美濃紙)

農商務大臣宛

年月日

住氏所 名印

計	圓 形 眞 鍮	板 狀 ニ ツ ケ ル	分 銅	何 貫 又 ハ 何 斤 又 ハ 何 キ ロ ク ラ ム	何 毛 又 ハ 何 ミ リ ク ラ ム	何 匁 又 ハ 何 グ ラ ム	計	何箇	何箇	何箇	何箇	何箇	何錢
								製 作	修 覆	輸 入	計 數	檢 定 料	
								何箇	何箇	何箇	何箇	何錢	何錢

乙種檢定請求書

度器

竹

直尺
〔全長何尺又ハ鯨尺何尺又ハ何メートル〕

物質種 類

計

年月日

道廳長官宛
府縣知事宛

住氏所 名印

第五號書式(用紙美濃紙)

計	竹	何箇	何箇	何箇	何箇	製 作	修 覆	輸 入	計 數	檢 定 料	何錢	何錢
		何箇	何箇	何箇	何箇						何錢	何錢

乙種檢定請求書

量器

計	圓 形 場 形	斗 概	物 質 種 類	形 狀	檢 定 料	製 造 者		
						製 作	修 覆	輸 入
	櫻		大又ハ中	檜		何 箇	何 箇	何 箇
						何 箇	何 箇	何 箇
						何 箇	何 箇	何 箇
						何 箇	何 箇	何 箇
						何 箇	何 箇	何 箇
						何 箇	何 箇	何 箇
						何 箇	何 箇	何 箇

住 所

年 月 日

氏

名 印

道廳長官宛
府縣知事宛

第六號書式(用紙美濃紙)
乙種檢定請求書

衡器

計	天 秤	秤	秤	秤	製 造 者		
					製 作	修 覆	輸 入
		何 貫 又 ハ 何 斤 又 ハ 何 キ ロ ク ラ ム	何 貫 又 ハ 何 斤 又 ハ 何 キ ロ ク ラ ム	何 厘 又 ハ 何 ミ リ ク ラ ム	何 箇	何 箇	何 箇
					何 箇	何 箇	何 箇
					何 箇	何 箇	何 箇
					何 箇	何 箇	何 箇
					何 箇	何 箇	何 箇
					何 箇	何 箇	何 箇
					何 箇	何 箇	何 箇
					何 箇	何 箇	何 箇
					何 箇	何 箇	何 箇
					何 箇	何 箇	何 箇
					何 箇	何 箇	何 箇
					何 箇	何 箇	何 箇

種類	物質	秤量又ハ掛量	重	量	製	箇	作	修	覆	計	數	檢	定	料	計	種類	物質	秤	量	製	箇	作	修	覆	計	數	檢	定	料												
																														何	種	何	種	何	種	何	種	何	種	何	種
計																桿秤		秤		製		箇		作		修		覆		計		數		檢		定		料			
																橙		增錘ヲ有スルモノ		何貫又ハ何斤又ハ何「キログラム」		何箇		何種		何箇		何種		何箇		何種		何箇		何種		何箇		何種	
計																增錘ヲ有セサルモノ		何貫又ハ何斤又ハ何「キログラム」		何箇		何種		何箇		何種		何箇		何種		何箇		何種		何箇		何種		何錢	
																增錘ヲ有セサルモノ		何貫又ハ何斤又ハ何「キログラム」		何箇		何種		何箇		何種		何箇		何種		何箇		何種		何箇		何種		何錢	

種類	物質	秤量又ハ掛量	重	量	製	箇	作	修	覆	計	數	檢	定	料	計	種類	物質	秤	量	製	箇	作	修	覆	計	數	檢	定	料												
																														何	種	何	種	何	種	何	種	何	種	何	種
計																錘		秤		製		箇		作		修		覆		計		數		檢		定		料			
																增錘		何貫又ハ何斤		何箇		何種		何箇		何種		何箇		何種		何箇		何種		何箇		何種		何錢	
計																真鍮		何貫又ハ何斤		何箇		何種		何箇		何種		何箇		何種		何箇		何種		何箇		何種		何錢	
																鐵		何貫又ハ何斤		何箇		何種		何箇		何種		何箇		何種		何箇		何種		何箇		何種		何錢	

○農商務省訓令第二號

道廳長官宛
府縣知事

年月日

住 氏 所

名 印

度量衡器檢定心得左ノ通定ム

明治三十七年一月二十二日

農商務大臣男爵 清浦奎吾

度量衡器檢定心得

第一章 總 則

第一條 度量衡器ノ檢定ハ左ノ順序ニ依リ之ヲ行フベシ

一 度量衡器ノ記號ノ檢査

二 度量衡器ノ種類、形狀、物質及構造ノ檢査

三 度器ノ目盛、量器ノ寸法、目盛及容量、衡器ノ感量目盛及重量ノ檢査

前項第一號ノ檢査ハ製作者、修覆者及輸入販賣者以外ノ者ノ請求ニ係ル度量衡器ニ付テハ之ヲ行フコトヲ要セス

第二條 度量衡器ヲ檢定スルニ當リ檢定後容易ニ差狂ヲ生スルモノト認メタルトキハ適當ノ期間之ヲ檢定所ニ留置スルコトヲ得

第三條 二段以上目盛アル度量衡器ノ目盛ノ一段不合格トナルトキハ其器物ヲ不合格トナスヘシ

二種以上ノ作用ヲナス度量衡器ノ作用ノ一種ニ付其器物不合格トナルトキハ之ヲ不合格トナスヘシ

第二章 度量衡器檢定ノ檢査方法

第四條 卷尺及錠尺ヲ檢査スルニハ檢定用卷尺ヲ、其他ノ度器ヲ檢査スルニハ檢定用直尺ヲ用ユヘシ但シ受檢度器ノ構造ニ依リ檢定用直尺ヲ用キ難キ場合ニ於テハ檢定用卷尺ヲ用キルコトヲ得

錠尺ノ目盛アル度器ヲ檢査スルニハ檢定用錠尺ヲ用ユヘシ

第五條 度器ヲ檢査スルニハ各目盛ノ標識ヲ之ニ相當スル檢定用度器ノ目盛ノ標識ニ對照シ全長及目盛ヲ檢査スヘシ

第六條 受檢度器ノ全長檢定用度器ニ均シキモノニアリテハ兩器ノ目盛ノ起標ヲ正

シク合セ又受檢度器ノ全長檢定用度器ヨリ短キモノニアリテハ受檢度器ノ目盛ノ起標ヲ檢定用度器ノ右方ヨリ數ヘタル受檢度器ノ全長相當ノ目盛ノ標識ニ正シク合セ受檢度器ノ目盛ヲ左方ヨリ右方ニ及ホシ逐次之ニ相當スル檢定用度器ノ目盛ニ對照シ又其ノ全長ヲ右端ノ目盛ノ標識ニ對照スヘシ

受檢度器ノ全長檢定用度器ヨリ長キモノニアリテハ檢定用度器ニ相當スル長サ毎ニ及其ノ殘餘ノ部分ニ就キ前項ノ手續ヲ行フヘシ此ノ場合ニ於テ毎次分長ニ就キ視定シタル差ヲ差引キシタルモノヲ全長ノ差トスヘシ

第七條 曲リ尺ハ前條ノ手續ニ依リ兩枝ノ全長及目盛ヲ檢査シ直角檢定器ニ依リ其ノ内外ノ直角ヲ檢査スヘシ此ノ場合ニ於テ長枝ノ内邊及外邊カ内外二角ニ相當スル標線間ニアルモノヲ合格トナスヘシ

第八條 疊尺及卷尺ハ之ヲ延長シテ第六條ノ手續ニ依リ其全長及目盛ヲ檢査スヘシ麻製線狀ノモノニアリテハ前項檢査ノ外全長百尺未滿又ハ三十「メートル」未滿ノ

モノニ付テハ二貫、全長百尺以上又ハ三十「メートル」以上ノモノニ付テハ三貫ニ相當スル力ヲ以テ之ヲ伸張シ公差以内ニアルモノヲ合格トナスヘシ

第九條 圓壙形樹ノ寸法ヲ檢査スルニハ第一量器用尺又ハ第二量器用尺ヲ、方形樹及斗概ノ寸法ヲ檢査スルニハ第三量器用尺ヲ用ユヘシ

圓壙形樹及二升以上ノ方形樹ノ容量ヲ檢査スルニハ檢定用第一量器(圓壙形)又ハ檢定用第二量器ヲ、一升以下ノ方形樹ノ容量ヲ檢査スルニハ檢定用第一量器(方形)ヲ用ユヘシ

第十條 量器ノ寸法ハ左ノ手續ニ依リ之ヲ檢査スヘシ

- 一 方形樹ハ方ノ寸法及相對スル内面ノ距離ヲ各一個所以上ニ於テ檢査スヘシ
- 一 圓壙形樹ハ三箇所以上ニ於テ徑ノ寸法ヲ檢査スヘシ
- 一 圓壙形斗概ハ之ヲ平板上ニ輾轉シ板狀斗概ハ之ヲ平板上ニ當テ其ノ面ニ密著セサルモノハ不合格トシ其ノ密著スルモノニ付テハ更ニ其ノ長及徑又ハ幅及

厚ヲ検査スヘシ

第十一條 樹ノ容量ヲ検査スルニハ五合以上又ハ一「リットル」以上ノ金屬製樹及木製樹(液用ヲ除ク)ニ付テハ善ク乾キテ粒ノ揃ヒタル製粟ヲ、二合五勺以下又ハ五「デシリットル」以下ノ金屬製樹、玻璃製樹及液用ノ木製樹ニ付テハ清淨ナル冷水ヲ用ユヘシ

第十二條 粟粒ヲ以テ樹ノ容量ヲ検査スルニハ逐次左ノ手續ヲ行フヘシ

- 一 受檢樹ニ相當スル檢定用量器及容量比較器ヲ量器檢定臺上適宜ノ位置ニ据ヘ其ノ上位ニ漏斗ヲ裝置スヘシ漏斗ノ高ハ兩器ニ對シ之ヲ同一ニシ且斗概ヲ使用スルニ差支ナキヲ度トスヘシ
- 五升、一斗、十「リットル」及二十「リットル」ノ容量比較器ハ函ニ裝置シタル儘之ヲ使用スヘシ
- 檢定用斗概及漏斗ノ注口ハ五升以上又ハ十「リットル」以上ノモノニアリテハ

- 其ノ大ヲ、五合以上又ハ一「リットル」以上ノモノニアリテハ其ノ中ヲ、二合五勺以下又ハ五「デシリットル」以下ノモノニアリテハ其ノ小ヲ用ユヘシ
- 二 漏斗ノ注口ヲ閉テ之ニ方形樹ニアリテハ其ノ容量ノ五割増、圓形ノモノニアリテハ三割増ノ粟粒ヲ盛リ其ノ注口ヲ開キ檢定用量器ノ中央部ニ於テ注入セシメ檢定用斗概ノ刃ヲ靜ニ樹ノ一隅(検査スル者ニ最モ遠キ)ニ當テ其ノ稜ヲ前ニ向ケ之ヲ反對ノ方ニ傾ケ輕快ニ検査スル者ノ方ニ引キテ樹ノ上面ニ餘リタル粟粒ヲ拂ヒ去ルヘシ此ノ場合ニ於テ樹ノ縁ニ粟粒ノ殘留スルカ又ハ樹ヲ震動シタルトキハ更ニ其ノ施行ヲ新ニスヘシ
- 三 樹ノ粟粒ヲ容量比較器上ノ漏斗ニ盛リ移シ其ノ注口ヲ開テ之ヲ容量比較器ニ注入セシメ粟粒ノ上面ニ當ル目盛ヲ視定スヘシ但シ粟粒ヲ漏斗ニ移スニハ務メテ比較器及漏斗ノ震動又ハ粟粒ノ飛散ヲ防クヘシ
- 四 受檢樹ニ付更ニ前三號ノ手續ヲ施行シ容量比較器ノ目盛ニ依リ檢定用量器ト

受檢樹トノ容量ノ差ヲ視定スヘシ此ノ場合ニ於テ漏斗ノ注口ノ高ハ檢定用量器ノ場合ト同一ニスルヲ要ス

第十三條 二斗以上ノ樹ノ容量ヲ檢査スルニハ之ニ相當スル容量比較器及一斗檢定用第一量器ニ付前條第一號乃至第三號ノ手續ヲ施行セシ後受檢樹ニ付前條第一號及第二號ノ手續ヲ施行シ二斗樹ニアリテハ一斗ノ粟粒ヲ、二斗五升樹ニアリテハ五升及一斗ノ粟粒ヲ、三斗樹ニアリテハ一斗ツ、二回ニ二斗ノ粟粒ヲ前條ノ手續ニ準シテ取去リ殘餘ノ粟粒ニ就キ前條第三號ノ手續ヲ行ヒ其ノ最後ニ視定シタル容量比較器ノ目盛ニ依リ檢定用量器ト受檢樹トノ容量ノ差ヲ視定スヘシ

第十四條 多數ノ樹ヲ引續檢査スル場合ニ於テハ檢定用量器ニ付豫メ第十二條第二號及第三號ノ手續ヲ反覆施行シ粟ノ上面ニ當ル容量比較器ノ平均目盛ヲ定メ此ノ平均目盛ニ依リ同條第四號ノ手續ヲ行フコトヲ得

第十五條 冷水ヲ以テ樹ノ容量ヲ檢査スルニハ逐次左ノ手續ヲ行フヘシ

一 受檢樹ニ相當スル容量比較器ニ水ヲ注入シテ下方ノ公差線ニ達セシメ水ヲ以テ受檢樹ノ内面ヲ濕シタル後之ヲ水平面上ニ置キ容量比較器ノ水ヲ之ニ移スヘシ

二 蓋ノ一部ヲ受檢樹ノ口縁ニ載セ之ヲ進メテ密閉シ水ノ溢出セス且蓋下ニ氣泡ヲ殘サザルモノ又ハ之ヲ殘スモ公差ノ二倍ニ相當スル水ヲ徐ニ注加シ氣泡ノ消滅スルニ至ルモノヲ合格トナスヘシ

目盛アル玻璃製樹ニアリテハ各目盛ニ付前項第一號ノ手續ニ依リ水ヲ受檢樹ニ移シ其ノ水面カ檢査セントスル目盛線ニ達スルモノ又ハ之ニ達セサルモ公差ノ二倍ニ相當スル水ヲ注加シテ之ニ達スルモノ又ハ之ヲ超エルモノヲ合格トナスヘシ但シ水面ハ下方ノ水際ニ於テ之ヲ視定スヘシ

第十六條 分銅ヲ檢査スルニハ一貫以上又ハ二キログラム以上ノモノニアリテハ檢定用大形天秤ヲ、五十匁以上又ハ百グラム以上ノモノニアリテハ檢定用中形

天秤ヲ、二十匁以下又ハ五十「グラム」以下ノモノニアリテハ檢定用小形天秤ヲ用ユヘシ

度量衡法施行細則第二十八條但書ニ依ル鍾又ハ増鍾ニ付テハ檢定用上皿桿秤ヲ用キ其ノ重量ヲ檢査スヘシ

第十七條 分銅ヲ檢査スルニハ檢定用天秤ノ右皿ニ檢定用分銅ト共ニ公差ニ相當スル分銅ヲ載セ、其ノ左皿ニ鉛若クハ他ノ分銅ヲ載セ之ヲ平等ナラシメ右皿ノ分銅ヲ撤去シ之ニ受檢分銅ヲ載スヘシ此ノ場合ニ於テ平等ヲ得ルトキ又ハ右皿偏輕ヲ表スルモ之ニ其ノ公差二倍ニ相當スル分銅ヲ加ヘ平等若ハ偏重ヲ表スルトキハ之ヲ合格トナスヘシ但シ公差ニ相當スル分銅微小ナルトキハ檢定用天秤ノ度表ニ依リ公差ヲ視定スルコトヲ得

第十八條 天秤ヲ檢査スルニハ逐次左ノ手續ヲ行フベシ

一 天秤ノ臺ナキモノハ之ヲ水平ナル秤架ニ懸ケ其ノ臺アルモノハ水平ナル秤臺

ニ載セ秤臺ニ載セ難キモノハ之ヲ土間ニ据ヘ天秤ノ臺ヲ水平ナラシムヘシ

二 桿ヲ平等ナラシメ之ニ微振ヲ與ヘ其ノ平等ニ復シタルトキニ於テ其ノ指針標點ヲ指スカ又ハ中央標識ノ左右半度目以内ヲ指スモノニアラサレハ之ヲ不合格トナスベシ

釣、皿等ノ桿ト分離スルモノニシテ之ヲ懸クル桿ノ左右ニ釣、皿等ノ附屬スル點ヲ表示スル符號ナキモノニアリテハ分離スル部分ヲ左右交換シ同一ノ位置ニ於テ平等ヲ得ルモノニアラサレバ之ヲ不合格トナスヘシ

三 天秤ノ右皿ニ其ノ秤量ニ相當スル檢定用分銅ヲ、其ノ左皿ニ鉛若クハ他ノ分銅ヲ載セ桿ヲ平等ナラシメ分銅又ハ鉛ヲ左右交換シ平等ヲ得タルモノ又ハ平等ヲ得サルモ度表アルモノニシテ其ノ傾斜度表ノ半度目ヲ超エサルモノ若ハ度表ナキモノニシテ感量ノ二分ノ一ニ相當スル分銅ヲ皿ニ載セ指針標點ヲ指モノ若ハ之ヲ超ユルモノニアラサレハ之ヲ不合格トナスヘシ

四 天秤ノ兩皿ニ秤量ニ相當スル分銅ヲ載セ平等ヲ得セシメ感量相當ノ分銅ヲ一方ノ皿ニ載セ度表アルモノニシテ一度目以上ノ感動ヲ起スモノ又ハ度表ナキモノニシテ其ノ感動ヲ目撃シ得ルモノヲ合格トナスヘシ

感量相當ノ分銅微小ナルトキハ其ノ重量ノ二倍乃至五倍ノ重量アル分銅ヲ用ユルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其倍数ニ相當スル數以上ノ度目ヲ感動スルヲ要ス

上皿天秤ニ付キ前項ノ検査ヲ行フニ當リテハ分銅ヲ皿ノ適宜ノ位置ニ置キ換フルコトヲ要ス

第十九條 臺秤及臺アル桿秤ヲ検査スルニハ臺秤ニアリテハ其ノ臺ヲ水平ニ据ヘ、

桿秤ニアリテハ之ヲ水平ナル秤臺ニ載セ逐次左ノ手續ヲ行フヘシ

- 一 直點アルモノニアリテハ錘ヲ直點ニ懸ケ其ノ桿カ桿息メノ中間ニ靜ツミ且之ニ微振ヲ與ヘ中間ヨリ上下一様ニ振動スルモノニアラサレハ之ヲ不合格トナ

スヘシ

- 二 錘ヲ數箇所ノ目盛ニ懸ケ順次盛止メニ及ホシ各其ノ目盛ニ相當スル分銅ヲ逐次臺又ハ皿ニ載セ其ノ増錘アルモノニアリテハ最小ノ増錘ヲ桿端ニ懸ケ盛止メ量及掛量ニ相當スル分銅ヲ臺又ハ皿ノ四隅ニ移シ載セ其ノ都度平等ヲ得ルモノ若ハ平等ヲ得サルモ公差相當ノ分銅ヲ増減シテ平等ヲ得ルモノニアラサレハ之ヲ不合格トナスヘシ

- 三 増錘ナキ桿秤ハ錘ヲ盛リ止メニ懸ケ之ニ相當スル分銅ヲ皿ニ載セ平等ヲ得タルトキニ於テ其ノ最小目盛相當ノ分銅ヲ皿ニ加ヘ感動ヲ起スモノヲ合格トナスヘシ又増錘アル桿秤若ハ臺秤ハ其ノ増錘ノ少量ノモノヨリ漸次大量ノモノニ及ホシ各別ニ之ヲ桿端ニ懸ケ又之ヲ悉皆同時ニ桿端ニ且錘ヲ盛リ止メニ懸ケ毎次之ニ相當スル分銅ヲ臺又ハ皿ニ載セ平等セサルモノハ之ヲ不合格トナシ平等ヲ得タルモノハ尙最小目盛相當ノ分銅ヲ臺又ハ皿ニ加ヘ感動ヲ起スモ

ノヲ合格トナスヘシ

秤量大ナル臺秤及桿秤ノ検査ニ付テハ適宜鐵材、石材等ヲ以テ分銅ノ重量ヲ補充スルコトヲ得

第二十條 臺ナキ桿秤ヲ検査スルニハ之ヲ秤架ニ裝置シ直點アルモノニアリテハ錘ヲ直點ニ懸ケ桿ノ水平ヲ得ルモノ若ハ睨ミノ一致スルモノニアラサレハ之ヲ不合格トス其他ハ各支點ニ付前條ノ手續ニ準シ検査ヲナスヘシ

第二十一條 秤ノ刃及刃受ヲ検査スルニハ秤量ニ於テ桿ヲ平等ニシ其位置ヨリ上下各三十度ノ傾ニ搾リヲシタル後更ニ直點又ハ最小目盛ノ検査ヲナスヘシ
桿ノ構造ニ依リ前項ノ検査ヲナシ得サルモノニアリテハ音響又ハ鏗ヲ以テ刃及刃受ノ堅サヲ検査スヘシ

第二十二條 臺秤及木製桿秤ハ其ノ桿ト分離スル部分ニ附記セル年號番號ヲ検査シ同一ナラサルモノハ之ヲ合格トナスヘシ但シ度量衡法施行細則第二十八條第一項

但書ニ依ルモノニアリハ重量ノ表記ヲ検査シ其表記カ同條ノ規定ニ適合セサルモノハ之ヲ不合格トナスヘシ

第二十三條 度量衡器ノ目盛ノ標識若ハ之ヲ表示スル文字ニ錯誤アルモノ又ハ其ノ表記ニ錯誤アルモノ若ハ之ニ類似スル文字、圖形ヲ記入シタルモノ竝ニ製作者、修覆者又ハ輸入販賣者ノ檢定請求ニ係ル度量衡器ニシテ度量衡法施行細則第五十二條ニ依ル記號ナキモノ若ハ其ノ記號ニ錯誤アルモノハ之ヲ合格セサルモノトナスヘシ

第三章 度量衡器臨檢ノ検査方法

第二十四條 臨檢ニ於テ度量衡器ヲ検査スルニ携帯檢定器ヲ用ユヘシ
携帯檢定器ハ毎回臨檢ニ先チ檢定用具ニ比較シテ其ノ正否ヲ檢スヘシ

第二十五條 度器ヲ検査スルニハ全長及五厘以上又ハ一「ミリメートル」以上ノ目盛ニ付第五條乃至第八條ヲ準用シ其ノ手續ヲ行フヘシ

度器ノ五厘未滿又ハ一「ミリメートル」未滿ノ目盛アル部分ニ付テハ其ノ構造ノミ
ヲ検査シ異狀ヲ認めサルモノハ之ヲ合格トナスヘシ

第二十六條 枱ヲ検査スルニハ其ノ徑、方及深ニ依リ先ツ其ノ容量ノ正否ヲ檢シ容
量正確ニシテ構造ニ異狀ナキモノハ之ヲ合格トナスヘシ

玻璃製枱及斗概ニ付テハ其ノ構造ニ異狀ナキトキハ玻璃製枱ニアリテハ其ノ容
量、斗概ニアリテハ其寸法ノ検査ヲナスヲ要セス但シ特ニ必要アリト認めタルモ
ノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條 天秤ヲ検査スルニハ第十八條ヲ準用シ其手續ヲ行フヘシ

第二十八條 臺秤及桿秤ヲ検査スルニハ第十九條、第二十條及第二十二條ヲ準用シ
其ノ手續ヲ行フヘシ但シ増錘ヲ以テ秤ル重量及五貫又ハ二十「キログラム」ヲ超エ
タル目盛ニ付テハ構造上特ニ異狀アリト認めタルモノノ外其ノ検査ヲ省略スルコ
トヲ得

第二十九條 分銅ヲ検査スルニハ二十粒以上又ハ百「グラム」以上ノモノニアリテハ
携帶用大形天秤ヲ二十粒未滿又ハ百「グラム」未滿ノモノニアリテハ携帶用小形天
秤ヲ用キ第十七條ヲ準用シ其ノ手續ヲ行ヒ一厘未滿又ハ一「センチグラム」未滿ノ
分銅ニアリテハ一厘又ハ一「センチグラム」ニ達スル迄各種ノ分銅ヲ組ミ合セ其ノ
重量ヲ検査シ其公差以内ニアリテ構造ニ異狀ヲ認めサルモノハ之ヲ合格トナス
ヘシ

第三十條 甲種檢定ヲ受ケタル度量衡器ニシテ左ニ該當スルモノハ便宜中央度量衡
器檢定所又ハ支所ニ其ノ提出ヲ命スヘシ

- 一 度器ノ五厘未滿又ハ一「ミリメートル」未滿ノ目盛アル部分ノ構造ニ異狀アル
モ合格不合格ヲ認定シ難キモノ
- 一 感量一毛未滿又ハ五「ミリグラム」未滿ノ天秤ニシテ第二十七條ノ手續ニ依リ
合格スルモ構造ニ異狀アリト認めタルモノ

一 一厘未滿又ハ「センチグラム」未滿ノ分銅ニシテ各種組ミ合セタル重量ノ和合格スルモ構造ニ異狀アリト認メタルモノ

第四章 雜 則

第三十一條 度量衡器檢定所ハ乾燥靜穩ナル場所ニ之ヲ設クヘシ

第三十二條 度量衡器ノ檢定ヲ行フ室ハ堅牢平坦ナル敲キ土間ニナスヘシ

第三十三條 附錄第一號ノ檢定原器、標準分銅、檢定用具及臨檢用具ハ農商務大臣之ヲ地方長官ニ交附スヘシ

第三十四條 檢定原器ハ濕氣、溫度ノ劇變、火災及塵埃ヲ避クヘキ場所ニ於テ堅牢ナル容器ニ納メ地方長官之ヲ保管スヘシ

第三十五條 地方長官檢定原器ヲ檢査スルノ必要アリト認ムルトキハ其ノ事由ヲ詳記シ之ヲ農商務大臣ニ申請スヘシ

第三十六條 地方長官標準分銅、檢定用具又ハ臨檢用具ノ修補、引換又ハ増加ノ必

要アリト認ムルトキハ其ノ事由ヲ具シ之ヲ農商務大臣ニ申請スヘシ

第三十七條 地方長官ハ附錄第一號ノ度量衡器檢定器又ハ量器檢定器ニ代用シ得ヘキ器具ニシテ使用上便利ナリト認ムルモノハ農商務大臣ノ許可ヲ得之ヲ使用スルコトヲ得

第三十八條 地方長官ハ附錄第二號ノ檢定補助用具ヲ備フヘシ

第三十九條 地方長官度量衡取締規則ヲ制定シタルトキハ遲滯ナク之ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ其ノ改正シタルトキ亦同シ

第四十條 地方長官ハ第一號及第二號書式ニ依リ前年四月ヨリ其ノ年三月ニ至ル一箇年間ニ於ケル度量衡器ノ檢定及臨檢ノ成績ヲ毎年五月三十一日迄ニ農商務大臣ニ報告スヘシ

第四十一條 明治二十四年農商務省訓令第三十五號及明治三十年農商務省訓令第九號ハ之ヲ廢止ス但シ明治三十七年三月三十一日迄ニ檢定ヲ爲シタル度量衡器檢

定成績ノ報告ハ明治二十四年農商務省訓令第三十五號第十二條ノ書式ニ依ルヘシ
第一號書式(用紙美濃紙)

自明治何年四月一日 度量衡器檢定成績表
至明治何年三月三十一日 其ノ他ノモノニ付キ各(製作、修覆、輸入販賣及別ニ調製スヘシ) 應府縣

度 器	器 物		計 數	
	合格	不合格	何箇	何箇
直 金	尺	鯨尺	〃	〃
	尺	鯨尺	〃	〃
	尺	鯨尺	〃	〃
	尺	鯨尺	〃	〃
	尺	鯨尺	〃	〃
屬	尺	鯨尺	〃	〃
	尺	鯨尺	〃	〃
	尺	鯨尺	〃	〃
	尺	鯨尺	〃	〃
	尺	鯨尺	〃	〃

曲		尺								
金		木、竹、骨、象牙			尺					
尺、鯨尺	尺、鯨尺	尺	尺	尺	尺	尺	尺	尺	尺	尺
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

卷						尺					
屬			金			木、竹、骨					
尺、鯨尺、「メートル」	鯨尺、「メートル」	尺、「メートル」	尺、鯨尺	鯨尺	尺	尺、鯨尺、「メートル」	鯨尺、「メートル」	尺、「メートル」	尺、鯨尺	「メートル」	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	

疊							尺				
象牙	屬			金			屬				
鯨尺	尺	尺、鯨尺、「メートル」	鯨尺、「メートル」	尺、「メートル」	尺、鯨尺	「メートル」	鯨尺	尺	尺、鯨尺、「メートル」	鯨尺、「メートル」	尺、「メートル」
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

圓 樽	形 樽 圓		金 屬	升	計	檢 定 料 總 額	量 器	樹	尺	
	銀杏、 松	檜、 榎							屬	屬
升	「リットル」	升	「リットル」	升					鯨尺、「メートル」	尺、鯨尺、「メートル」
»	»	»	»	何	合格	器	合格	»	»	»
»	»	»	»	何	不合格	物	不合格	»	»	»
»	»	»	»	何	計	箇	計	»	»	»
»	»	»	»	何	計	數	數	»	»	»

鍵		尺	
金	麻、	草、	尺
尺、鯨尺	尺、鯨尺、「メートル」	尺、鯨尺	尺
尺、「メートル」	尺、鯨尺、「メートル」	尺、鯨尺	尺
尺、鯨尺	尺、鯨尺、「メートル」	尺、鯨尺	尺
尺、「メートル」	尺、鯨尺、「メートル」	尺、鯨尺	尺
尺、鯨尺	尺、鯨尺、「メートル」	尺、鯨尺	尺
尺、「メートル」	尺、鯨尺、「メートル」	尺、鯨尺	尺
尺、鯨尺	尺、鯨尺、「メートル」	尺、鯨尺	尺
尺、「メートル」	尺、鯨尺、「メートル」	尺、鯨尺	尺
尺、鯨尺	尺、鯨尺、「メートル」	尺、鯨尺	尺
尺、「メートル」	尺、鯨尺、「メートル」	尺、鯨尺	尺

桿		秤				臺			天秤		
金		貫、斤、「キログラム」	斤、「キログラム」	貫、「キログラム」	貫、斤	斤	貫	貫	「キログラム」	貫	
斤	貫										
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	何箇	合格
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	何箇	合格
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	何箇	不合格
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	何箇	不合格
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	何箇	計
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	何箇	計

秤	衡器	檢定料總額	計	板狀	圓環形	斗	計	方形	圓形及
								榿、櫻、杏、松、姫子	錐
								升	「リットル」
								升	「リットル」
								升	「リットル」
								升	「リットル」
								升	「リットル」
								升	「リットル」
								升	「リットル」
								升	「リットル」
								升	「リットル」

「キログラム」	貫	分銅	計							
			秤							
			檜		紫檀		黒檀			
			貫、斤、「キログラム」	斤、「キログラム」	貫、「キログラム」	貫、斤	「キログラム」	斤	貫	
〃	何箇	合格	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	何箇	不合格	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	何箇	計	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	何箇	計	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

骨、象牙、屬											
骨			象牙			屬					
貫、斤、「キログラム」	斤、「キログラム」	貫、斤	貫、斤	「キログラム」	斤	貫	貫、斤、「キログラム」	斤、「キログラム」	貫、「キログラム」	貫、斤	「キログラム」
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

計	錘	增錘	計	檢定料總額	備考	本欄ニハ檢定ヲナシタル度量衡器ニシテ新規ノ構造ヲ有スルモノアレバ特ニ其ノ構造ヲ詳記スヘシ
					右度量衡器檢定ノ成績及報告候也	
					年月日	
					農商務大臣宛	
					府縣知事 (北海道廳長官)	
印						

計	器	度	直尺	鯨尺	曲リ尺	疊尺	卷尺	鏈尺	自明治何年四月一	至明治何年三月三十一日	度量衡器檢成續表				
									廳府縣						
									器	合格	物	不合格	箇	計	數
									何箇	何箇	何箇	何箇			
									〃	〃	〃	〃			

第二號書式(用紙美濃紙)

計	衡器					計	量器			
	錘、増錘	分銅	桿秤	臺秤	天秤		斗概	樹		金屬
								木材 方形	圓形	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	

備考 本欄ニハ不合格トナリタル事由ノ主要ナルモノヲ詳記スヘシ
右度量衡器臨檢ノ成績及報告候也

年月日

府 縣 知 事
(北海道廳長官)



農商務大臣宛
附錄策一號

檢定原器

- 一 第一度量檢定原器
兩端ニ於ケル三條ノ線ノ各中央線間ノ長ヲ一尺トシ各一端ニ於ケル三條ノ線
相互ノ距離ヲ五毛トス
- 二 第二度量檢定原器

兩端ニ於ケル三條ノ線中各中央線間ノ長ヲ「メートル」トシ各一端ニ於ケル
三條ノ線相互ノ距離ヲ十分ノ二「ミリメートル」トス

三 第一衡檢定原器

一貫

四 第二衡檢定原器

一「キログラム」

標準分銅

一 一貫以下

二 一「キログラム」以下

檢定用具

一 第一直尺

三尺

二 第二直尺

一「メートル」

三 第三直尺(鯨尺)

鯨尺二尺

四 第一卷尺

十八尺

五 第二卷尺

五「メートル」

六 量器用尺

七 第一量器

八 第二量器

九 第一分銅

- 十 第二分銅
- 十一 大形天秤
- 十二 中形天秤
- 十三 小形天秤
- 十四 度器檢定器(度器檢定臺、目渡器、直角檢定器、抑臺)
- 十五 量器檢定器(量器檢定臺、容量比較器、粟受盆、漏斗、斗概)
- 十六 寒暖計
- 十七 顯微鏡
- 十八 水準器
- 十九 吹砂刻印機
- 二十 檢定證印
- 二十一 檢定消印

臨檢用具

- 一 携帶檢定器
- 二 檢定消印

附錄第二號

檢定補助用具

- 一 秤架
- 二 取緒鉗
- 三 秤臺
- 四 鉛丸、鉛板
- 五 精粟
- 六 粟注
- 七 水注

八 吸水管

九 杓

十 打印盤

十一 鋸

十二 烙印ノ柄

十三 右ノ外檢定ノ執行ニ必要ナル物品

○農商務省官制中改正(明治三十六年十二月二十三日勅令第二百八十八號)

第六條中商品見本ノ下ニ「及參考品」ヲ加ヘ左ノ三項ヲ加フ

一 商工局ニ中央度量衡器檢定所ヲ置キ度量衡器ノ甲種檢定及檢差調査ニ關スル事項ヲ掌ラシム

二 中央度量衡器檢定所ニ支所ヲ置ク支所ハ之ヲ大坂ニ置ク

三 中央度量衡器檢定所長及支所長ハ農商務技師ヲ以テ之ニ充ツ

第十四條中「三十三人」ヲ「三十五人」ニ「四十六人」ヲ「五十一人」ニ改ム
第十五條中「八十七人」ヲ「八十九人」ニ改ム

附 則

本令ハ明治三十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

○度量衡法施行細則中改正(明治三十六年十二月二十五日農商務省令第十四號)

第七條 金屬製度量器「六尺以下又ハ二メートル以下全長ノ百分ノ一」ノ前ニ一尺以下又ハ五センチメートル以下全長ノ五十分ノ一ヲ加フ

○農商務省告示第二百五十八號

中央度量衡器檢定所及其支所ノ位置ヲ左ノ通定ム

明治三十六年十二月二十六日

農商務大臣男爵 清 浦 奎 吾

中央度量衡器檢定所

東京市京橋區木挽町農商務省構内

中央度量衡器檢定所大阪支所

大阪市西區江ノ子島上ノ町大阪府廳構内

○農商務省告示第二百五十九號

度量衡器ノ製作者及修復者ハ其製作又ハ修復ノ用ニ供スル爲左ノ製作修復原器ノ拂下ヲ農商務大臣ニ申請スルコトヲ得

明治三十六年十二月二十六日

農商務大臣男爵 清 浦 奎 吾

一 度量製作修復原器

一 尺「メートル」

一 衡製作修復原器

一 貫「キログラム」

○商發第三〇六號

明治三十六年農商務省令第十號度量衡法施行細則第四十八條第一項ニ依リ度量衡器製作修復販賣者身元保證金ヲ金庫ニ供託シタル後之レガ拂戻ヲ請求スル場合ニ於テハ明治三十二年三月六藏省令第六號供託物取扱規程第九條第一項第二號ノ證明書ハ

貴官ヨリ受取人へ交附相成可然ト存候此段及御通牒候也

明治三十六年十二月二十五日

農商務省商工局長 森 田 茂 吉

宮城縣知事 田邊輝實殿

○商發第三一一號

明治三十六年十二月農商務省令第十號度量衡法施行細則第五十一條ノ度量衡器製作修復者ハ販賣者ノ身元保證金ニ使用シ得ヘキ有價證券ノ代用價格當分ノ内左ノ通指定セラレ候條此段及御通牒候也

明治三十七年一月七日

農商務省商工局長 森 田 茂 吉

宮城縣知事 田邊輝實殿

一金録公債證書額面金百圓ニ付 金九拾圓

一 整理公債證書額面金百圓ニ付 金九拾圓
 一 軍事公債證書額面金百圓ニ付 金九拾圓
 一 海軍公債證書額面金百圓ニ付 金九拾圓
 追テ他ノ有價證券ヲ身元保證金ニ代用ノトキハ其都度時價及拂込金額等ノ調書相
 添御申出相成可然ト存候此段申添候也

○第五一四號

度量衡器製作修履販賣者身元保證金ハ各種公債證書ノ外更ニ左ノ有價證券ヲ使用ス
 ルコトヲ得ベシ右及御通牒候也

明治三十七年一月廿七日

農商務省商工局長 森 田 茂 吉
 宮城縣知事 田邊輝實殿
 日本興業銀行債券 額面五拾圓 代用價格四拾貳圓

日本勸業銀行債券 額面貳拾圓 代用價格拾六圓

○商發第六二〇號

從來樹ニ弦鉄ヲ附スルモ差支ナキコトニ相成居候處今般度量衡法令改正ノ結果右ハ
 臨檢上自然不合格ニ可相成筈ニ有之候條自今弦鉄ヲ廢シ候様當業者へ御示諭相成度
 爲念此段及御通牒也

明治三十六年十二月廿六日

農商務省商工局長 森 田 茂 吉
 宮城縣知事 田邊輝實殿
 度量衡檢定用具保管注意

一 木製ノ檢定用具及補助用具ハ主トシテ乾濕ノ變化ニ依リ伸縮及屈撓ヲ呈スルヲ以
 テ直接日光又ハ雨濕ノ射入スル場所ヲ避ケ可成空氣ノ流通自在ニシテ乾濕ノ劇變
 ナキ所ヲ撰定スヘシ

二 金屬製檢用具ハ例ヘ外覆若クハ容器アルモノト雖其容内ニ含有スル濕氣ノ附着ニ依リ酸化ヲ來スモノナレハ乾濕ノ劇變ナキ場所ニ並置シ且ツ濕氣少キ快晴ノ日ヲ撰ヒ(連雨又ハ大雨雪等ノ翌日ハ快晴ノ日ト雖トモナスヘカラス)之ヲ函ヨリ取出シ乾燥スヘシ

三 金屬製檢定用具中度量器、眞鍮、分銅天秤ノ類ハ叮重ナル容器内ニアリト雖之ヲ放置スルトキハ其上面ハ差シタルコトナキモ函内装置中ノ凹所其他貼付セル布類ニ密接セル部分ハ一体ニ酸化ヲ來スモノナリ故ニ少クモ一ヶ月一回以上之ヲ容器ヨリ取出シ檢定用具ノ全体及容器ノ内部ヲモ乾燥スルヲ要ス

天秤ハ成ルヘク覆ノ中ニ組立テ乾燥劑ヲ入レ置クヲ良トス猶氣候ノ劇變又ハ連雨ノ後ハ必ス快晴ノ日ヲ撰ビ檢閲シ其酸化ヲ豫防スヘシ若シ多少ノ異狀アルトキハ少シク油ヲ附シタル鞣革ハ以テ輕ク拭ヒ取ルヘシ

掃除用ノ油ハ獸油鯨油若クハ魚油ヲ用ヒ決シテ種油類ヲ使用スヘカラス

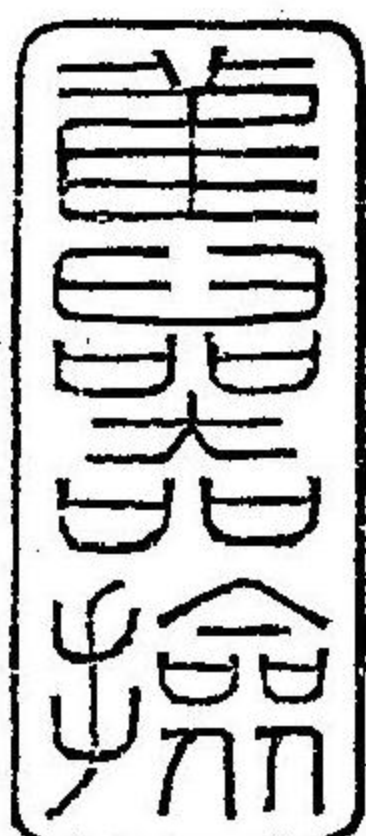
乾燥劑ハ鹽化「カルシユーム」ヲ最モ良シトス但容解シタルトキハ速ニ取換フルコトニ注意スヘシ

硫酸等ヲ使用スルモノアレトモ之ハニ危險ナルニ付使用スヘカラス

スベテ金屬製ノ檢定用具ニ對シテハ直接ニ手ヲ觸レサル様注意シ必ス木綿、絹布、若クハ鞣革類ヲ介シテ支持スヘシ

○度量衡器檢印説明

茲ニ度量衡器ニ附シタル檢印ニ依リ器物ノ新舊器ヲ鑑別シ且度量衡法實施以來ニ於ケル檢印ノ改廢ヲ左ニ述ヘン



樹ニハ外面底 樹、斗概ニハ烙印ヲ用ヒ尺度
及内面ニ捺印 秤ニハ小ナル打込印ヲ用フ



水榭ニハ縁ニ捺印

水榭ニハ水量ノ印ヲ縁ニ捺印ス

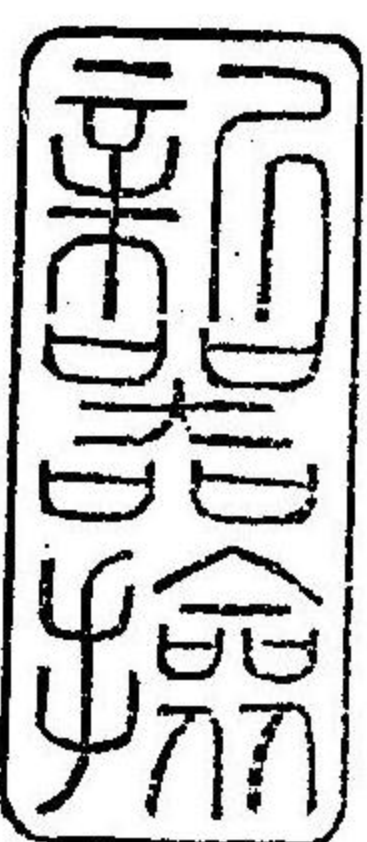
檢

檢ノ印ハ秤ノ錘等ニ用フ



鯨

曲鯨ノ印ハ度量器ニ用フ



外面及底内面ニ捺印

新器合格ノモノニ用フ

廢

廢ノ字印ハ不正ノ器物ニ用フ

以上七種ノ檢印ハ度量衡法實施以前(即チ明治二十五年迄)ニ於テ使用シタル檢印ニシテ右ノ印章アルモノハ總テ舊器ト知ルヘシ
度量衡法實施後(二十六年ヨリ)ハ左ノ印章ヲ用ヒタリ

年號印

府縣廳印

證印



大中小各種打込印烙印アリ

府縣廳印ニハ證書ニ用フル押印アリ又證書ニハ大小ノ二種アリ



消印ハ已ニ附シアル證印ニ應シ之ヲ用フ

大中小各種打込印烙印アリ

(備考)

年號印ノ

府縣廳印ノ

キミヤ等ハ即チ明治二十六ニ宮

城縣ニ於テ檢定シタル例ト知ルヘシ

檢定之證

製作人 廳府縣

某

年號	何年
番號	第何號
物質	何々
形狀	何々
種類	何々
年應府縣	
月	度量衡檢定所印

此檢定證ハ小形ノ度量衡器及硬質ノタメ附印シ難キモノ又ハ附印ニ依リ毀損若クハ差狂ヲ生スル虞アルモノニ用フ

但大小ノ二種アリト雖トモ明治三十七年以後ノ玻璃製量器ハ此ノ限リニアラス

明治三十一年ニ至リ右年號印廳府縣印ヲ廢シ單ニ左ノ印章ヲ用フルコト、ナレリ然レトモ消印及證書ハ從來ノモノヲ用フ



此正印ハ大中小各種打込烙印アリ

明治三十二年特設度量衡檢定所及常置度量衡檢定所ニ於テ檢定ノ上合格シタル度量衡器ニ附シタル印章並ニ明治二十六年以後檢定ヲ受ケタル器物ニシテ明治三十一年十二月三十一日迄各販賣者ノ手元ニアル賣殘品ニ押捺スヘキ印章ヲ左ノ通定メラレタリ



此正字印ハ明治三十二年一月一日ヨリ同年十二月三十一日マテ定期檢定ヲ受ケ合格シタルモノ及常置度量衡檢定所ニ於テ合格シタルモノ

ニ押捺シタルモノニシテ大中小ノ各種打込烙印等アリ



改字印ハ賣殘品ニ押捺シタル印章ニシテ正字印ト同等ノ効力ヲ有スルモノニシテ大中小ノ各種打込烙印等アリ

明治三十二年十二月ニ至リ證印ヲ左ノ通改メ消印及證書ハ從來ノ通ニシテ大中小各種打込烙印アリ



但前段ノ改字印トハ寸法ニ於テ相違アリ



此印ハ明治三十七年一月一日以後製作シタル度量衡器ニ捺印シタル物ニシテ大中小打込證印大小ノ打込消印及大小ノ烙印並ニ大小ノ摺付印アリ但前段ノ正字印トハ寸法ニ於テ相違アリ

備考 右ノ通ナルヲ以テ度量衡器ニシテ如何ナル檢印アリト雖モ正印若クハ改印

ノナキモノハ其効力ヲ失ヒタルモノト知ルヘシ

續テ度量衡器ノ證印アル局部ヲ示サンニ

一 度量器

一直尺、鯨尺、曲リ尺、疊尺及疊鯨尺ハ全長又ハ記號ヲ表記セル部

全長トハ其長サヲ記シタル部即チ一尺或ハ五尺ト記シタルモノ

- 記號トハ製作者ノ記號ニシテ○或ハ㊦等ト記シタル類ナリ
- 二 卷尺及卷鯨尺ハ其一端但函ニ連結シタルモノハ其函
- 三 鍍尺ハ其一端ノ環
- 二 量器
 - 一 秤ハ全量又ハ記號ヲ表記セル部
全量トハ一升、二升、五升ト記シタルモノナリ
但記號トハ前同斷
 - 二 斗概ハ其一端
- 三 衡器
 - 一 鐵分銅ハ他ノ金屬片ヲ箱入セル部其箱入セルモノハ重量ヲ表記セル部
重量トハ其分銅ノ重サ即チ一貫、二百匁、一厘ノ類ヲ記シタルモノヲ云フ
 - 二 天秤ハ桿ノ中央部

- 三 臺秤ハ桿ノ末端
 - 四 錘、増錘ハ他ノ金屬片ヲ箱入セル部
其箱入セサルモノニアリテハ掛量ヲ表記セル部
掛量トハ増錘ニ何貫何厘ト記入シタルモノヲ云フ
 - 五 金屬製ノ桿秤ハ直點ノ傍若クハ桿ノ末端木製ノモノハ其兩端ノ金具其附印シ
難キモノハ木材ノ部
 - 六 皿又ハ鈎アル桿ニシテ桿ニ附印シ難キモノハ其皿又ハ鈎
 - 七 度量衡器ニ附印シ難キモノ又ハ之ト同一ノ記號年號番號ヲ函ニ表記シアルモ
ノハ其箱
- 縣令第五十四號
度量衡臨檢及取締規則左ノ通定ム
明治三十六年十二月二十五日

度量衡臨檢及取締規則

第一條 此規則ニ於テ營業者ト稱スルハ度量衡法ニ依リ免許ヲ受ケタル者ヲ云ヒ使用者ト稱スルハ度量衡器ヲ營業ノ目的ニ使用スル者及賣買受授證明ノタメニ使用スル者ヲ云フ

第二條 度量衡器ノ臨檢ハ度量衡器檢定官吏ヲシテ行ハシム

第三條 前條ノ臨檢ヲ行フ度量衡檢定官吏ハ第一號様式ノ證票ヲ携帯スヘシ

第四條 度量衡器ノ取締ハ度量衡檢定官吏及警察官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第五條 市町村長ハ當該官吏ニ於テ臨檢ヲ行フ場合ハ其執行上ニ付補助スヘシ

第六條 使用者及營業者ハ臨檢官吏ヨリ度量衡器ニ差狂アリト認め停止ヲ命セラレタルトキハ更ニ檢定ヲ受クヘシ

第七條 營業者ハ左ノ各項ノ一ニ該當スル度量衡器ヲ營業ノ場所ニ陳列スヘカラス

一 檢定ヲ受ケサルモノ

二 差狂ノ知レタルモノ

三 構造ニ異狀ヲ生セルコトノ知レタルモノ

四 檢定ノ効力ヲ失ヒタルモノ

五 類似ノモノ

第八條 明治三十六年十二月農商務省令第十號度量衡法施行細則第五十七條ノ届出

ヲナストキハ左ノ事項ヲ具シ届出ツヘシ

一 修覆場ノ位置

二 修覆職工ノ數及技術ニ關スル經歷書

第九條 營業者ニシテ金屬ニアラサル桿秤ノ取締及錘糸ノ修覆ヲナストキハ左ノ各項ニ對シテ差狂ノ有無ヲ檢スヘシ

一 構造

- 二 直點
- 三 盛出
- 四 感量

第十條 明治三十六年十二月農商務省令第十號度量衡法施行細則第五十八條ニ依リ
 届出ヲナストキハ物質秤量及差狂アル箇所並所有者ノ職業住所氏名ヲ詳記スヘシ
 但便宜書類若クハ口頭ヲ以テ警察所轄官署ニ届出ツルコトヲ得

第十一條 營業者ハ其免許狀受領ノ日ヨリ一ヶ月以内ニ開業セス又ハ休業スルトキ
 ハ其旨知事ニ届出ツヘシ

第十二條 取締及錘系ノ修復ヲナス販賣者其修復ヲ廢止若クハ休止スルトキハ速ニ
 知事ニ届出ツヘシ

第十三條 度量衡器營業者ハ製作及修復用ニ供スル材料及販賣スル度量衡器ノ仕入
 先ヲ第二號様式ニ依リ帳簿ヲ備ヒ置キ其謄本ヲ營業開始ノ際知事ニ差出スヘシ但

變更シタル場合亦同シ

第十四條 度量衡製作及修復營業者ハ檢定ノ効力ヲ失ヒタルモノ若クハ使用者ニ於テ
 不用ニ屬シタル度量衡器ヲ其材料トシテ購入スルコトヲ得

第十五條 營業者ハ第二號様式ノ帳簿ヲ備ヒ置キ毎年第三號様式ニ依リ前年四月ヨリ
 其年三月ニ至ル一ケ年間ノ營業報告ヲ四月十五日限リ知事ニ差出スヘシ

第十六條 度量衡器販賣營業者ハ其業ヲ廢止シタル場合ニ於テ殘品アルトキハ知事ノ
 許可ヲ得テ同業者ニ譲リ渡スコトヲ得

第十七條 營業ヲ廢止シタルトキハ免許狀返納ト同時ニ第十五條ノ報告書ニ殘品處分
 調査ヲ添ヒ知事ニ差出スヘシ

第十八條 使用者ハ左ノ各項ノ一ニ該當スル度量衡器ヲ營業ノ場所ニ置キ若クハ營業
 ノ目的ニ使用スヘカラズ

- 一 檢定ヲ受ケサルモノ

- 二 差狂ノ知レタルモノ
 - 三 加工シタルモノ及檢定ノ効力ヲ失ヒタルモノ
 - 四 表記若ハ證印證書ノ汚染磨滅毀損等ニヨリ識別シ難キモノ及證書ノ紛失シタルモノ
 - 五 度量衡器ニ類似ノ器物
 - 六 構造ニ異狀ノ生セルコトノ知レタルモノ
- 第十九條 前條各項ノ一ニ該當スル度量衡器ハ行商ノ際携帯スヘカラス
- 第二十條 使用者質取人及古物商ハ其所有ニ係ル度量衡器ハ度量衡製作及修葺營業者ニ限り譲リ渡スコトヲ得
- 第二十一條 知事ニ差出スヘキ度量衡ニ關スル書類ハ所轄郡市町村長ヲ經由スヘシ
- 第二十二條 營業者ハ第二號様式ノ帳簿ヘ一日毎ニ記載シ月末ニ於テ月計スヘシ
- 第二十三條 第六條第七條第九條第十六條第十八條第十九條第二十條ニ違背シタル

者ハ貳圓以上拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十四條 第十條第十一條乃至第十三條第十五條第十七條第二十二條ニ違背シタル者ハ科料ニ處ス

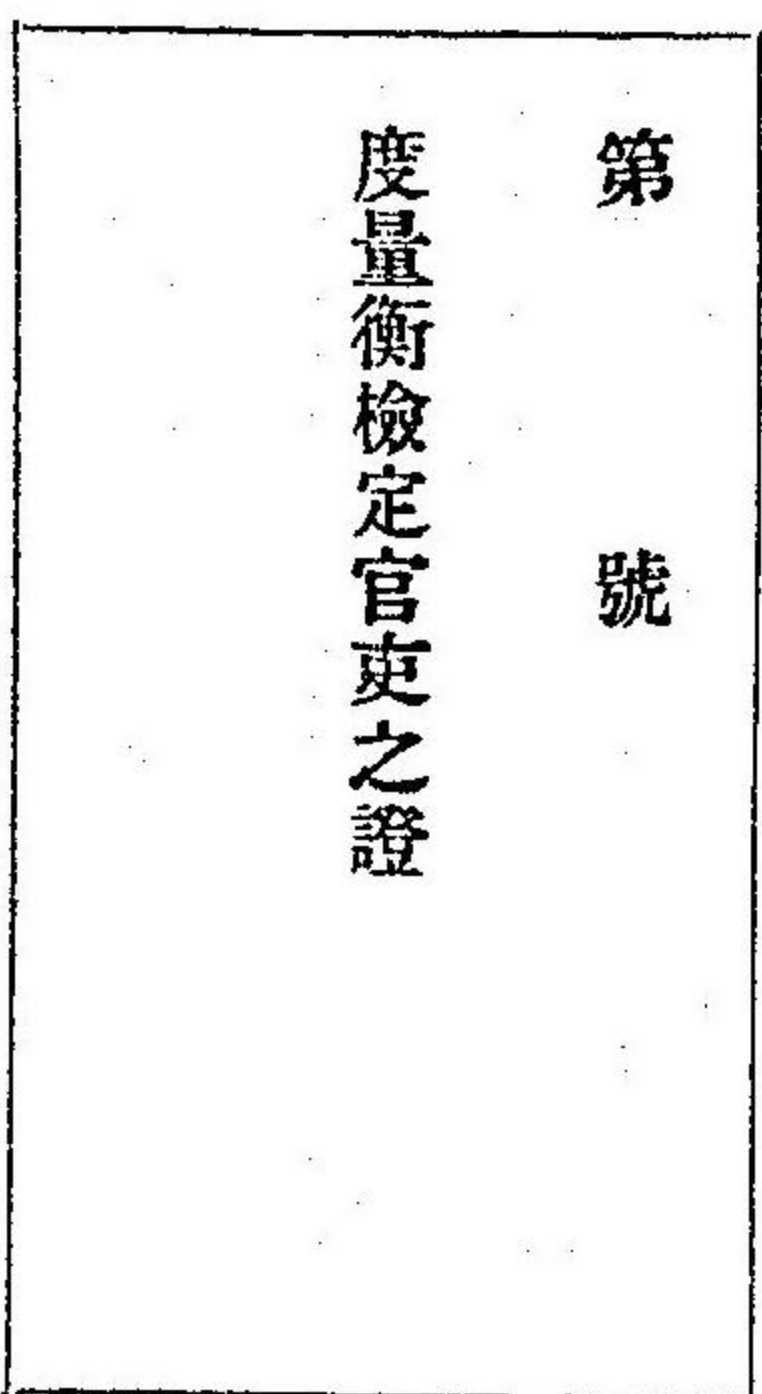
附 則

第二十五條 此規則ハ明治三十七年壹月壹日ヨリ之ヲ施行ス
明治三十一年縣令第三十六號度量衡器取締規則ハ之ヲ廢止ス

第一號様式

縱 三 寸

表 面



第 號
度量衡檢定官吏之證

寸 二 横

裏面						
割印						
宮城縣						
第二號様式ノ一 (大判美濃紙)						
明治何年度度(量) (衡) 器製作修覆用材料仕入簿						
計	年月日	物	質	數量	仕入價格	仕入先住所氏名

第二號様式ノ二

(大判美濃紙)

明治何年度度量衡器仕入簿

前年度	超年度	年月日	形狀	物質	種類	個數	仕入價格	現在高	仕入先住所氏名

第二號様式ノ三

(大判美濃紙)

明治何年度度量衡器製作簿

年月日	形狀	物質	種類	個數	檢定	成績	檢定料	備考
					合格	不合格		

第二號様式ノ四 明治何年度度量衡器修覆簿 (大判美濃紙)									
年月日	物質種類	個數	取繕	修覆料	錘	修覆料	有差	無	所有者姓名
年月日	形狀	物質種類	個數	合格	檢定成績	不合格	檢定料	所有者姓名	
月計									

第二號様式ノ六 明治何年度度量(量)衡器卸賣簿 (大判美濃紙)									
年月日	形狀	物質種類	個數	價格	卸賣先	住所	氏名		
年月日	形狀	物質種類	個數	價格	卸賣先	住所	氏名		
月計									

同	圓 形 形	鐵 金 葉 屬	升 升	形 物 種 質 別	製 個 數	見 價 格	修 個 數	修 覆 料	卸 個 數	代 價	計	曲	卷	疊	鯨	鏈	卷
												リ	鯨	鯨	尺	尺	尺
			[リットル]	[リットル]							[メートル]	[メートル]			[メートル]	[メートル]	

直	種 別	製 個 數	見 價 格	修 個 數	修 覆 料	卸 個 數	代 價	月 計	年 月 日	形 狀	物 質	種 類	本 縣 製	他 府 縣 製	買 受 人 住 所 氏 名
									尺	尺	尺	尺	尺	尺	尺
疊															

明治何年度度(量)器販賣簿
第三號様式ノ一 (大判美濃紙)
明治何年度度量衡器製作修覆及卸賣報告
参照凡テ此表ニ於テ種類トハ表記及ビ秤量ヲ云フ

種別	分銅	天秤	臺秤	木製桿秤	斗					
					圓錐形及圓錐形	圓錐形	方形	計		
個	價	個	價	個	價	個	價	個	價	
	[キログラム]	[キログラム]	[キログラム]	[キログラム]	[升]	[リットル]	[リットル]	[リットル]	[リットル]	

明治何年度取繕及錘糸修覆報告				第三號様式ノ二			
物質	種類	個數	修覆料	第三號様式ノ二			
			差狂アソト認メ届出タル個數	計	骨製桿秤	貫	貫
					[キログラム]	[キログラム]	[キログラム]

右之通相違無之候也

年月日

知事宛

職業氏名

住所

名

印

月計

右之通相違無之候也

年月日

知事宛

第三號様式ノ三

(大判美濃紙)

明治何年度度量衡器仕入高報告

度量器

種別	本縣製		他府縣製		計
	前年度	仕入高	前年度	仕入高	
疊尺					
直尺					
卷尺					
鍵尺					
鯨尺					
疊尺					
計					
殘高					

住所
職業氏名

計	本縣製		他府縣製		計
	前年度	仕入高	前年度	仕入高	
卷尺					
鍵尺					
鯨尺					
疊尺					
卷尺					
曲尺					
計					
殘高					

同	圓形	形狀	物質	種類	本縣製		他府縣製		計
					前年度	仕入高	前年度	仕入高	
鐵葉	升	升	升	升					
鐵葉	リットル	リットル	リットル	リットル					
計									
殘高									

種別	圓錐形及圓形		圓錐形		圓形		斗		計	
	玻璃	升	升	升	升	升	升	升	升	升
分銅										
天秤										
臺秤										
木製桿秤										
本縣製	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	計	殘高
他府縣製	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	計	殘高

右之通相違無之候也

年月日

知事宛

第三號様式ノ四

(大判美濃紙)

明治何年度度量衡器販賣高報告

度器

種別	本縣製	他府縣製	計
直尺	個數	個數	個數
	代價	代價	代價

住 所

職 業

氏 名

印

種別	分銅			天秤	臺秤	斗概	計	方形木材	圓錐形及圓錐形玻璃	圓錐形及圓錐形玻璃	同鐵葉
	貫	貫	貫								
別	「キログラム」	「キログラム」	「キログラム」				「リットル」	「リットル」	「リットル」	「リットル」	「リットル」
本縣製	個數	代價	製								
他府縣製	個數	代價	製								
計	個數	代價	計								

形狀物質	計	曲尺	卷尺	疊尺	鯨尺	鏈尺	卷尺	疊尺	圓錐形金屬
別	「メートル」	「メートル」				「メートル」	「メートル」	「メートル」	「リットル」
本縣製	個數	代價	製						
他府縣製	個數	代價	製						
計	個數	代價	計						

計	木製桿秤		金屬製桿秤		骨製桿秤	
	貫	「キログラム」	貫	「キログラム」	貫	「キログラム」

右之通相違無之候也

年月日

知事宛

○訓令第八號

住所

職業氏名

内務部
警察部
市役所

町村役場

度量衡臨檢及取締規則施行手續左ノ通定ム

但明治三十二年二月訓令第二號度量衡取締規則施行手續ハ之ヲ廢止ス

明治三十七年一月二十九日

宮城縣知事 田邊輝實

度量衡臨檢及取締規則施行手續

第一條 警察官吏ハ毎年一回以上隨時度量衡器使用若クハ營業其他買賣授受證明ヲ

ナス場所ニ出張シテ取締ヲナスヘシ

第二條 度量衡檢定官吏及警察官吏ニ於テ度量衡器ノ取締ヲナストキハ左ノ各項ニ

注意スヘシ

一 檢定ヲ受ケサルモノ

二 狂差アルモノ

- 三 加工シタルモノ
 - 四 効力ヲ失ヒタルモノ
 - 五 構造ニ異狀ヲ生シタルモノ
 - 六 表記若クハ證印證書ノ汚染磨滅毀損等ニ依リ識別シ難キモノ及證書ノ紛失シタルモノ
 - 七 記號及製作修覆輸入販賣ノ符號
 - 八 紙糊籠樹疊樹ト稱スルモノ其他類似ノ器物
 - 九 使用停止セラレタル器物ヲ營業ノ場所ニ置クヤ否ヤ
 - 十 度量衡器製作者修覆者販賣ノ帳簿ノ整否
- 第三條 度量衡檢定官吏ニ於テ度量衡臨檢及取締規則第二條ノ臨檢ヲナシタルトキハ第一號様式ニ依リ一市町村毎ニ知事ニ報告スヘシ
- 第四條 度量衡檢定官吏及警察官吏ニ於テ度量衡臨檢及取締規則第四條ノ取締ヲナ

- シタルトキハ第一號及第三號ノ様式ニ依リ一市町村別トナシ終了後十五日以内ニ知事ニ報告スヘシ但第二條第十項ノ取締ヲナシタルトキハ其帳簿ニ認印スヘシ
- 第五條 度量衡檢定官吏及警察官吏ニ於テ不正ト認メタル度量衡器アルトキハ使用停止ヲ命スヘシ但此場合ニ於テハ本人ノ請書ヲ徵シ期間ヲ定メテ更ニ檢定ヲ受ケシムヘシ
- 第六條 警察官吏ニ於テ差狂其ノ他不正ノ疑アル度量衡器アルトキハ之ヲ臨檢官吏若クハ檢定所ニ鑑定ヲ請求スヘシ但取締上至急ヲ要スル場合ハ知事ニ具申シ檢定官吏ノ出張ヲ申請スヘシ
- 第七條 警察官署ニ於テ度量衡臨檢及取締規則第十條ノ届出ヲ受ケタルトキハ其器物ニシテ修覆ノ見込アルモノハ同則第五條ノ手續ヲナスヘシ但シ修覆ノ見込ナキモノハ使用セサル様注意ヲ與ヘ所有者ヲシテ之ヲ處理セシムヘシ
- 第八條 度量衡檢定官吏及警察官吏ニ於テ犯則者ヲ告發シタルトキハ左ノ事項ヲ具

計	量					器					
	斗	樹				計	鍍	卷	疊	曲	鯨
		材	木	玻	金						
概	方	圓	璃	屬	尺	尺	尺	尺	尺		

直	器		計
	合	個	
尺	何	何	何
尺	何	何	何
尺	何	何	何
尺	何	何	何
尺	何	何	何

第一號樣式

自明治何年何月何日
至明治何年何月何日
何郡市町村度量衡器臨檢成績表

第九條 天秤、臺秤、臺桿秤使用者ニ對シテハ常ニ秤臺及水準器ヲ備ヒ置キ使用セシムル様注意スヘシ

第十條 市町村長ハ度量衡檢定官吏臨檢ノ場合ニ於テ請求アルトキハ諸般ノ事務ヲ補助スヘシ

シ其旨知事ニ具申スヘシ但警察官吏ノ告發ニ係ルモノハ警察署長又ハ分署長ヨリ警部長ヲ經由スヘシ

一 犯則者住所職業氏名

二 犯則ノ事實

百四十

備考	器 衡			
	計	分	桿	臺
本欄ニハ不合格トナリタル重ナルモノニ付其特徴ヲ記スベシ	銅	秤	秤	秤

右度量衡器臨檢ノ成績及報告候也

年 月 日

知 事 宛

官 氏 名 印

第二號様式

明治何年何月何郡市町村度量衡器使用者取締ノ際調査個數一覽表

處分ノ區別	正當ナルモノ 注意ヲ與ヘタル モノ	告發シタルモノ	其他 何々	合 計	器 物			
					度	器	量	物

取締ノ際調査シタル戸數何戸内告發セシモノ何名

右及報告候也

年 月 日

知 事 宛

官 氏 名 印

第三號様式

明治何年何月何郡市町村度量衡器使用者中正個數一覽表

月日	地方名及記號番號	形狀	物質	種類	不正個數	備考	職業氏名

備考ニハ其理由及處分方等ヲ記入スヘシ
右及報告候也

年 月 日

知 事 宛

官 氏 名 印

度量衡器使用注意要項

一度器

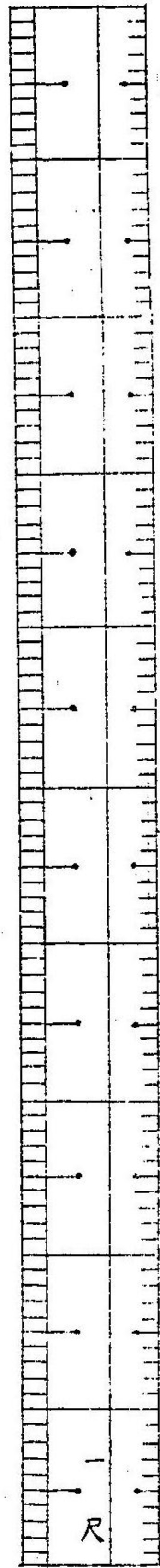
一 兩端磨滅シ、或ハ割レヲ生シ若クハ曲リタル物ヲ使用スヘカラス

附録第二號

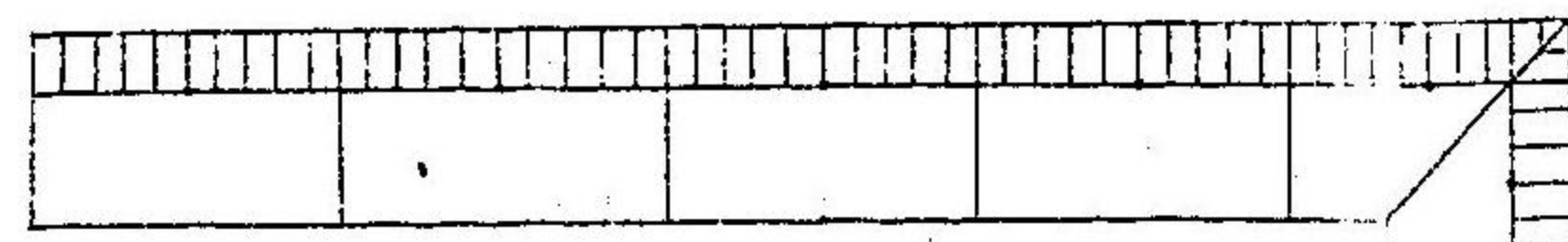
○ 度量衡器形狀

度量衡器形狀ハ種々ナレトモ参考ノ為メ左ニ其ニテ掲ク

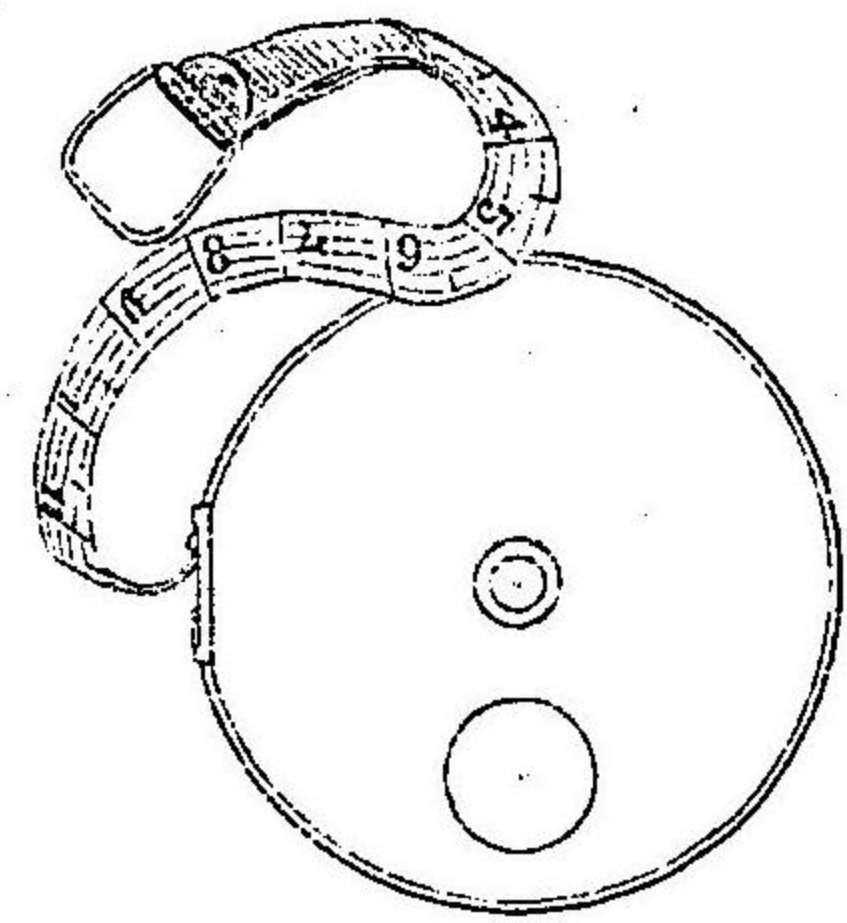
直尺



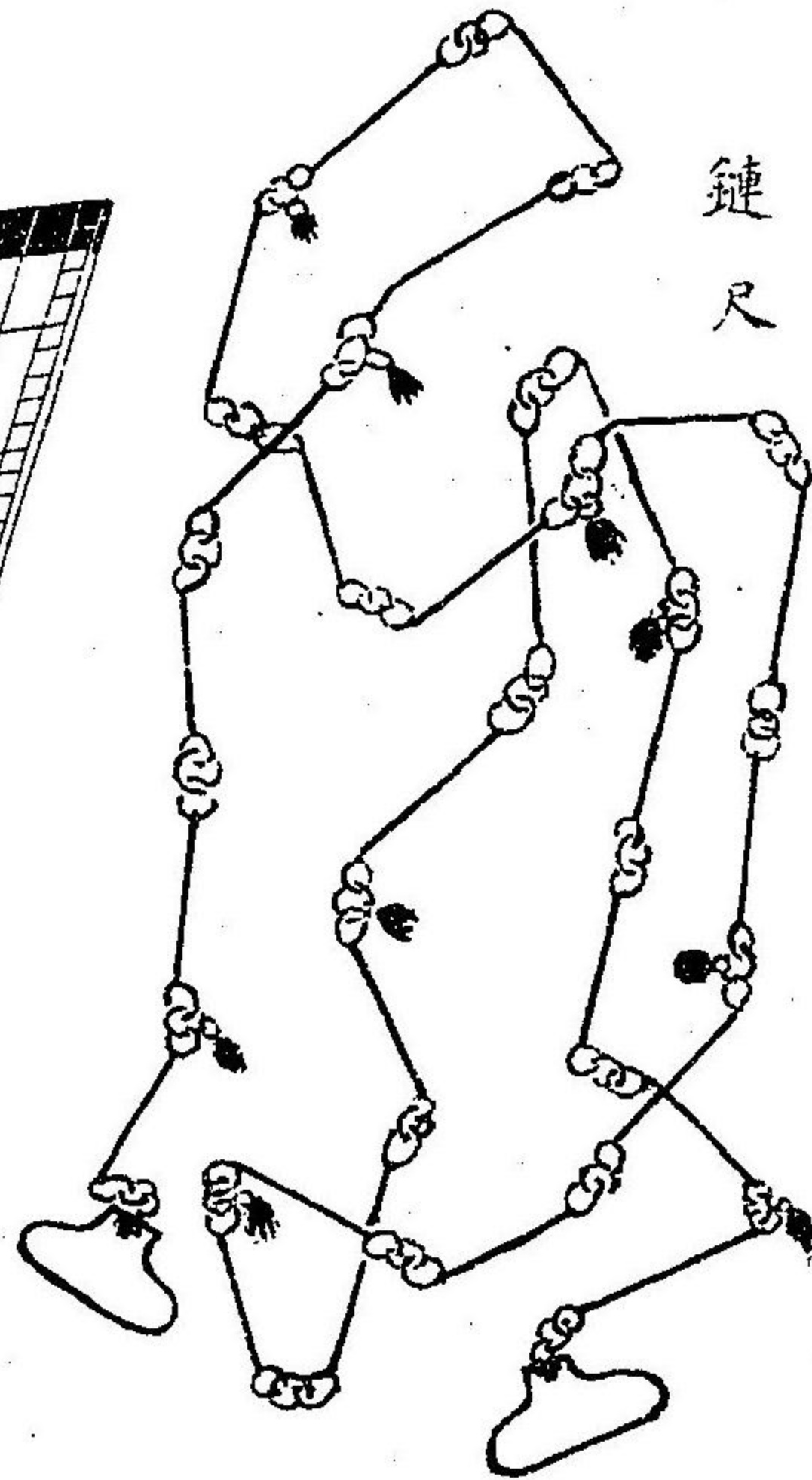
曲尺



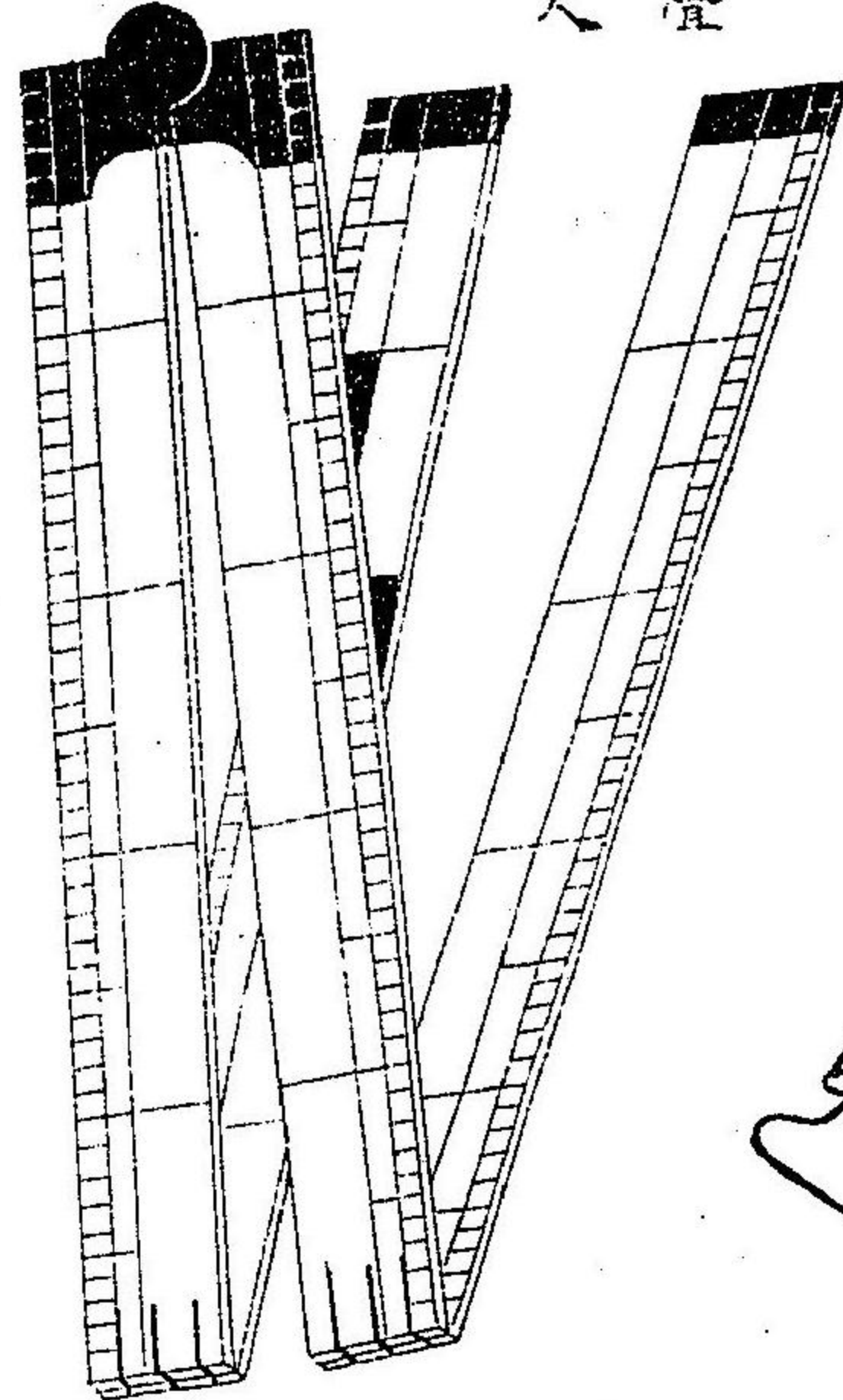
卷尺



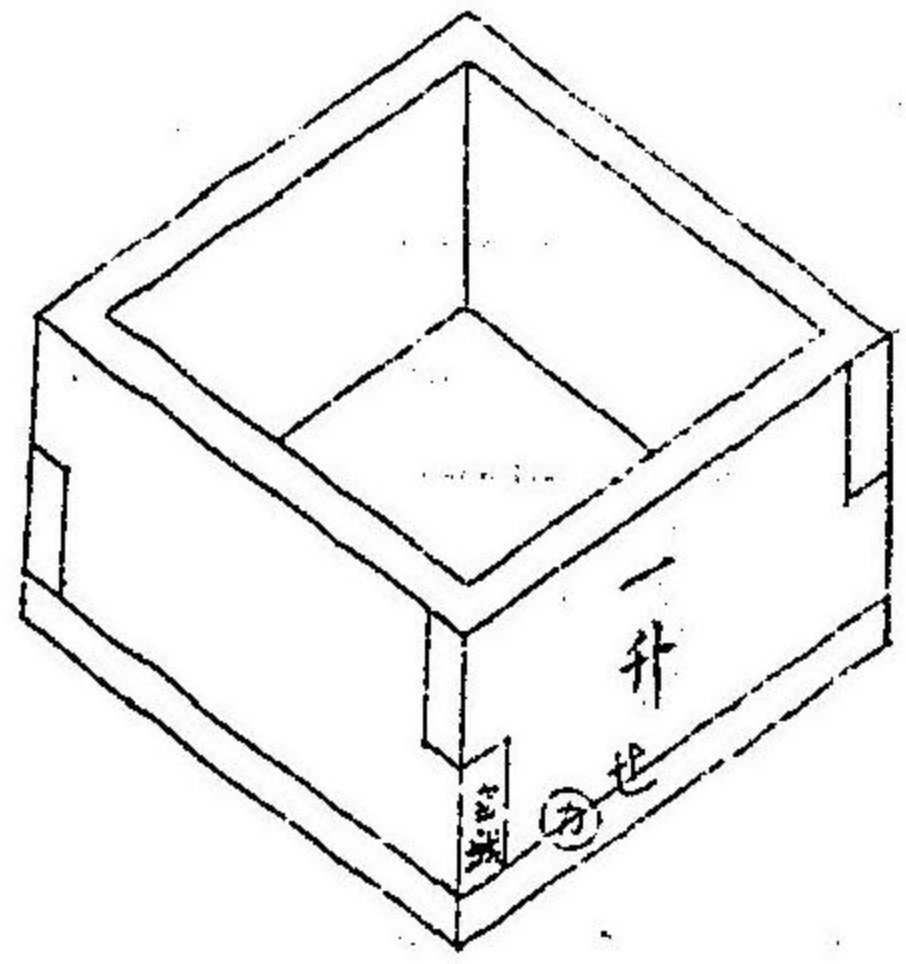
鏈尺



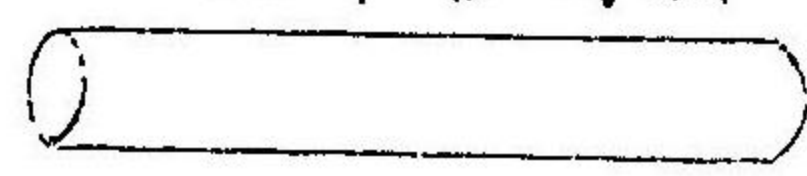
尺疊



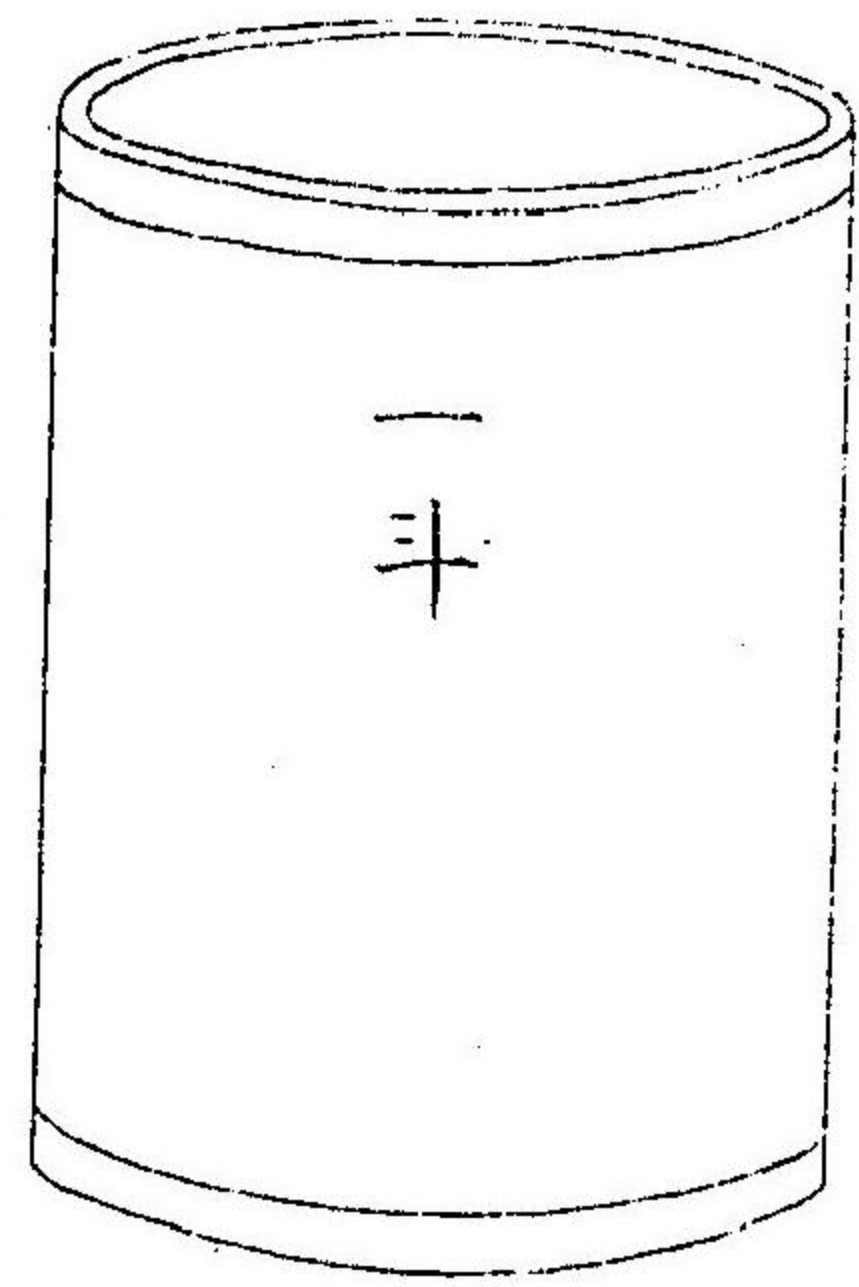
方形枱



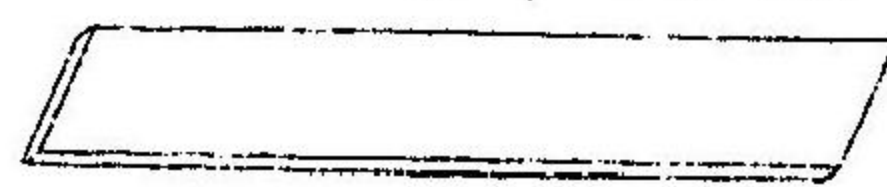
圓斗形枱



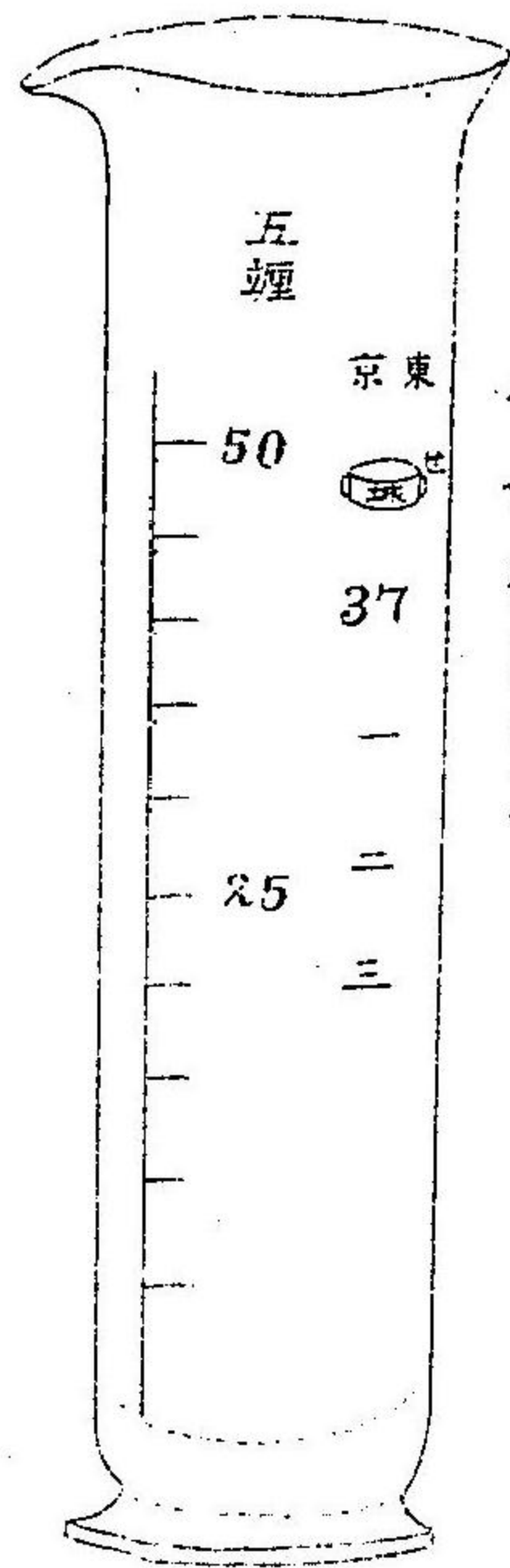
圓枱形掛 (木製)



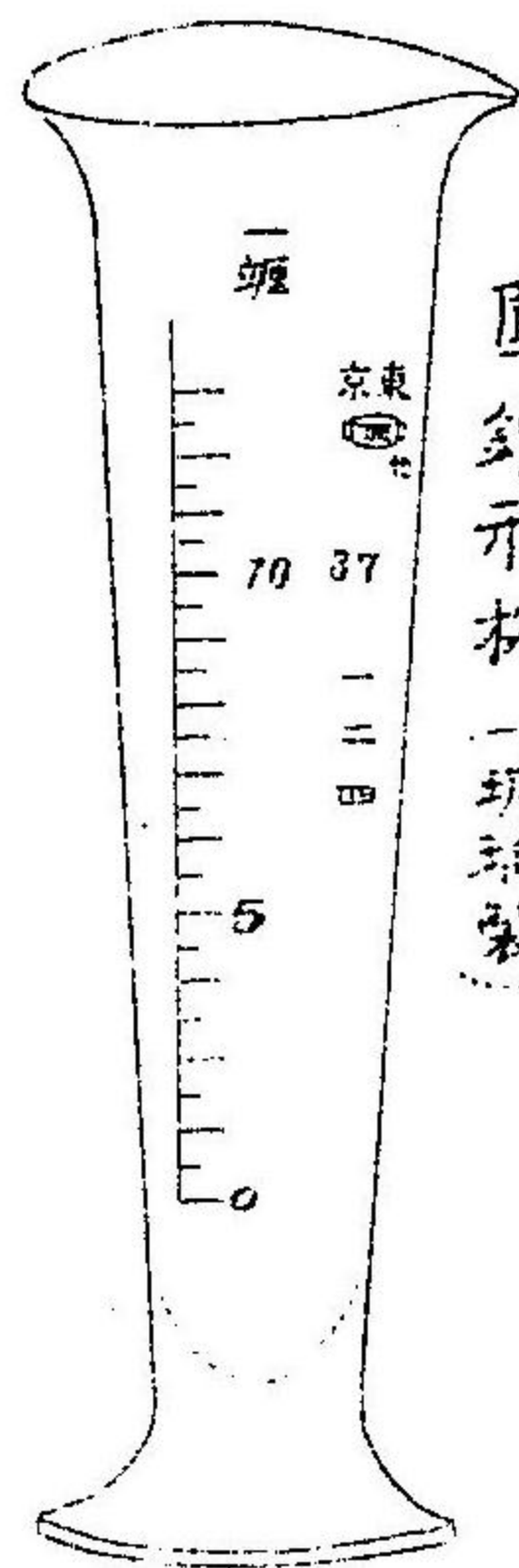
概斗状板



圓枱形掛 (玻璃製)



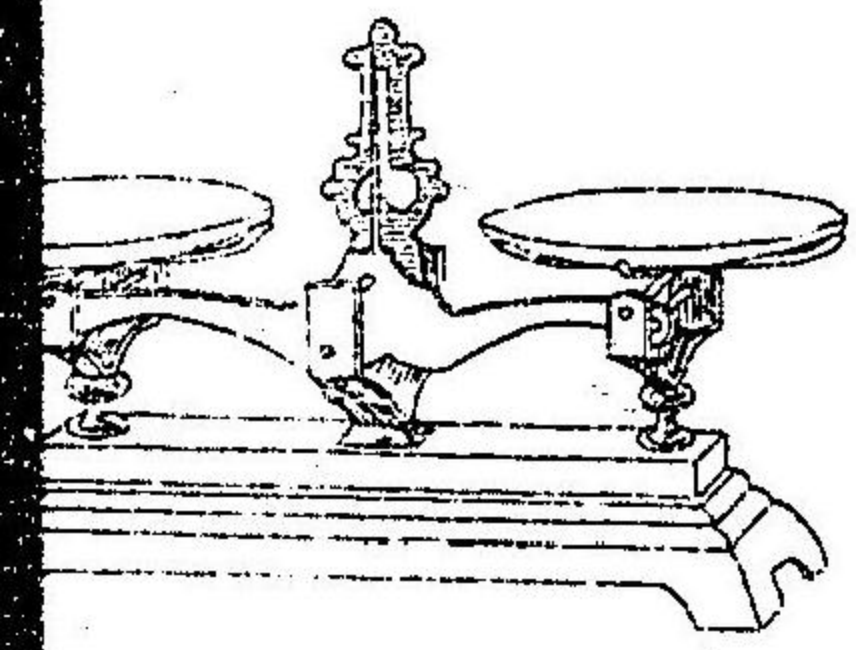
圓錐形掛 (玻璃製)



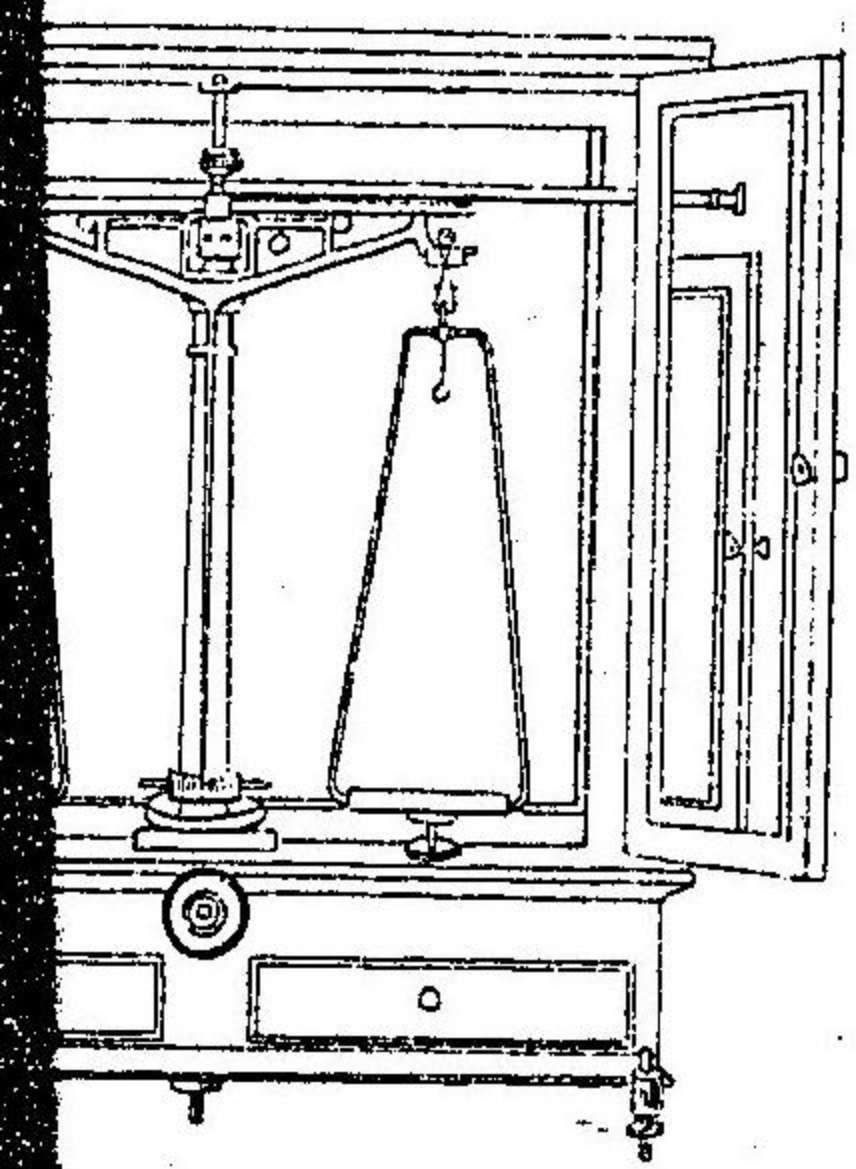
鐵葉掛



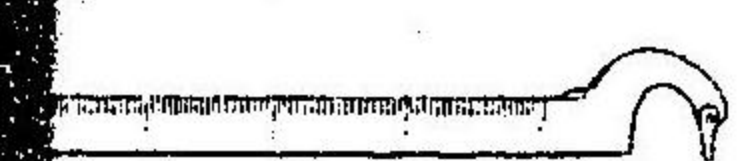
秤天皿上



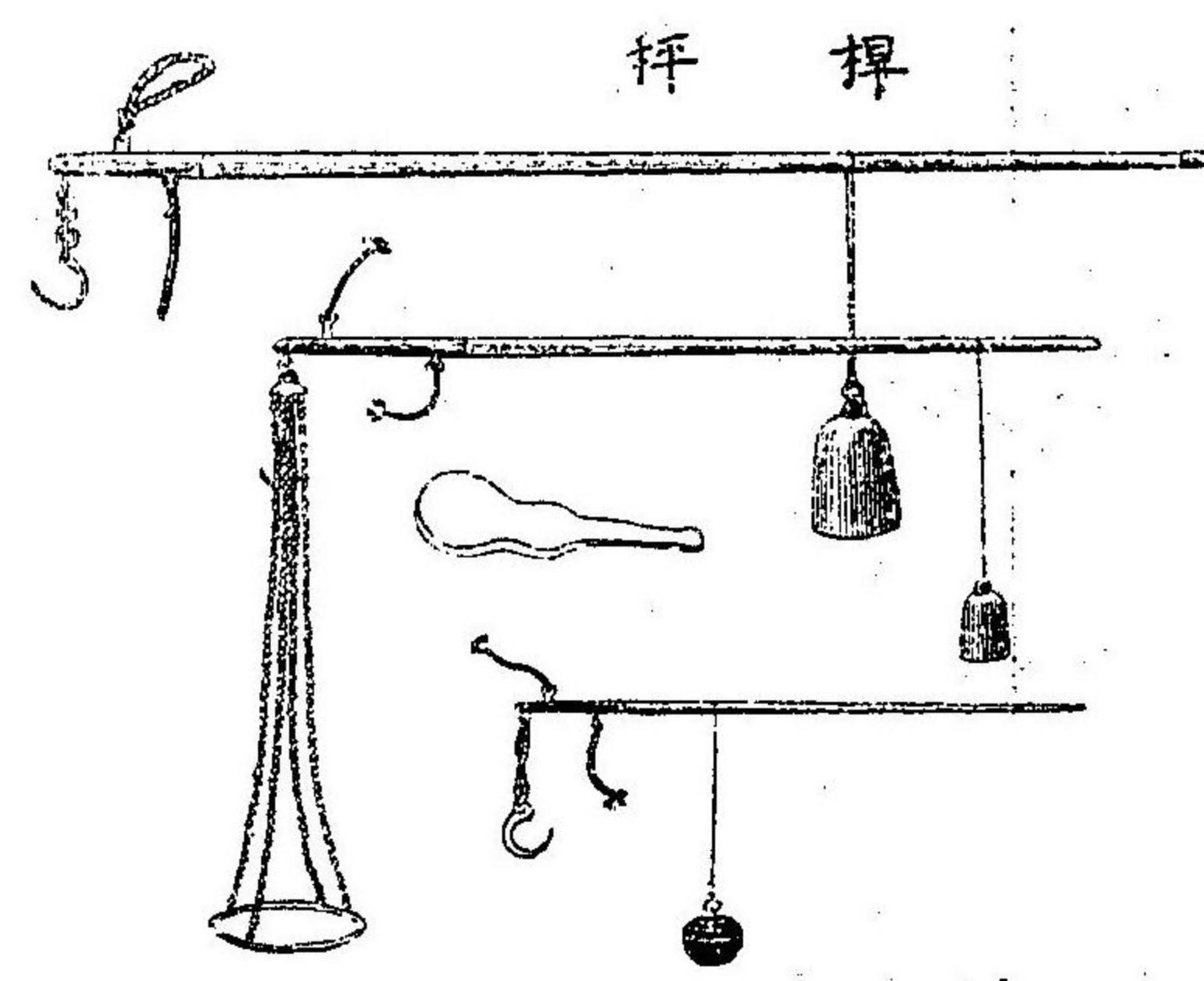
秤天



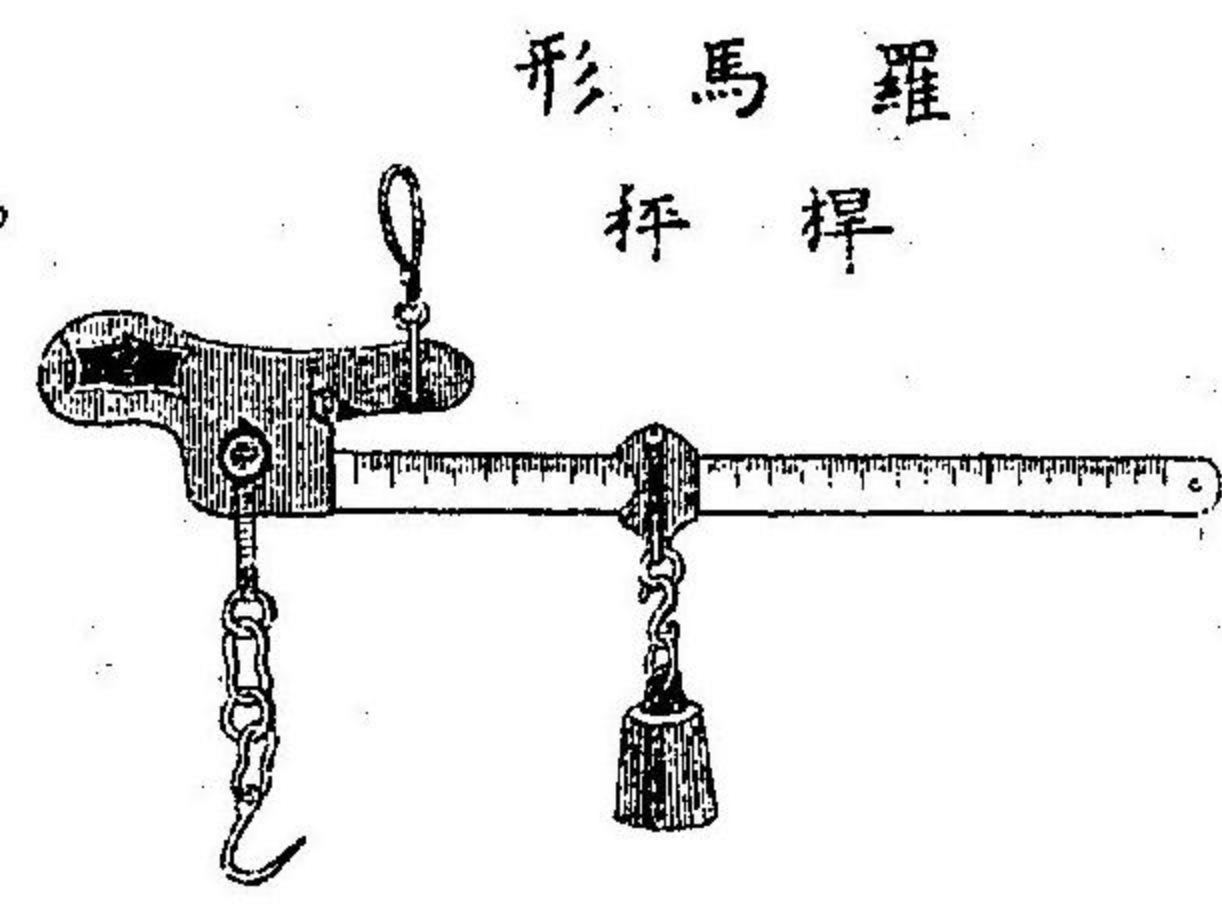
秤桿皿上



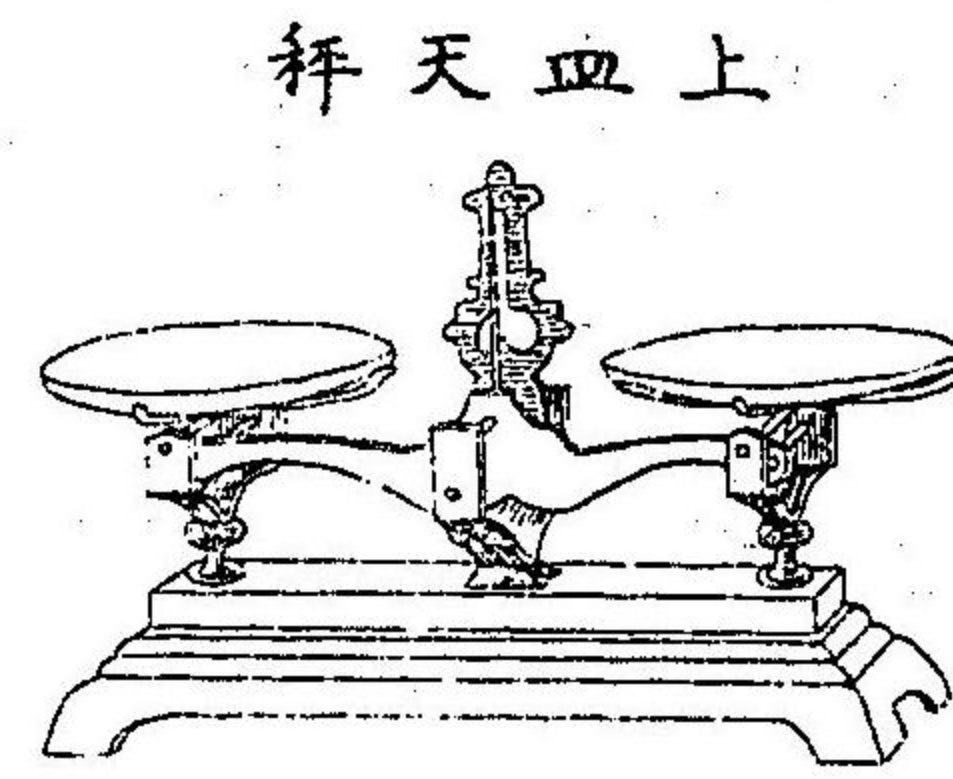
二合五勺



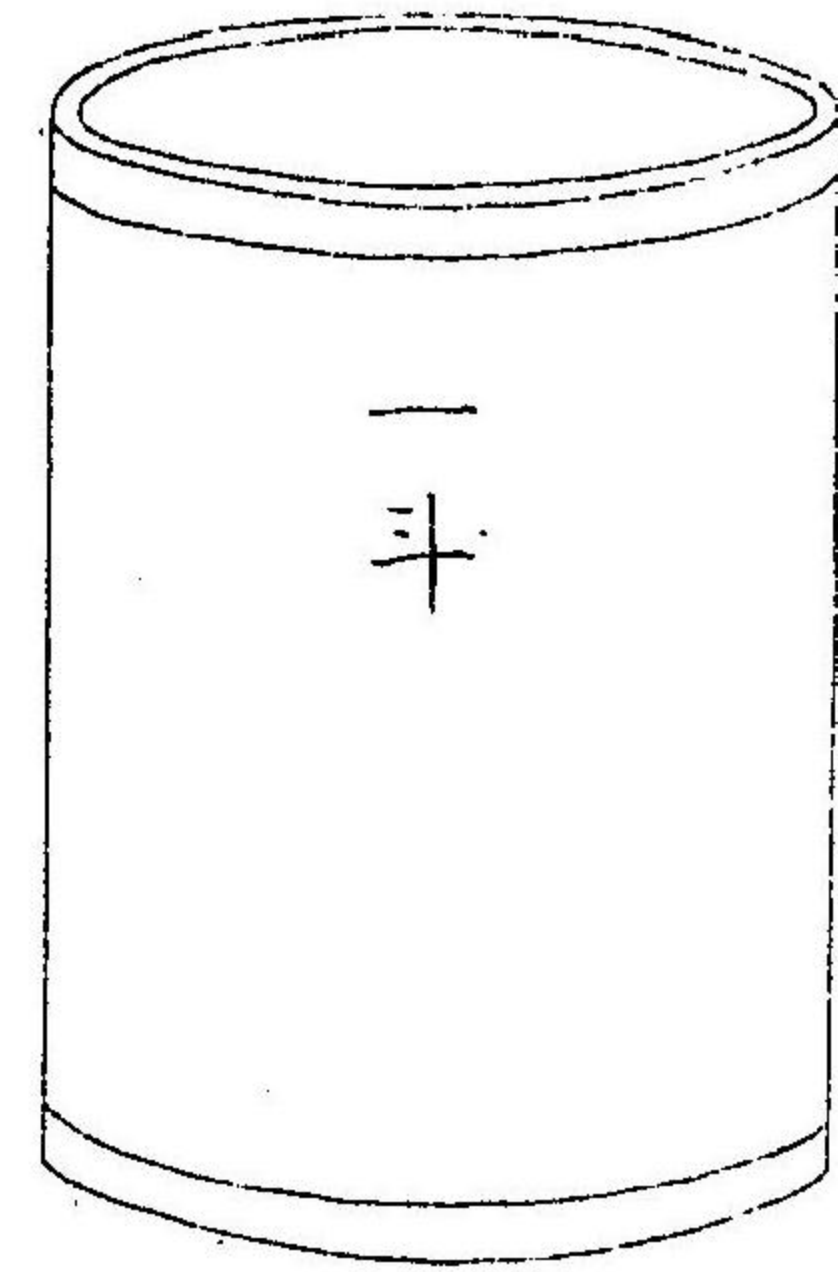
秤桿



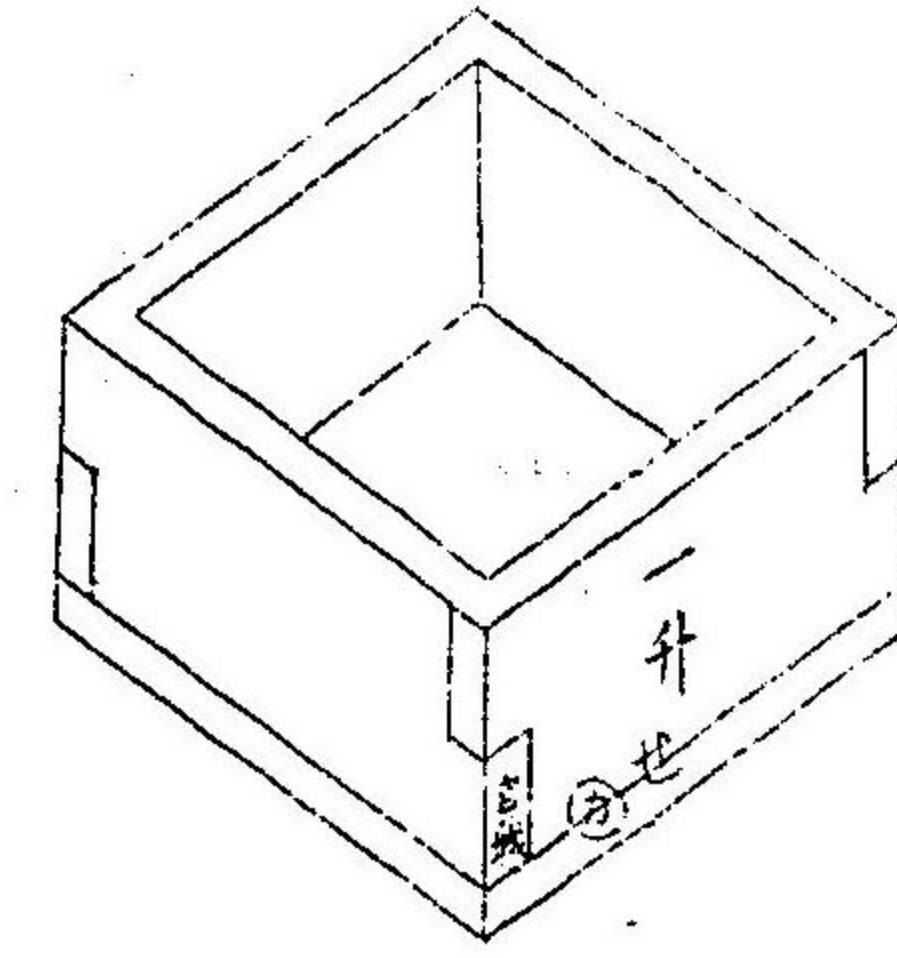
形馬羅
秤桿



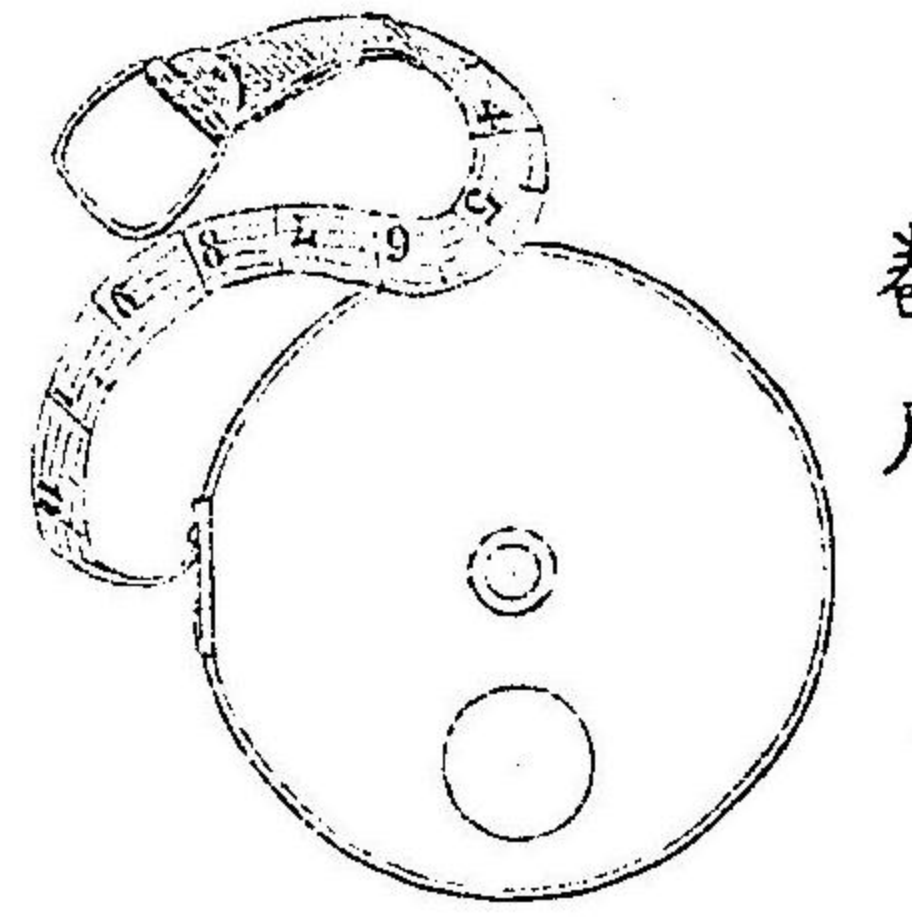
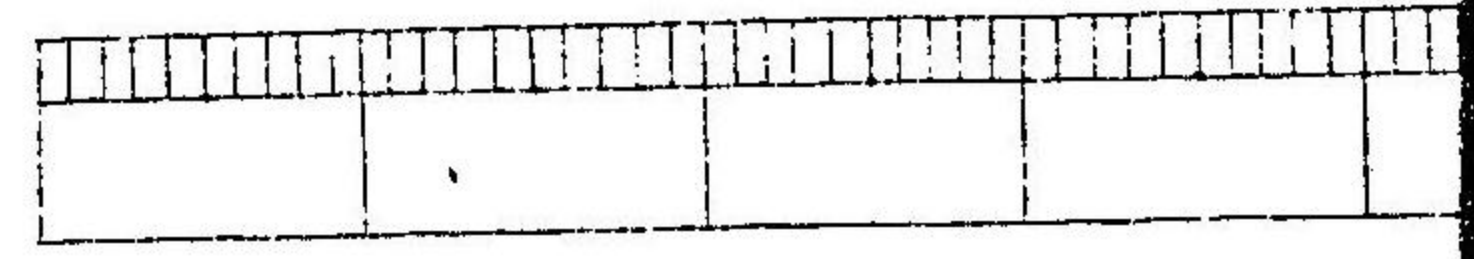
秤天皿上



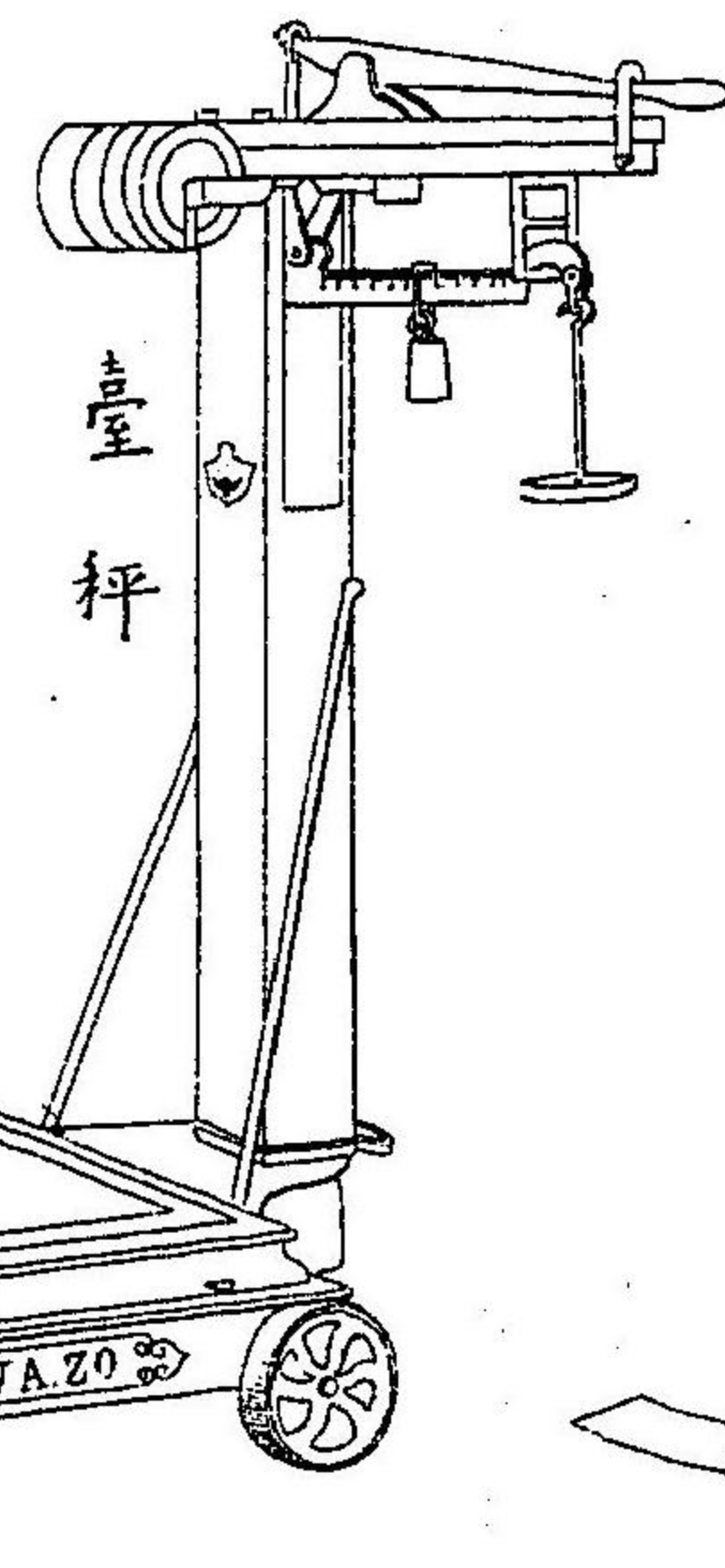
圓樽形掛(木製)



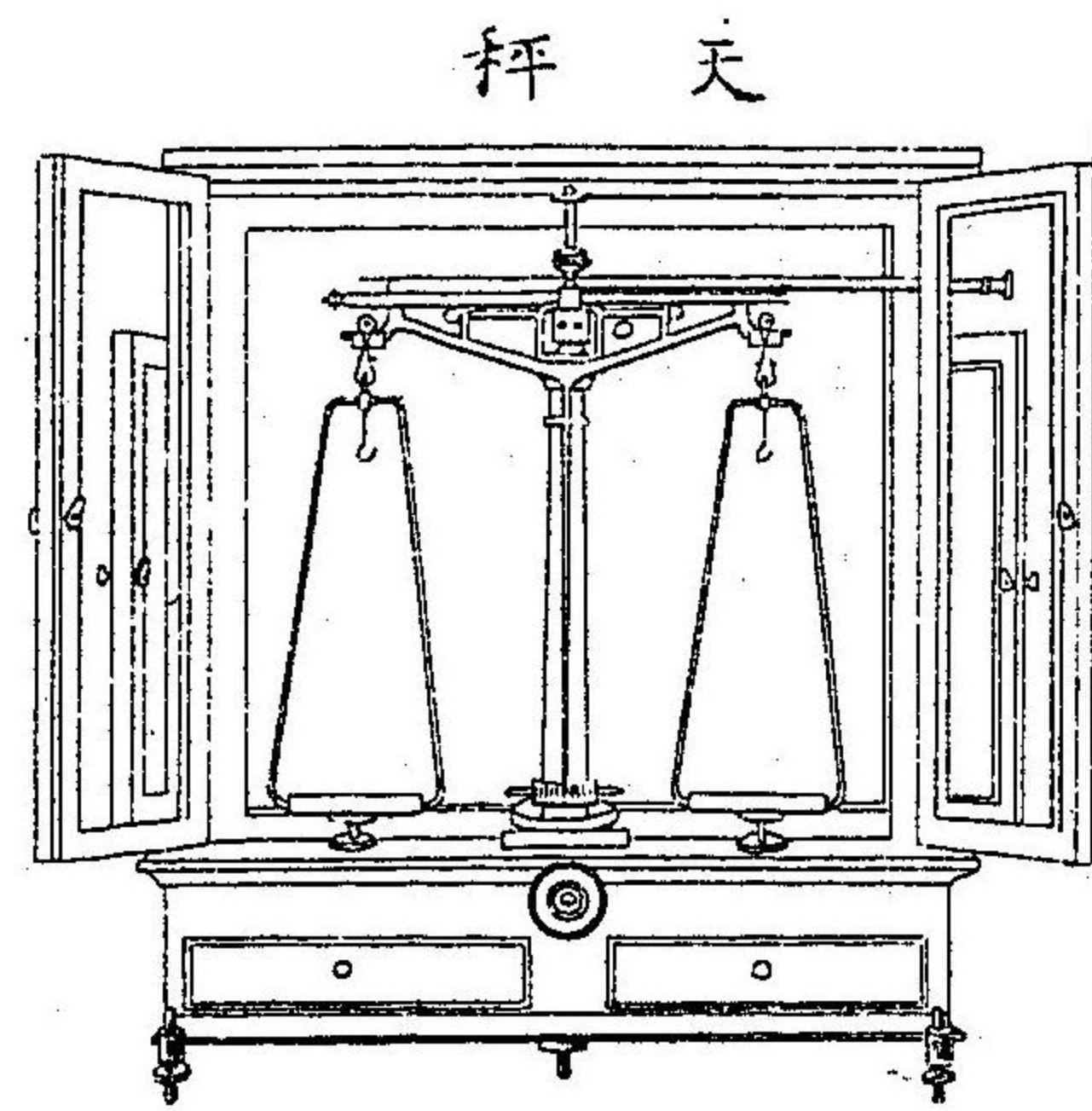
方形掛



卷尺



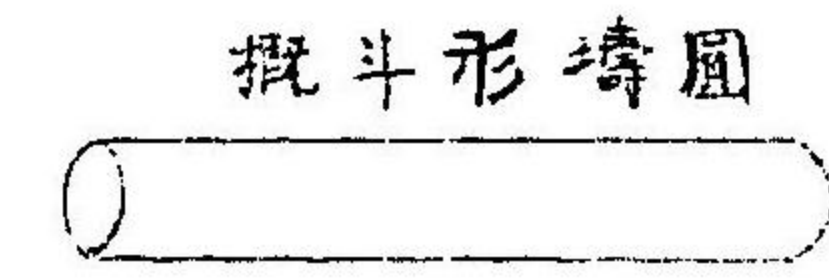
臺秤



秤天



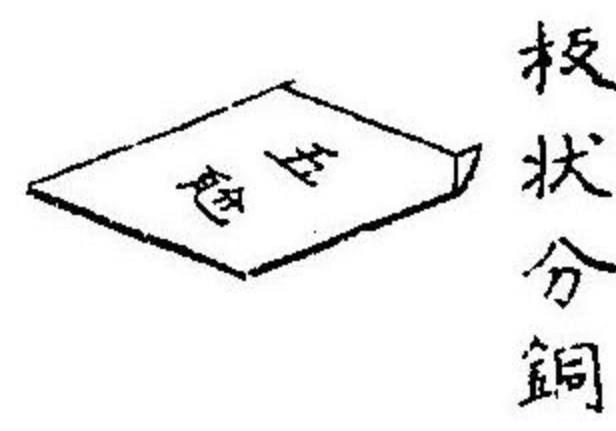
概斗狀板



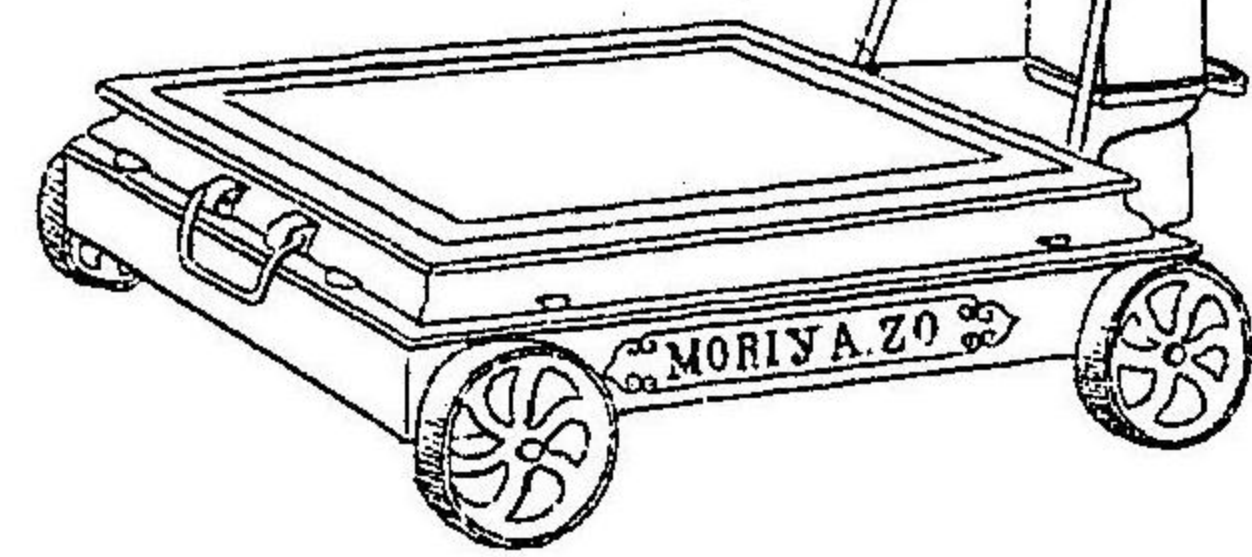
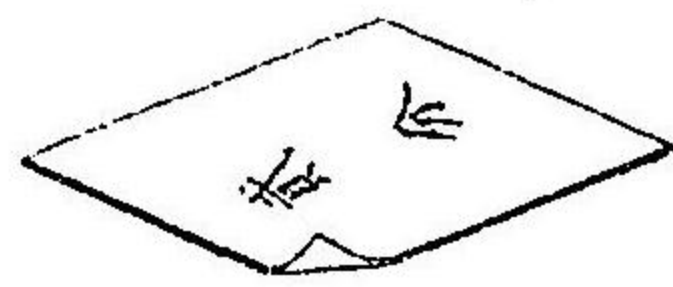
概斗形樽圓



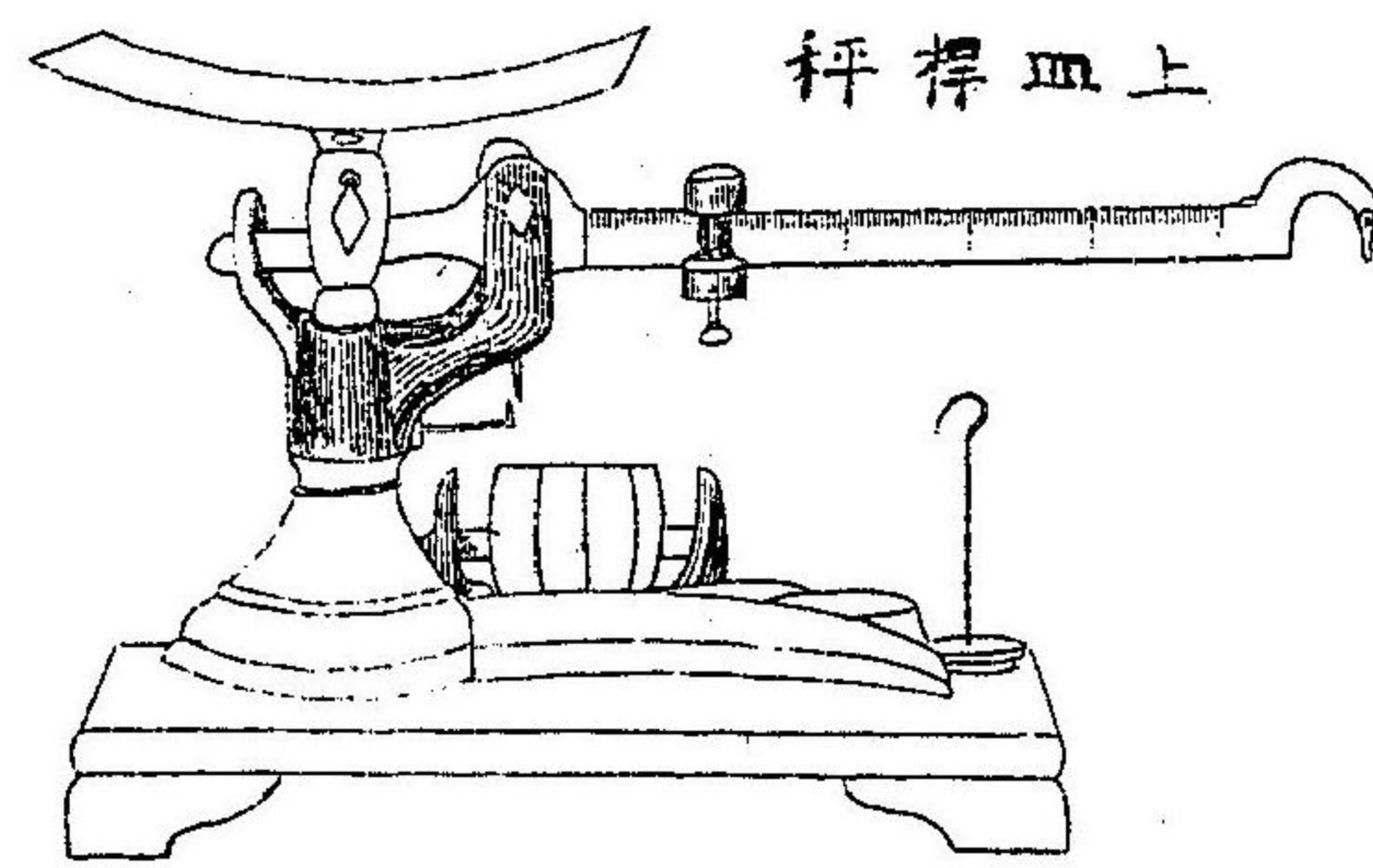
增鐘



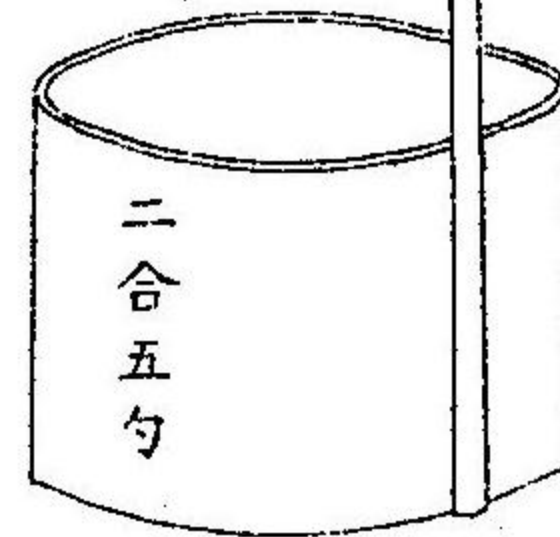
板狀分銅



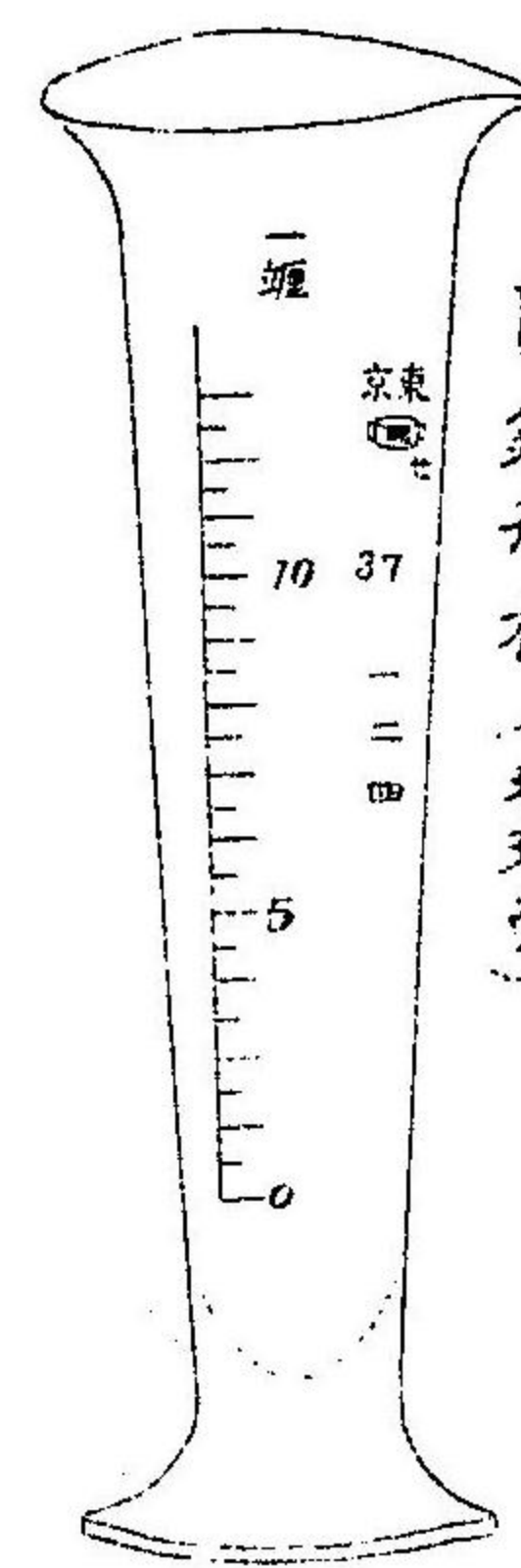
圓樽形分銅



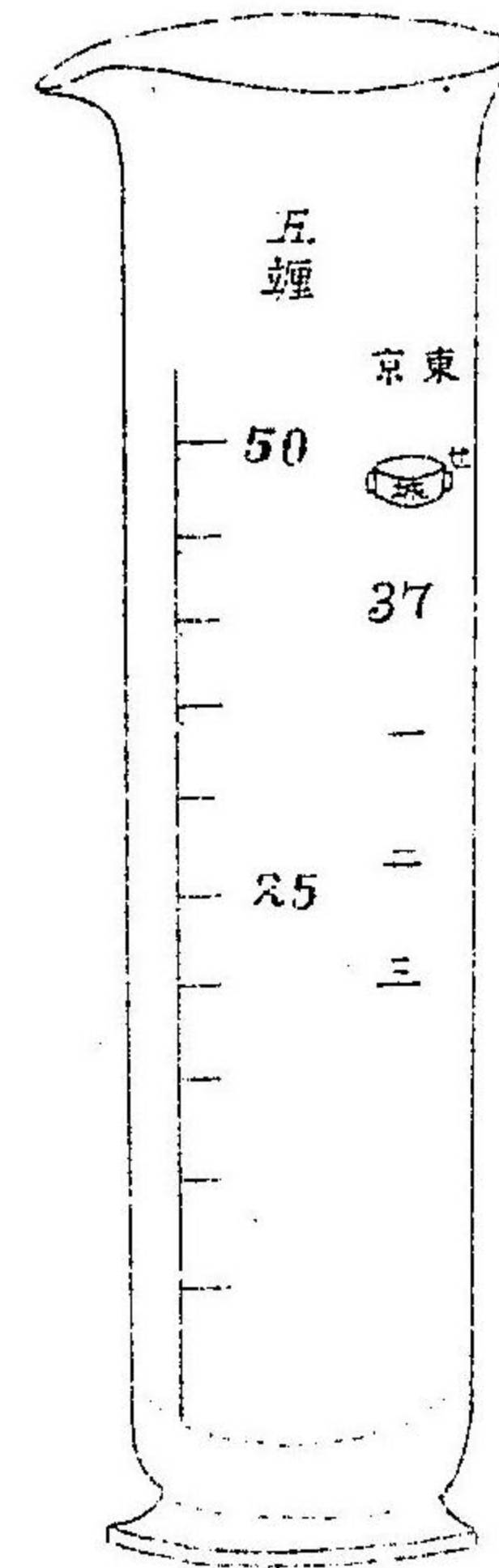
秤桿皿上



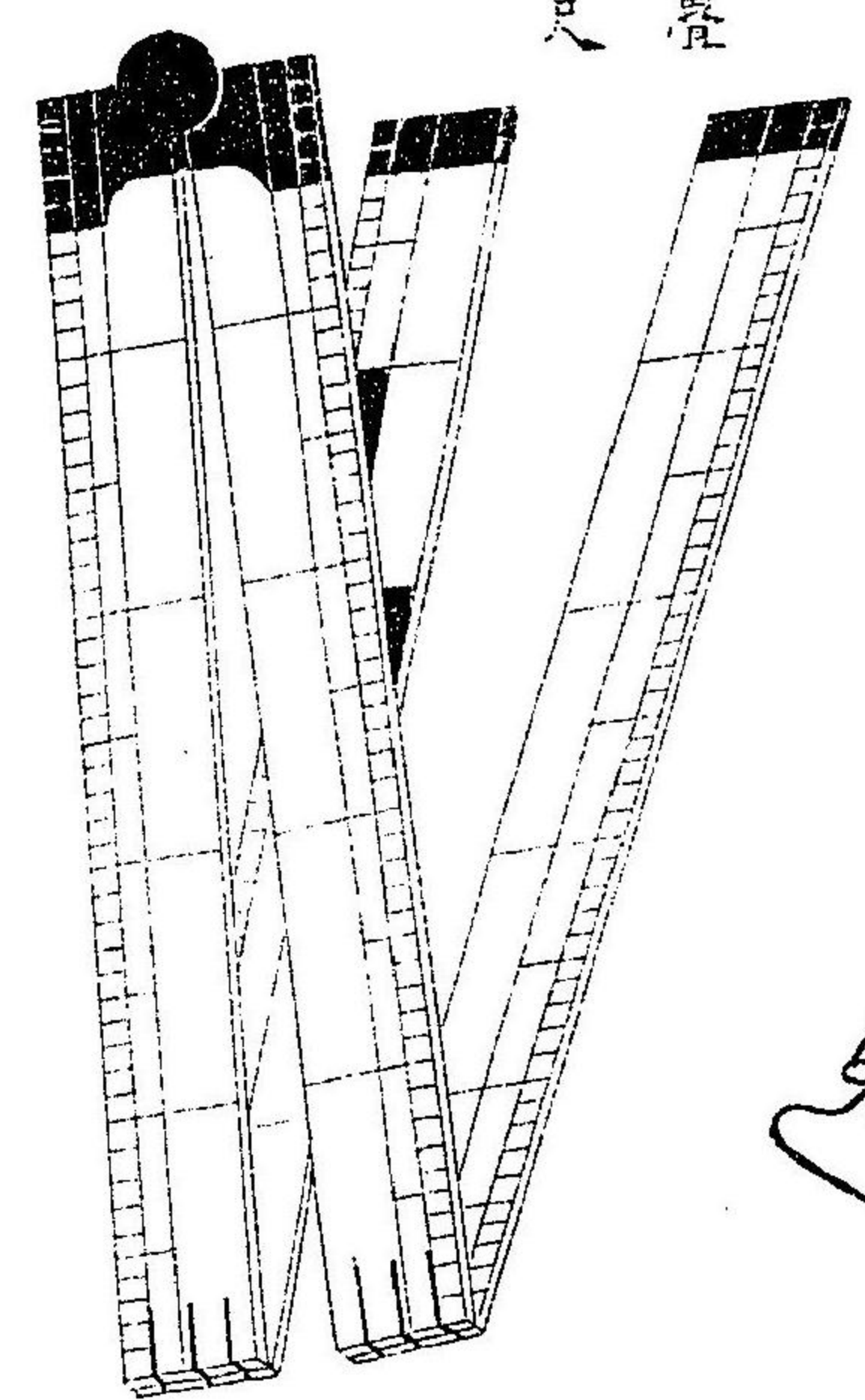
鐵葉料



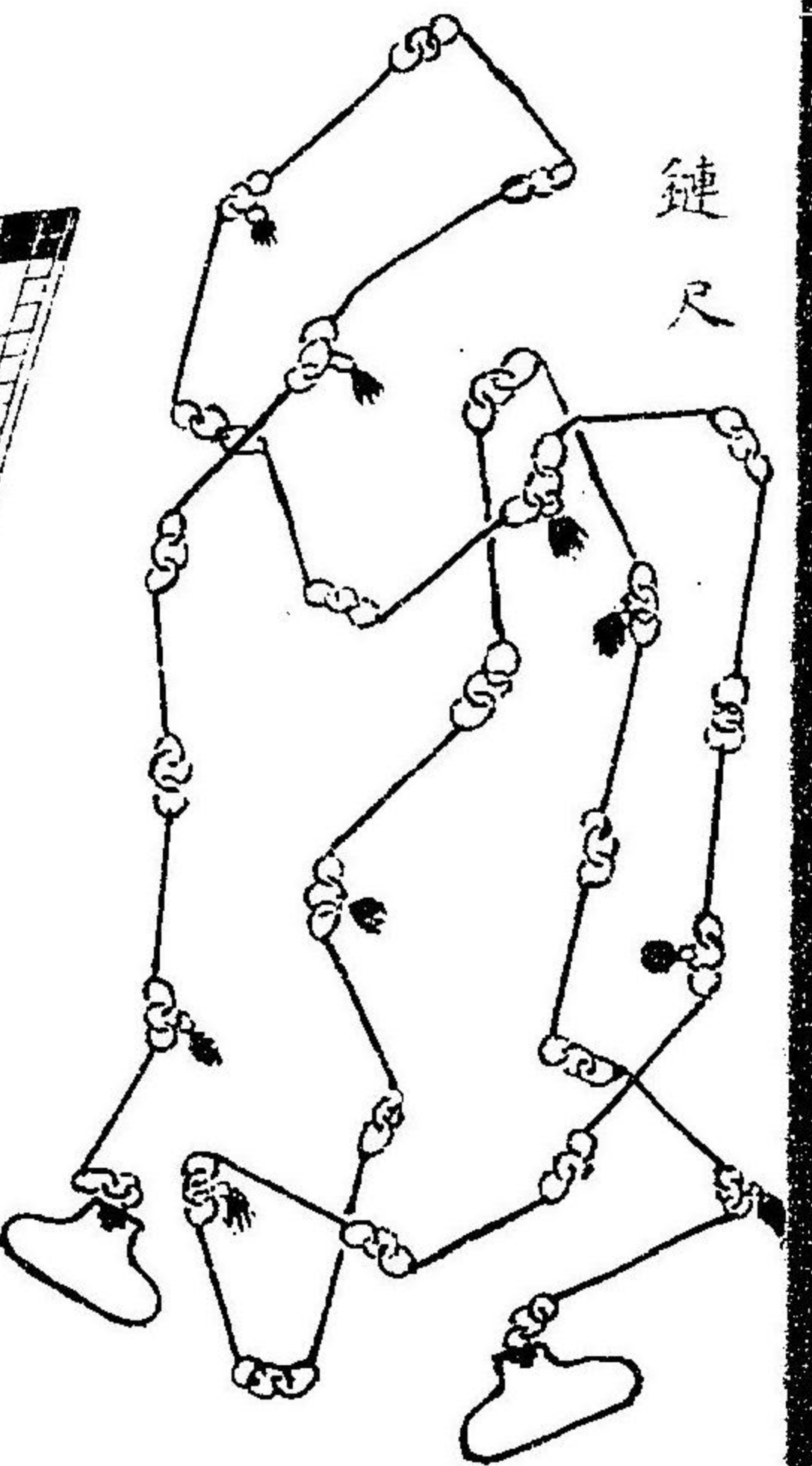
圓錐形料(玻璃製)



圓樽形料(玻璃製)



尺疊



鏈尺

二 疊尺ノ接續部ニ緩ミヲ生シタルカ又ハ卷尺鏈尺等ノ全長ニ伸縮ヲ生シタリト認ムルトキハ使用スヘカラス

三 證明用度量器即チ土地測量製圖用身体検査其他總テ證明ノ爲メ用フル度量器ハ檢定済ノモノニアラサレハ使用スルコトヲ得ス度量衡法第九條ニ於テ授受證明ノ爲ニ使用スル度量衡器ハ營業ノ目的ニ使用スルモノニ準スト規定シアルヲ以テ制裁ヲ受クルコト總テ同一ナリ

從來大工左官疊職等カ使用スル尺杖或ハ間尺ト稱スル自製ノ棒ニ何間何尺等附記シタル物ヲ營業上使用スルコトヲ得ス

一 量器

一 樹ニ精練其他附着物ノタメ容量ニ差ヲ生セサル様平素注意スルヲ要ス

二 穀類ヲ量ルニ用フル樹ニハ之ニ附屬スル斗概ヲ使用シ自製ノ桐竹等ノ棒ヲ以テコレニ代用シ又ハ食鹽ヲ量ルニ木羽等ヲ用ヒズ規定ノ斗概ヲ使用スルヲ要

- 三 穀量一斗以上ヲ授受スル際一斗枴ヲ用ヒサルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ヘシ此
場合ニハ一斗枴ヲ使用セサルヘカラス
- 四 枴ノ弦鐵曲リタルカ又ハ縁金ノ毀損シタルモノハ修覆セサレハ使用スルコト
ヲ得ス
- 五 枴ノ縁金及斗概ノ卷把手等ハ自儘ニ釘ヲ打チ修覆ヲナスコトヲ得ス
- 六 繭ヲ賣買授受及證明ヲナスニハ規定ノ枴ヲ用ヒ決シテ紙枴籠枴等ヲ用フヘカ
ラス
- 七 斗概ノ側面ニ凹凸ヲ生シ若クハ卷金ノ損シタルモノハ使用スルコトヲ得ス
- 八 病院醫師藥劑師等ニ於テ證明ノ爲ニ使用スルニハ規定ノ玻璃量器「リットル」
若クハ本邦目ノモノヲ使用シ決シテ彼ノ英國式ノ量器ヲ使用シヘカラス
- 九 玻璃製量器ニハ檢定ノ證書ヲ附シアルニ付此證書ハ常ニ量器ニ附屬セシメ紛

失セサル様注意ヲ要ス但明治三十七年以降ニ於テ檢定ヲ受ケタルモノハ直接
其器物ニ證印アルニ付此限ニアラス

- 十 鐵葉製ノ枴ニ類似ノ器物ヲ以テ牛乳若クハ油類ヲ量リ或ハ自製ノ箱枴ヲ以テ
栗、芋、田螺等ヲ量リ賣買スルコトヲ得ス

一 衡器

- 一 桿ノ曲リタルモノ又ハ卷金ノ損シ若クハ目盛ノ磨滅シタル秤又ハ針ノ曲リタ
ル天秤ハ其儘使用スヘカラス
- 二 桿秤ニシテ金屬ニアラサルモノ、取緒及錘糸ノ切レタルトキハ之ヲ自儘ニ取
換或ハ結付ケ使用スヘカラス
- 三 秤ノ皿又ハ錘等ニ附着物アル爲重量ニ差ヲ生スル事アルニ付常ニ注意シ掃除
スヘシ
- 四 天秤ニハ其秤量感量ヲ表記シアルヲ以テ之ニ注意シ秤量ヨリ重キモノヲ量ル

- 五 天秤ニシテ表記ノ感量ニ相當ノ重サヲ感セサルニ至リタルモノハ使用スヘカラス
- 六 臺秤ハ平坦ナル場所ニ据付置カサレハ量目ニ相違ヲ生スヘシ故ニ敷石板敷其地堅固ナル臺板等平坦ナル場所ニ据付置キ重量ヲ見ルヘシ但蓋板ヲナストキハ秤ノ四隅ニ觸レサル位ニナシ置クヘシ
- 七 天秤、臺秤、臺桿秤ノ使用者ハ常ニ秤臺及水準器ヲ備ヒ置キ臺ノ水平ヲ檢スヘシ
- 八 桿秤ハ直點(俗ニ無汰目)ニ錘ヲ掛ケ桿ノ水平ナルヤ否ヤヲ檢シタル后使用スヘシ
- 九 錘及增錘ニハ其桿ト同一ノ番號或ハ符號アルヲ以テ之ニ注意シ決シテ他ノモノヲ代用スヘカラス

十 斤量ハ度量衡法ニ於テ百六十匁ヲ以テ一斤ト定メラレタルハ從來ノ如ク百二十匁若クハ二百匁ヲ一斤ト稱シ物品取引上ニ用フルコトヲ得ス

總テ度量衡器ハ表記及證印磨滅シタルトキ若クハ毀損シタルトキ製作者修覆者ニ就キ修覆ノ上使用スヘシ自儘ニ之ヲ修覆使用スヘカラス尙廢棄シタルトキハ度量衡器ヲ營業ノ場所ニ置クヘカラス

以上掲クルトコロニシテ差狂アル度量衡器ナルコトヲ知り其儘營業上及證明ノ爲メ使用シタルモノハ度量衡法第十五條ニ依リ拾圓以上貳百圓以下ノ罰金ニ處セラルヘシ

度量衡ニ關スル諸願届様式

度(量)(衡)器製作(修覆)免許願

私儀今般度(量)(衡)器製作(修覆)營業致度候ニ付免許被成下度明治三十六年十二月農商務省令第拾號度量衡法施行細則第四拾參條ニ依リ別紙設計書相添ヒ此段願奉候

也

年月日

農商務大臣宛

右願書ニハ度量衡法施行令第十四條第一號第二號及第四號ニ關スル證明書及技術監督者ノ履歷書ヲ添附スルヲ要ス

別紙

度量(量)(衡)器製作(修覆)設計書

第一 營業所及工場ノ位置

參照 (何縣何郡(市)何町村何番地)

第二 製作又ハ修覆スヘキ度量衡器ノ種類形狀及物質

參照 (明治三十六年九月勅令第四百四十四號度量衡法施行令第一條參照)

何縣何郡(市)町村番地

何之誰印

第三 技術監督者ノ氏名

第四 營業所及工場ノ圖面ノ添附ヲ要ス

度量(量)(衡)器販賣免許願

私儀今般度(量)(衡)器(輸入)販賣營業致度候ニ付免許被成下度明治三十六年十二月農商務省令第十號度量衡法施行細則第四十四條ニ依リ別紙設計書相添ヒ此段奉願候也

何縣何郡市何町村番地

年月日

農商務大臣宛

何之誰印

(右願書ニハ度量衡法施行令第十四條第一號第二號及第四號ニ關スル證明書ノ添付ヲ要ス)

別紙

度量(衡)器販賣設計書

第一 營業所ノ位置

參照 (何縣何郡(市)何町村番地)

第二 販賣セントスル度量衡器ノ種類形狀及物質

參照 (明治三十六年九月勅令第四百四十四號度量衡法施行令第一條參照)

第三 輸入販賣ヲナサントスルモノハ其旨願書ニ附記スヘシ

第四 營業所ノ圖面ヲ添付スルヲ要ス

度量衡器製作(修覆)(販賣)變更認可願

免許狀番號

私儀明治何年何月何日ヨリ度量(衡)器製作(修覆)(販賣)營業在罷候處今般該設計書中左記ノ通變更致度候間御認可相成度此段奉願候也

何縣何郡(市)何町村番地

度量(衡)器製作(修覆)(販賣)人

何 之 誰 印

年 月 日

農商務大臣宛

例

度量(衡)器製作(修覆)(販賣)設計變更ノ要領

第何項中何々ヲ何々ニ變更追加若クハ削除

右之通ニ候也

何縣何郡(市)何町村番地

度量(衡)器製作(修覆)(販賣)人

何 之 誰 印

年 月 日

度量(衡)器製作(修覆)(輸入販賣)記號届

免許状番號

私儀今般度(量)(衡)器製作(修覆)(輸入販賣)免許相成候ニ付度量衡施行細則第五十二條ノ規定ニ依リ記號ヲ左ノ通相定候間此段及御届候也

何縣何郡(市)何町村番地

度(量)(衡)器製作(修覆)(輸入販賣)人

何 之 誰 印

農商務大臣宛

例

大(カ) 中(カ) 小(カ)

其形狀ハ營業者ノ隨意タルコト

廢 業 届

私儀今般度(量)(衡)器製作(修覆)(販賣)廢業致候ニ付別紙免許状相添ヒ此段及御届

候也

度(量)(衡)器製作(修覆)(販賣)人

何 之 誰 印

年 月 日

農商務大臣宛

參照

廢業ノ時ハ其届書ト同時ニ縣令第五十四號度量衡臨檢及取締規則第十七條ニ依リ營業報告書並ニ殘品處分調書ヲ知事ニ差出スヘシ

桿秤ニシテ金屬ニアラサルモノ、取締及錘糸修覆届

免許状番號

私儀明治何年何月何日ヨリ度量衡器販賣營業罷在候處今般金屬ニアラサル桿秤ノ取締錘糸ノ修覆仕候ニ付縣令第五十四號度量衡臨檢及取締規則第八條ニ依リ別紙設計書相添ヒ此段及御届候也

何縣何郡(市)町村番地
度量衡器販賣人

何 之 誰 印

年月日
知 事 宛

別 紙

金屬ニアラサル桿秤ノ取繕及錘糸修護設計書

第一 修護場ノ位置

參與 (何縣何郡市何町村番地)

第二 修護職工ノ數及技術ニ關スル履歷書

參照 (職工何人)

(用紙美濃紙)

(新規免許納入願ノ例)

度量衡器販賣身元保證金納入願

一金何圓也
但シ何金庫供託受領書
私儀今般度(量)(衡)器販賣免許相成候ニ付明治三十六年十二月農商務省令第十號度量衡法施行細則第四十八條ニ依リ前記供託受領書ヲ以テ納入候間可然御取計相成度此段相願候也

縣郡市町村番地

度(量)(衡)器販賣人

何 之 誰 印

年月日
宮城縣知事宛

(用紙美濃紙)

(廢業ニ付下渡願ノ例)

度量衡器販賣身元保證金下渡願

一金何圓也

但日本勸業債券金貳拾券何通
 株式會社宮城商業銀行預券何葉
 又ハ何金庫供託受領書
 右ハ度量衡器販賣人身元保證金トシテ納入致置候處今般廢業ニ付前記ノ身元保證金
 御下渡相成度此段相願候也

縣都市町村番地
 度量(衡)器販賣人
 年月日
 宮城縣知事宛
 何之誰印
 供託書
 縣、郡、市、町、村、番地
 供託者何之誰

一軍事公債證書額面金何百圓也 何百圓券
 但明治何年何月ヨリ利札付 何號第何番何枚
 一勸業債券額面金何圓也 何圓券ね何號何枚
 但明治何年何月ヨリ利札付 何圓券う何號何枚
 一供託ノ原因度量衡器販賣身元保證金
 一供託スヘキ法令ノ條項 明治三十六年十二月農商務省令第十號度量衡法施行
 細則第四十八條

一官廳名 宮城縣廳
 右供託ス
 右
 年月日 何之誰印
 何金庫 御中

第 號
右 領
年 月 日

何 金 庫 印

明治三十七年二月二十五日印刷
明治三十七年二月二十八日發行

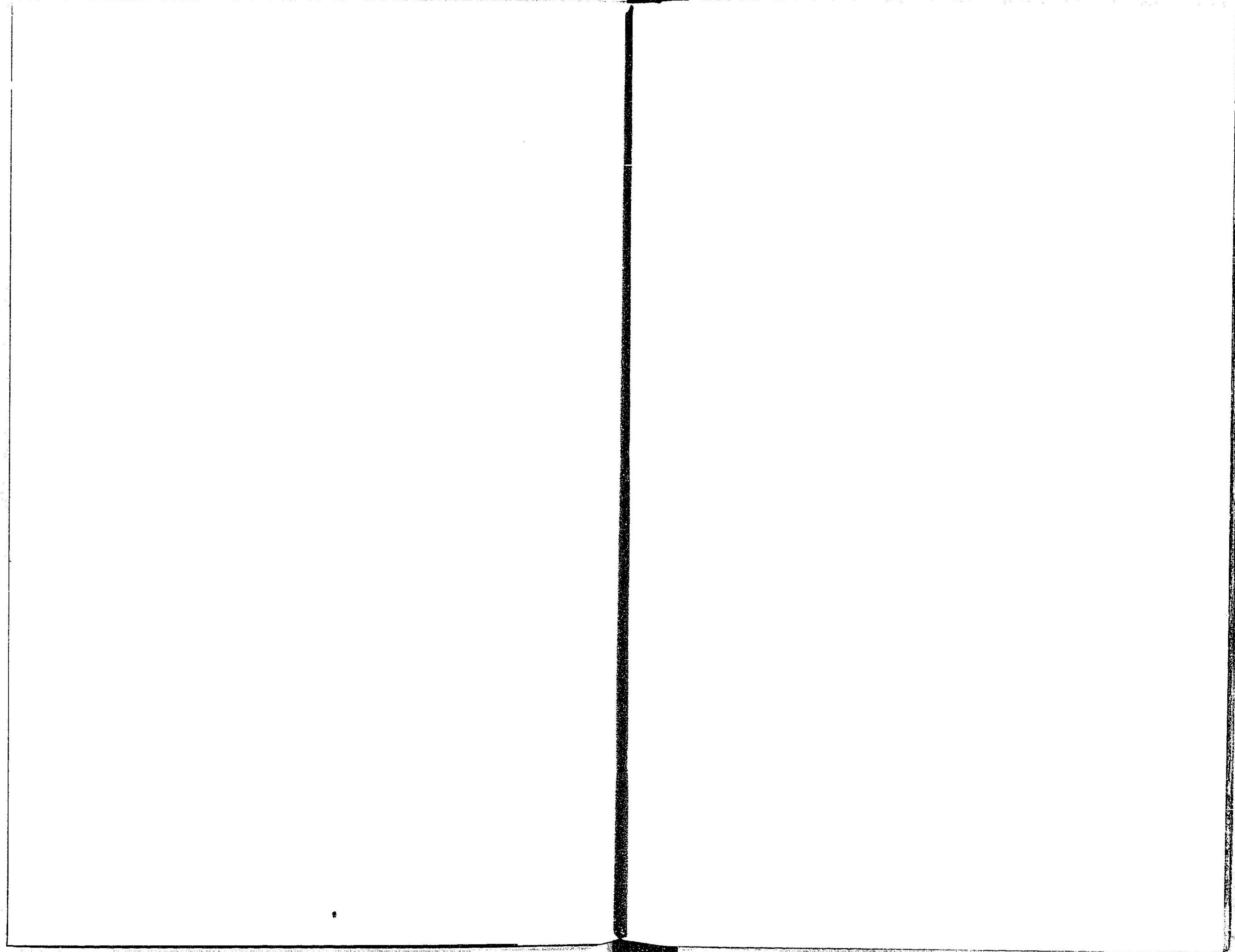
編 纂 者 宮城縣內務部第四課

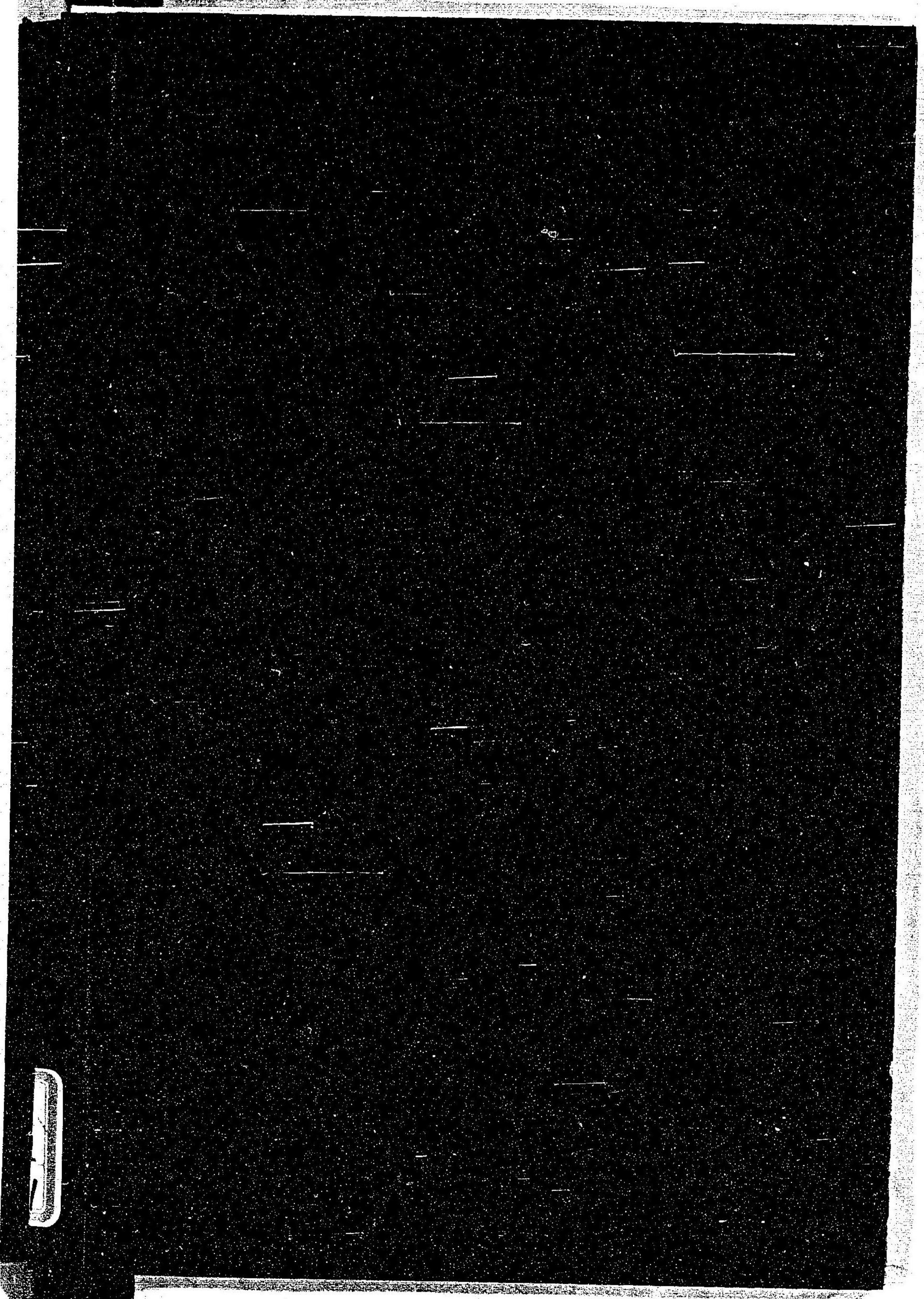
宮城縣仙臺市表小路一番地
宮城活版社

印 刷 者 佐藤源太郎

電話二百十五番







禁電子式複写

037506-000-1

CZ-1462-17-01

現行度量衡法規

宮城県内務部

M37

BBU-0117



